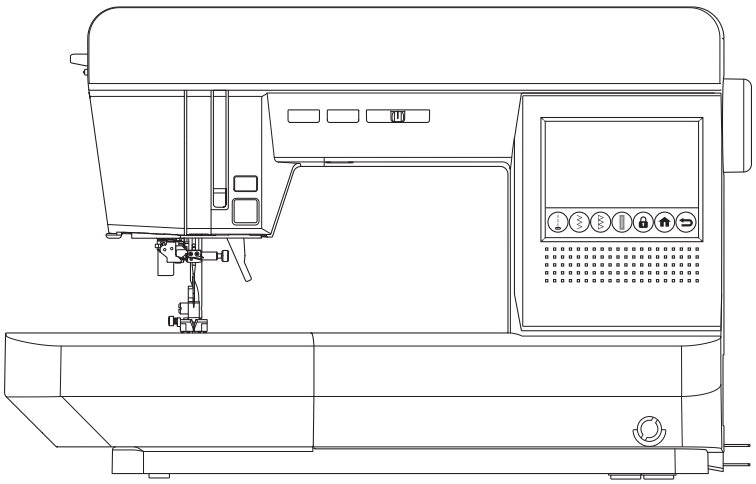
VIVACE

取扱説明書

機種名：TRX-9300



このミシンを安全にお使いいただくため、この「取扱説明書」をご使用の前に必ずお読みください。
「取扱説明書」は手元に保管し、末長くご活用ください。

HappyJapan

このたびは、ハッピージャパンミシンをお買い上げいただき、ありがとうございます。
このミシンは、直線ぬいやジグザグぬいはもちろん、ホームソーイングに必要なぬいが簡単にできる家庭用コンピュータミシンです。
このミシンの特長をご理解していただき、正しくお使いいただくために、まずこの「取扱説明書」をよくお読みください。
「取扱説明書」をお読みになったあとは、保証書と共にいつでも見られるところに大切に保管してください。

安全にご使用いただくために

誤った使い方をしたときに生じる危害や損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただきたいことを説明しています。
危害や損害の程度を表す表示の意味と内容は以下のとおりです。

⚠ 警告	誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項です。
⚠ 注意	誤った取り扱いをすると、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項です。
お願い	操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項です。誤った操作によるトラブルを防ぐために、必ずお読みください。
お知らせ	操作上の重要な参考情報や補足説明です。スムーズに操作していただくために、必ずお読みください。
メモ	操作やその他の補足説明です。

「取扱説明書」で使用されている図記号の意味は次のとおりです。


してはいけない内容です


実行しなければならない内容です


感電の危険があります


分解してはいけません


電源プラグを抜いてください


火災の危険があります

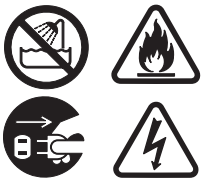
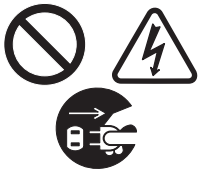

水に濡らしてはいけません

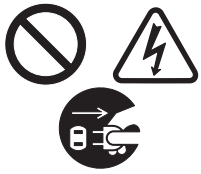

気をつけていただく内容です


針の下に指を入れないでください

⚠ 警告 感電、火災の恐れがあります。	
	1. 一般家庭用交流電源 100 V以外では使用しないでください。感電・火災の恐れがあります。
	2. 以下のようなときは電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。感電・火災の恐れがあります。 ・ミシンのそばを離れるとき ・ミシンを使用したあと ・ミシンを使用中に停電したとき ・ミシンのお手入れをするとき ・ミシンを移動させるとき ・ミシンが正常に作動しないとき ・雷が鳴りはじめたとき

⚠ 注意 感電、火災、ケガなどの原因となります。	
	1. 以下のようなところには置かないでください。故障や火災の原因になります。 ・温度が著しく高くなるところ ・温度が著しく低くなるところ ・屋外や直射日光の当たるところ ・油煙や湯気の当たるところ ・湿気やほこりの多いところ
	2. 直射日光の当たるところや、ストーブ、アイロンなど温度の高くなるもののそば、火の気のあるもののそばでは使用しないでください。ミシンの内部部品や電源コードの被膜が溶けて、感電・火災の原因となります。
	3. スプレー製品などを使った部屋では使用しないでください。可燃性ガスへの引火によるやけどや火災の原因となります。
	4. ミシンが傾いたりぐらついたりするような不安定な場所には置かないでください。倒れたり、落下するとケガの原因となります。ミシンは安定した平らなテーブルや机の上でご使用ください。
	5. コンセントや配線器具の定格を超えるようなたこ足配線はしないでください。感電や発熱による火災の原因となります。
	6. 濡れた手で電源プラグの抜き差しはしないでください。感電の原因となります。
	7. 電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。傷んだプラグ・差し込みの緩いコンセントは使用しないでください。
	8. 電源プラグを抜くときは電源スイッチを切り、プラグを持って抜いてください。電源コードを持って抜くとコードが傷み、感電・火災・ショートの原因となります。
	9. 電源プラグのほこりは乾いた布で定期的にふき取ってください。プラグにほこりがたまると絶縁不良となり、火災の原因となります。

	10.電源コードやプラグを破損するようなことはしないでください（傷つける、加工する、加熱する、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物をのせる、たばねるなど）。破損したまま使用すると、感電・火災・ショートの原因となります。電源コードやプラグが破損したときはミシンの使用をやめ、お買い上げの販売店、または別掲の「お客様相談係」にご連絡ください。
	11.電源コードは、赤いマーク以上引き出さないでください。断線の恐れがあります。
	12.長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグを抜いてください。通電した状態で放置、保管すると、絶縁劣化・ろう電などにより火災の原因となります。
	13.袋類は、お子様がかぶらないように、お子様の手の届かないところに保管するか廃棄してください。誤ってかぶると窒息の恐れがあります。
	14.お子様の玩具として使用しないでください。お子様がご使用になるとき、お子様の近くでご使用されるときは、特に安全に注意してください。
	15.ミシンを移動するときは、不用意に持ち上げたり、動かしたりしないでください。腰や膝を痛める原因となります。
	16.ミシンを持ち運ぶときは、必ずハンドルを持ってください。他の部分を持つと、壊れたりすべって落としたりして、ケガや故障の原因となります。
	17.ミシンに水をこぼしたり濡らしたりしないでください。感電・火災の原因となります。万一、内部に水などが入った場合は、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店、または別掲の「お客様相談係」にご連絡ください。
	18.ミシン本体のすきまに異物を入れたり、ドライバーなどを差し込んだりしないでください。感電・ケガ・故障の原因となります。万一、針などの異物が入った場合は、使用をやめてお買い上げの販売店、または別掲の「お客様相談係」にご連絡ください。
	19.別売り品や交換部品は、必ずハッピージャパン指定のものをお使いください。指定外のものを使用すると、ケガ・故障の原因となります。
	20.お客様ご自身での分解、改造はしないでください。感電・火災・ケガの原因となります。取扱説明書に記載されている以外の点検、修理、調整、掃除は、お買い上げの販売店、または別掲の「お客様相談係」にご依頼ください。
	21.取扱説明書に記載のあるミシンのお手入れを行うときは、電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。ケガ・感電の原因となります。
	22.ミシン操作中は、針から目を離さないようにし、針、ハズミ車、天びんなどすべての動いている部品に手を近づけないでください。ケガの原因となります。
	23.針や押えを交換するときは電源スイッチを切るかロックボタンをタッチしてミシンをロックし、取扱説明書の説明にしたがって確実に固定してください。取り付けを誤るとケガや故障の原因となります。
	24.上糸や下糸をかけるときは、取扱説明書の手順にしたがって正しく行ってください。糸かけが正しくないと、縫製中に糸がからんで、針が曲がったり折れたりして、ケガの原因となります。

	25.曲がった針や先がつぶれた針は使用しないでください。針が折れてケガの原因となります。
	26.糸や針は、取扱説明書にしたがって布地に合ったものをお使いください。デニム地などの厚めの布に細い針を使うと、針が折れてケガの原因となります。
	27.押えは、取扱説明書にしたがって正しい模様や設定でお使いください。誤った模様や設定では、針が押えにぶつかって折れる恐れがあります。
	28.針の下に指などを入れないでください。ケガをする恐れがあります。
	29.縫製中に布地を無理に引っ張ったり、押したりしないでください。ケガや針折れの原因となります。
	30.シームリッパーで穴を開くとき、リッパーの先端に手や指を置かないでください。すべったときにケガをする恐れがあります。
	31.フットコントローラーの上に物をのせないでください。ケガや故障の原因となります。
	32.ミシンやフットコントローラーに以下の異常があるときは、速やかに使用を停止し、お買い上げの販売店、または別掲の「お客様相談係」にご連絡の上、点検、修理、調整をお受けください。そのまま使用すると感電･火災の原因となります。 ・正常に作動しないとき ・落下などにより破損したとき ・水に濡れたとき ・電源コード、プラグ類が破損、劣化したとき ・煙が出たり、異常な臭いや音がするとき ・中に異物が入ったとき

●ハッピージャパンは、皆様に常に最新の裁縫性能を提供するために、必要に応じてこのミシンの外観、デザインまたは、付属品を予告なく変更することがあります。
●ミシンをご使用になる方（お子様を含む）が、身体・知覚・精神的能力になんらかの障害を持つ場合、あるいは経験や知識が十分でない場合には、監督者またはミシンを安全に使え、ミシンの危険を理解している人のもとでのみ使用してください。
●このミシンは日本国内向け、家庭用です。外国では使用できません。
This sewing machine is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.
●職業用としてご使用になった場合は保証をいたしかねますので、ご了承ください。

●「取扱説明書」の内容を許可なく無断で複製することは禁じられておりますので、ご了承ください。
●「取扱説明書」の内容は必要に応じて予告なく変更することがあります。
●「取扱説明書」の内容について、万一不審な点や誤りなどお気づきの点がありましたら別掲の「お客様相談係」にご連絡ください。

目次

安全にご使用いただくために ..... 表紙裏

第 1 章　お使いになる前に 6
- 各部のなまえ 6
- 低温の場所から出したときは 8
- ミシンカバー・補助テーブル・付属品 9
  - ミシンカバー 9
  - 補助テーブルの開け方 9
  - 補助テーブルの取り外し方 9
  - フリーアームでぬう 9
  - 付属品 10
- 大型テーブルの使い方 11
- 各部のはたらき 12
  - A. スタート・ストップボタン（お知らせランプ） 12
  - B. 返しぬいボタン 12
  - C. 針上下／クイックスローボタン 12
  - D. 糸切りボタン 12
  - E. スピード調節つまみ 12
  - F. 押え上げレバー 12
  - G. ドロップフィードレバー 13
  - H. 押え圧ダイヤル 13
- ハズミ車の使い方 13
- ホーム画面の使い方 14
  - A. 実用ぬいボタン 14
  - B. 飾り模様・文字ボタン 14
  - C. メモリー読み出しボタン 14
  - D. ガイドボタン 14
  - E. 基本ぬいボタン 14
  - F. ロックボタン 14
  - G. ホームボタン 14
  - H. 戻るボタン 14
  - I.　設定ボタン 14
  - ガイドボタンの使い方 15
  - ロックボタンの使い方 16
- 操作の流れ 17

第 2 章　ミシンの準備 18
- 電源の入れ方 18
- フットコントローラーの使い方 18
- 膝上げレバーの使い方 19
- 下糸の準備 20
  - ボビンの取り出し方 20
  - 下糸の巻き方 20
  - ボビンのセット 22
- 上糸の準備 23
  - 上糸のかけ方 23
  - 糸通しの使い方 25
- 押えの取りかえ方と押えホルダーの取り外し・取り付け 26
  - 押えの取りかえ方 26
  - 押えホルダーの取り外し・取り付け 27
- 糸と針の選び方 28
- 針の取りかえ方 29

第 3 章　実用ぬい 30
- 模様の選び方（基本ぬい・実用ぬい） 30
  - 基本ぬいの模様の選び方 30
  - 実用ぬいの模様の選び方 30
- 模様の調整（模様設定画面の使い方） 31
  - ぬい目のふり幅／長さ 31
  - 反転／伸長 33
  - 自動糸調子 34
- 基本的なぬい方とコツ 36
  - 基本的なぬい方 36
  - 返しぬい 37
  - 自動止めぬい・自動糸切り 38
  - ぬい方向の変え方 39
  - 厚地ぬい 39
  - 糸切りボタンを使わないとき 40
  - 下糸を長くとってぬい始めたいとき 40
- いろいろなぬい方 41
  - 地ぬいなどの直線をぬう（直線ぬい） 41
  - 自動返しぬい付直線ぬい（） 42
  - 薄い布や伸縮性のある布に直線ぬいをする（直線用交換針板の使い方） 43
    - 標準交換針板の取り外し方 43
    - 直線用交換針板の取り付け方 44
  - 伸縮性のある布地をぬう（伸縮ぬい） 45
  - デニムなど丈夫な布地をぬい合わせる（伸縮強化ぬい） 45
  - 手ぬいのようなキルトぬいをする（手ぬい風キルトステッチ） 46
  - 布地をはぎ合わせる（ジグザグぬい） 46
  - やぶれた布地をつくろう（点線ジグザグぬい） 47
  - アップリケをぬい付ける 48
  - 布地のたち目をかがる（ふちかがりぬい／たち目かがりぬい） 48
    - 模様と押えの使い分け 48
    - ぬい方 49
  - すそ上げをする（まつりぬい／ブラインドステッチ） 50
  - ボタンをぬい付ける 52

ボタンホールを作る.....54
ボタンホールの調整.....57
アンダープレートの使い方.....57
玉ぶちボタンホールを作る.....58
ポケット口ややぶれた生地を補強する（かん止め／つくろいぬい）.....60
いろいろな装飾をぬう（実用ぬい模様を使った飾りぬい）.....62
ファスナーを付ける（つき合わせ・脇あき）.....63
つき合わせ.....63
脇あき.....64
ふち飾りをぬう（スカラップステッチ）.....65
布地をぬい合わせてパッチワークをする.....66
ピンタックをぬう.....67
アイレット（はと目穴）を作る.....67
ビニールやレザーをぬう.....68

第４章　飾り模様・文字ぬい.....69
飾り模様・文字の選び方.....69
飾り模様・文字の選び方.....69
飾り模様・文字の確認.....71
飾り模様・文字の編集.....71
編集画面の表示方法.....71
モード切り替え（単独ぬい／繰り返しぬい）、止めぬい／糸切り、ぬい目のふり幅／長さの調節....72
反転／伸長.....73
糸調子.....74
飾り模様・文字の挿入.....75
飾り模様・文字の削除.....75
飾り模様・文字の呼び出し.....76
ぬいあがりを確認する.....76
メモリー保存と読み出し.....77
選んだ飾り模様・文字をメモリーに保存する...77
メモリーに保存した飾り模様・文字を読み出す...78
メモリーに保存した飾り模様・文字を編集する...79
メモリーに保存した飾り模様・文字をぬう....79
メモリーに保存した飾り模様・文字を消去する...80
飾り模様・文字のぬい方.....81
基本的なぬい方.....81
ぬい終わりのモード切り替え（単独ぬい、単独止めぬい／単独糸切りぬい、繰り返しぬい）...82
いろいろな飾り模様・文字ぬい.....85
ぬい目の形の調整.....92

第５章　便利な機能のご紹介.....93
ルーペのご案内（別売り品）.....93
取り付け方.....93
取り外し方.....93
キルティング押えのご案内（別売り品）.....94
取り付け方.....94
ぬい方.....94
上送り押えのご案内（別売り品）.....95
取り付け方.....95
ぬい方.....95
刺しゅう機のご案内（別売り品）.....96
取り付けの準備.....96
刺しゅうモードの概要.....96
取り外しの注意点.....96

第６章　お手入れ方法／困ったときには...97
お手入れ方法.....97
ミシン表面、ミシンカバーの掃除.....97
ボビンケースの掃除.....97
外がまと送り歯の掃除（針板の取り外し・取り付け）.....97
困ったときには.....99
お知らせメッセージ.....99
トラブルシューティング.....103

模様一覧.....105
ぬい目長さについて.....105
実用ぬい.....105
飾り模様・文字ぬい.....111
さくいん.....120
仕様.....124
修理サービス要領.....125
お問い合わせまたはご相談先（純正部品の購入方法）...125

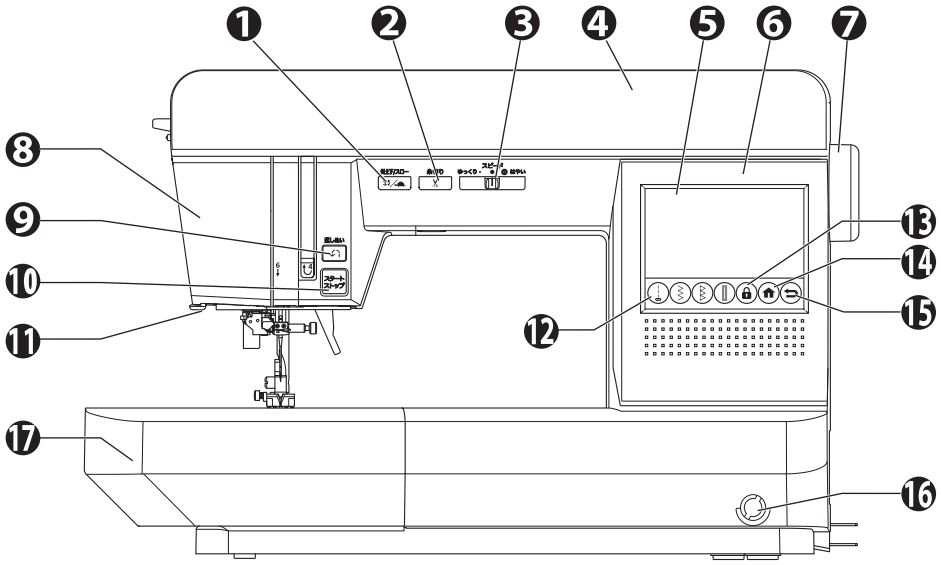
第 1 章　お使いになる前に

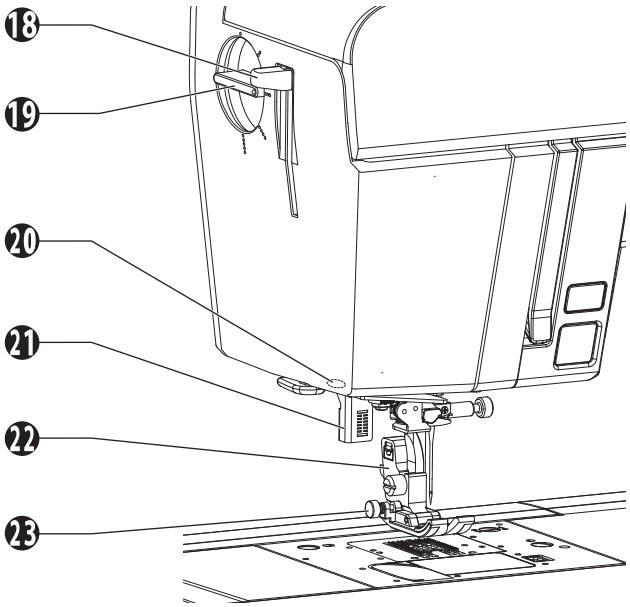
ミシンの各部の名称やはたらき、付属品についてなど、ミシンを使う前に知っておいていただきたいことを説明します。ミシンの電源を入れる前に必ずお読みください。

各部のなまえ

ミシンの各部の名称を説明します。各部の詳細については、参照先のページを確認してください。

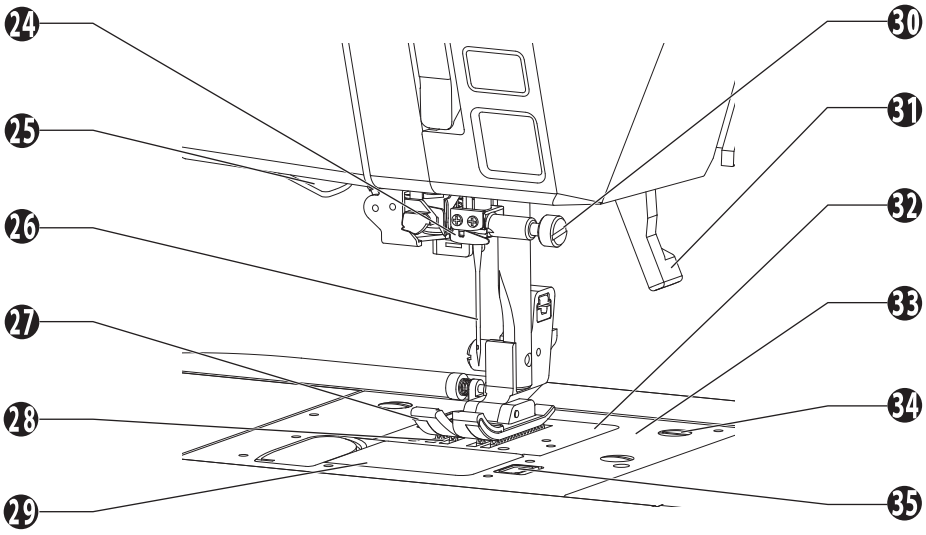
1. 針上下／クイックスロー ボタン（12 ページ）
2. 糸切りボタン（12 ページ）
3. スピード調節つまみ （12 ページ）
4. トップカバー
5. 案内窓（14 ページ）
6. 操作パネル
7. ハズミ車（13 ページ）
8. 面板
9. 返しぬいボタン(12 ページ)
10. スタート・ストップボタン（12 ページ）
11. 面板糸切り（40 ページ）
12. 基本ぬいボタン(14 ページ)
13. ロックボタン（14 ページ）
14. ホームボタン（14 ページ）
15. 戻るボタン（14 ページ）
16. 膝上げレバー差し込み口 （19 ページ）
17. 補助テーブル（9 ページ）



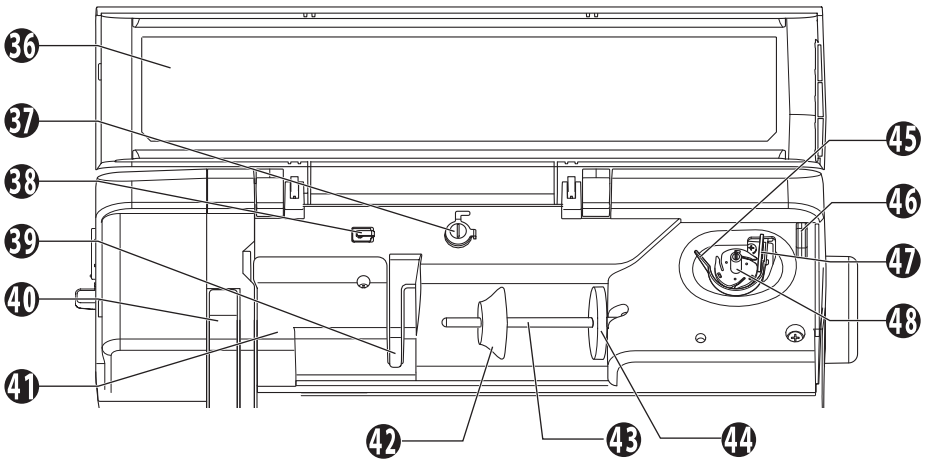


18. 糸通しレバー（25 ページ）
19. 押え圧ダイヤル(13 ページ)
20. ルーペ取り付け穴(93 ページ)
21. ボタンホールレバー（55, 58, 61 ページ）
22. 押えホルダー（27 ページ）
23. 段ぬい押えボタン （39 ページ）

24. 針棒糸かけ(24, 25 ページ)
25. 糸通しのガイド(25 ページ)
26. 針（28, 29 ページ）
27. 押え（26 ページ）
28. 送り歯（13 ページ）
29. ボビンカバー（20 ページ）
30. 針止めネジ（29 ページ）
31. 押え上げレバー(12 ページ)
32. 標準交換針板（43 ページ）
33. 針板（97, 98 ページ）
34. 交換針板ストッパーレバー（44 ページ）
35. ボビンカバー解放レバー（20 ページ）



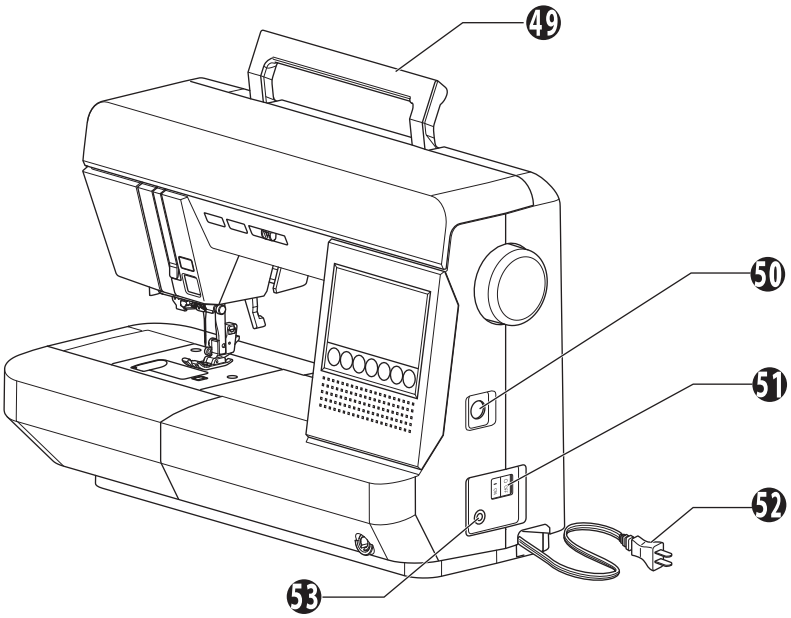
36. 模様一覧 *1（105 ページ）
37. 下糸巻き案内（21 ページ）
38. 糸かけ（21 ページ）
39. 糸かけ（21, 24 ページ）
40. 天びん(内部)(24 ページ)
41. 糸調子調節装置（内部）（24 ページ）
42. 糸巻き押え（20, 21, 23, 24 ページ）
43. 糸立て棒（20, 23 ページ）
44. フェルト（20, 23 ページ）
45. ボビン受け（21 ページ）
46. 糸巻き糸切り（22 ページ）
47. 糸巻きストッパー(21 ページ)
48. 糸巻き軸（20 ページ）



*1 トップカバーの内側にあります。トップカバーは手前に指をかけ、上に引き上げて開けてください。

49. ハンドル
50. 刺しゅう機接続口
（96 ページ）
51. 電源スイッチ（18 ページ）
52. 電源プラグ・コード
（18 ページ）
53. フットコントローラー接
続口（19 ページ）

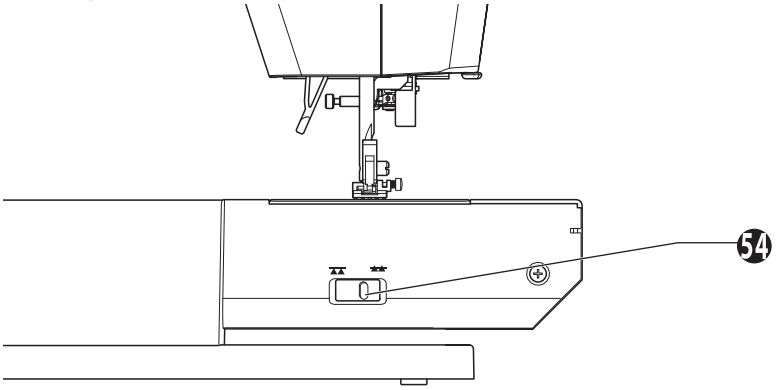
> **注意：ケガ防止のために；**
> ミシンを持ち運ぶときは、必ずハンドルを持ちます。他の部分を持つと破損する恐れがあります。また、すべって落とすなどして、ケガをしたり、ミシンが破損したりする恐れがあります。



54. ドロップフィードレバー
（13 ページ）*2

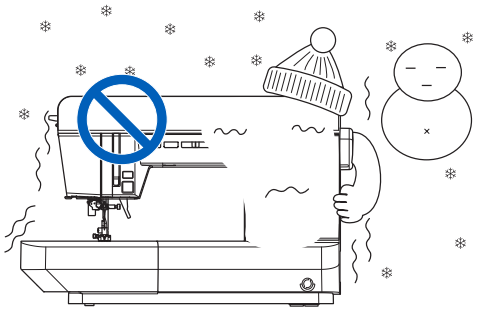
*2 ドロップフィードレバーは、補助テーブルを取り外して操作します。

●ミシン背面



低温の場所から出したときは

低温の場所から出したときは、普通の温度になじむまで、しばらく置いてください。
時間がたてば正常に作動するようになります。
保管は、なるべく寒いところをさけてください。



ミシンカバー・補助テーブル・付属品

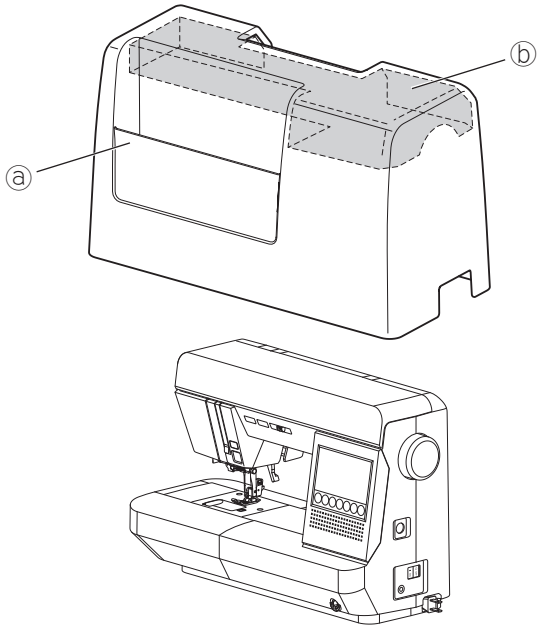
ミシンカバー、補助テーブル、付属品、付属品の収納場所の使い方を説明します。

◆ミシンカバー

ミシンを使わないときは、ミシンカバーをかぶせておきましょう。
ミシンカバーのポケットⓐには、この取扱説明書を収納できます。

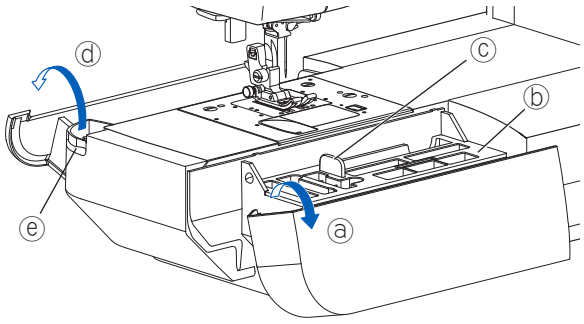
お願い

ミシンカバーの内部に貼り付けてある発泡スチロールⓑは、取り外さないでください。



◆補助テーブルの開け方

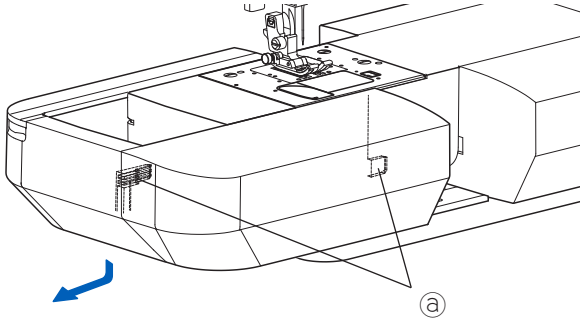
補助テーブルには、付属品が収納されています。



ⓐ前フタ ： テーブルの左側に指をかけ、手前に倒します。
ⓑトレイ ： トレイの上下に付属品が収納されています。
ⓒつまみ ： トレイはつまみを持ち上げて取り外します。
ⓓ後フタ ： テーブル左後方の凹部ⓔに指をかけ、引き上げます。

◆補助テーブルの取り外し方

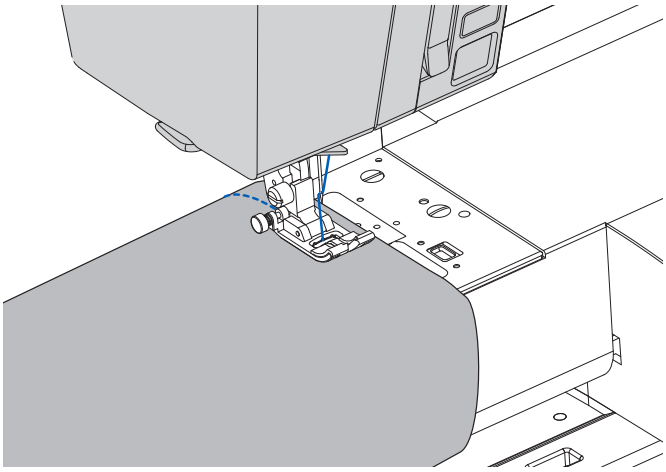
テーブルの左下に指をかけて、左に引きます。
取り付けは、テーブルのツメⓐがミシンに入るように合わせ、右にすべり込ませます。



◆フリーアームでぬう

補助テーブルを取り外すとフリーアームのミシンになります。
袖口や肩口の始末、ズボンのすそのまつりぬいをするときに便利です。

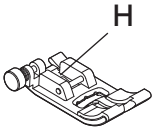
まつりぬいについては 50 ページの「すそ上げをする（まつりぬい／ブラインドステッチ）」を参照してください。



◆付属品

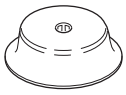
付属品はおもに補助テーブルの中に入っています。
押えには、わかりやすいようにそれぞれアルファベットの記号がついています。（直線押え、レザー押えを除く）

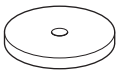
●ミシンにセット



ジグザグ押え（H）

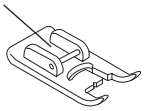
針（14 番）


糸巻き押え

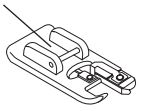

フェルト


ボビン（ボビンケースの中）

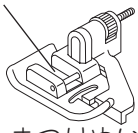
●前フタの中　トレイの上



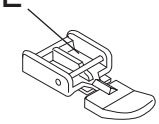
サテン押え（B）



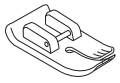
ふちかがり押え（C）



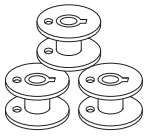
まつりぬい（ブラインド）押え（D）



ファスナー押え（E）


直線押え


針板用ドライバー


ボビン

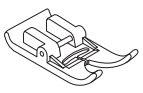

シームリッパー

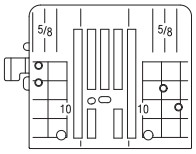
トレイの下


針ケース（5本入り）
11 番、14 番、16 番
ニット針（黄色）
11 番、14 番


ドライバー


ブラシ

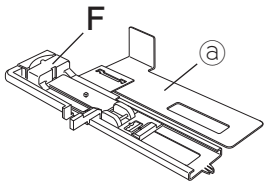

レザー押え



直線用交換針板

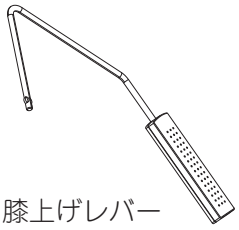

糸巻き押え（小）

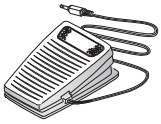
●後フタの中

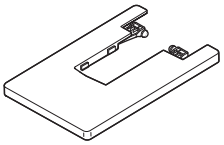


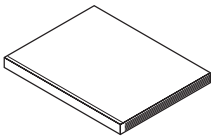
ボタンホール押え（F）
ⓐアンダープレート

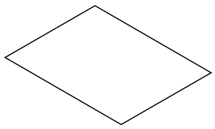
●梱包箱の中


膝上げレバー


フットコントローラー

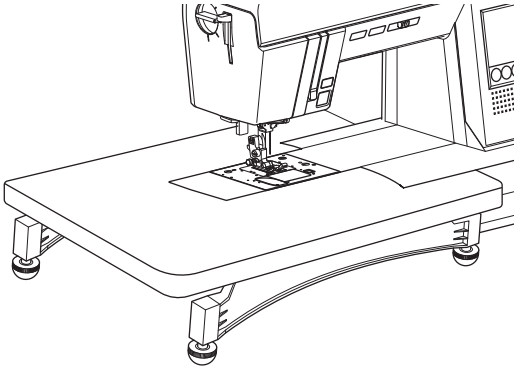

大型テーブル


取扱説明書（本書）


保証書

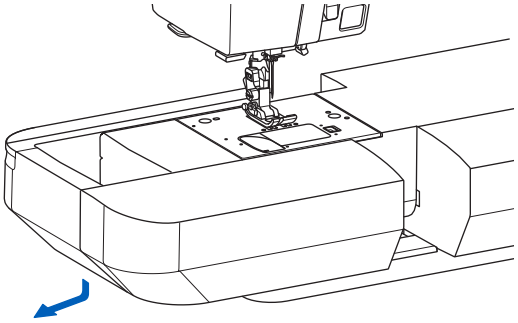
大型テーブルの使い方

カーテンなどの大きなものをぬうときに取り付けます。

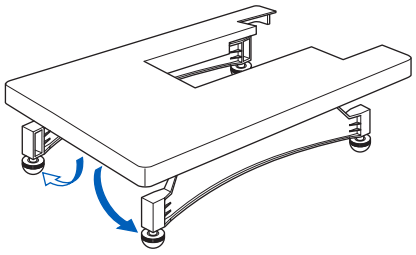


● 取り付け方

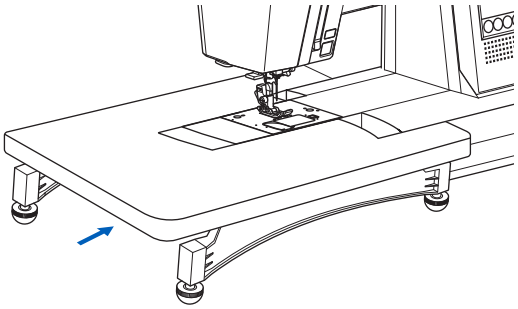
❶ 補助テーブルを取り外します。（9 ページ参照）



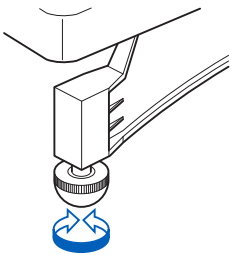
❷ 大型テーブルの脚を立てます。



❸ ミシンに左からすべり込ませます。

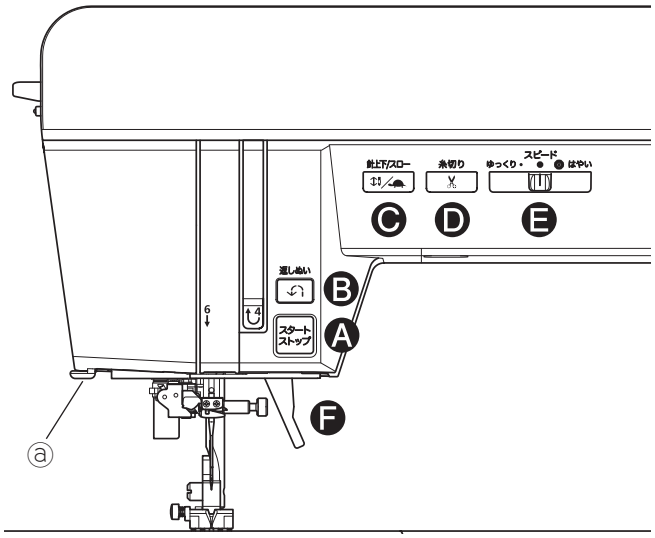


❹ 脚を回して、高さを調整します。



各部のはたらき

ミシンの各部のはたらきを説明します。



A. スタート・ストップボタン（お知らせランプ）

1 度押すとスタートし、もう 1 度押すとストップします。ぬい始めはゆっくり動きます。
また、スタート・ストップボタンには、ミシンの状態を知らせるお知らせランプの機能があります。ミシンの状態によって点灯する色が変わります。

緑の点灯 ： ぬいや下糸巻きをスタートできる状態です。

赤の点灯 ： 以下に当てはまるので、ぬいをスタートできません。

- 模様を選んでいない
- 押えやボタンホールレバーを下げていない
- ロックが作動している

> **お知らせ**
> - ボタンホール、かん止め、つくろいぬいの場合 2～3 針ぬって止まります。（54 - 62 ページ参照）
> - ランプが緑でも上糸が正しくかけられていないときや、上糸がなくなったときは、安全装置が働いて数針分動いて停止します。糸を正しくかけ直してください。
> - ロックの解除方法については、16 ページの「ロックボタンの使い方」を参照してください。

B. 返しぬいボタン

このボタンを押している間、返しぬいを低速でぬいます。放すと止まります。詳細については、37 ページの「返しぬい」を参照してください。

C. 針上下／クイックスローボタン

● ミシンが止まっているとき：針上下ボタン

ミシンが止まっているときにこのボタンを押すと、針の位置が上下に切りかわります。ぬい終わったときや、ぬいをストップしたときの針の停止位置は変わりません。

> **お知らせ**
> ぬい終わったときや、ぬいをストップしたときの針の停止位置は、設定によって変わります。詳しくは、31 ページの「針停止位置」を参照してください。

● ぬっているとき：クイックスローボタン

ぬいの途中で 1 度押すと、スピードがゆっくりになります。もう 1 度押すと、もとのぬいスピードに戻ります。

D. 糸切りボタン

ぬいの終わりにこのボタンを押すと、上糸と下糸を同時に切ります。

> **お願い**
> 番手が 30 番以下の太い糸やナイロン糸など特殊な糸には、糸切りボタンを使わないでください。これらの糸を切る場合には、ミシン左側の面板糸切り ⓐ をお使いください。（40 ページ参照）

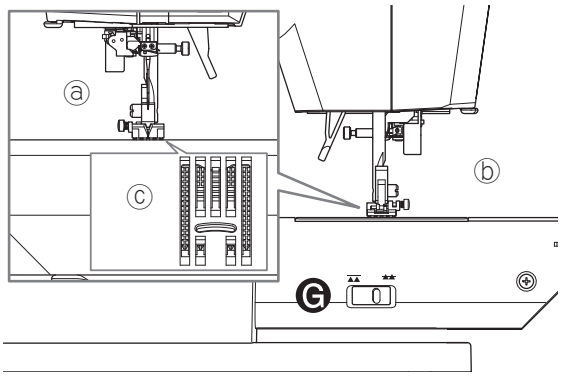
E. スピード調節つまみ

右にスライドさせるとぬうスピードが速く、左にスライドさせるとゆっくりになります。

F. 押え上げレバー

このレバーで押えの上げ下げをします。押えが上がっているときは、ミシンはスタートしません。（下糸巻きを除く）

G. ドロップフィードレバー



ⓐミシン正面
ⓑミシン背面
ⓒ送り歯

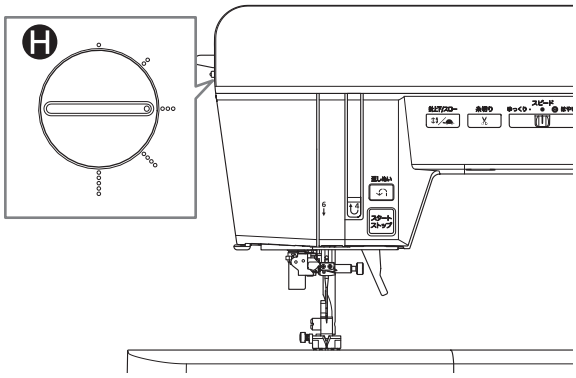
ミシン後ろ側の針板の下にドロップフィードレバーがあります。このレバーで送り歯の上げ下げをします。
後ろから見てレバーを右にすると、送り歯が針板の上に出てきて、布を送ります。通常は、この位置にしておきます。
レバーを左にすると、送り歯が針板より下がり、布を送りません。キルティング押え（別売り品：94 ページ参照）を使って曲線ぬいをするときなど、布を手で操作するときには、この位置にします。
また、別売りの刺しゅう機（96 ページ参照）を使って刺しゅうぬいをするときにも送り歯を下げます。


送り歯が上がる


送り歯が下がる

メモ
送り歯を上げた場合、ぬい始めると送り歯が上がってきます。

H. 押え圧ダイヤル



このダイヤルを回して押えの圧力を 5 段階に調節できます。

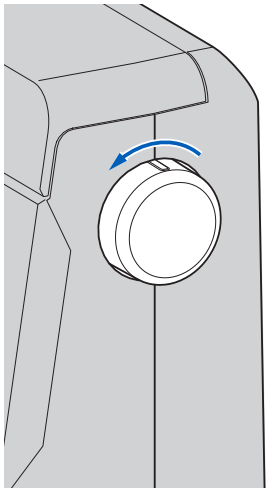
〇：弱い　〇〇〇：普通　〇〇〇〇〇：強い

通常は、〇〇〇にしておきます。
ダイヤルは、押えを下げてから回します。
押え圧を変えてぬった後は、〇〇〇に戻しておいてください。

ハズミ車の使い方

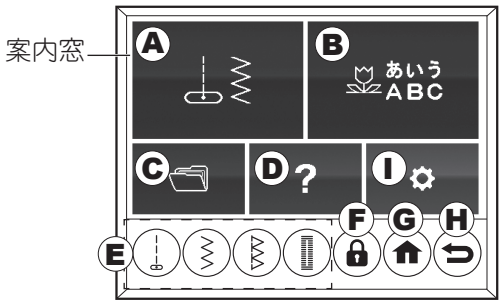
ハズミ車を手前に回すと針が上下します。1 針ずつぬい目を送るときなど、針を手動で上下に動かしたいときに使用します。

お願い
ハズミ車は必ず手前に回してください。反対方向に回すと、糸がからむ原因となります。



ホーム画面の使い方

ミシンの電源を入れると、案内窓にホーム画面が表示されます。この画面には、ミシンを操作するためのいろいろなメニューがあります。



A. 実用ぬいボタン
実用ぬい模様を選びます。使い方は 30 ページの「実用ぬいの模様の選び方」を参照してください。

B. 飾り模様・文字ボタン
飾り模様・文字を選びます。使い方は 69 ページの「飾り模様・文字の選び方」を参照してください。

C. メモリー読み出しボタン
選んだ飾り模様・文字をメモリーに保存することができます。このボタンをタッチして、保存した飾り模様・文字を読み出します。使い方は、78 ページの「メモリーに保存した飾り模様・文字を読み出す」を参照してください。

D. ガイドボタン
下糸巻き、下糸のセット、上糸かけ、押えの取りかえ方、交換針板の取りかえ方の手順を確認できます。使い方は 15 ページの「ガイドボタンの使い方」を参照してください。

E. 基本ぬいボタン
実用ぬいの中でよく使われるぬい（基本ぬい）を直接選ぶことができます。使い方は 30 ページの「基本ぬいの模様の選び方」を参照してください。

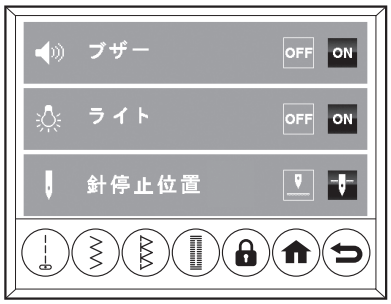
F. ロックボタン
ロックボタンを使うと、ミシンの電源を入れたまま、フットコントローラーの取り付け・取り外し、押えと押えホルダーの取り付け・取り外し、針の取り付け・取り外し、上糸・下糸の糸かけができます。
電源を切らないので、設定した飾り模様・文字のふり幅（針位置）、長さ、糸調子、伸長／反転の設定を保持したまま、操作ができます。
使い方は、16 ページの「ロックボタンの使い方」を参照してください。

G. ホームボタン
ホーム画面が表示されます。

H. 戻るボタン
一つ前の操作手順に戻ります。

> **お知らせ**
> 基本ぬいボタンをタッチした後に戻るボタンをタッチすると、実用ぬい模様の模様選択画面が表示されます。

I. 設定ボタン



ミシンを操作したときの操作音やピピピッという警告音などのブザー音、LED ライトの点灯／消灯、ぬい終わったときやミシンをストップしたときの針の停止位置を設定できます。
設定が終わったら、ホームボタンか戻るボタンをタッチするとホーム画面に戻ります。

> **メモ**
> 設定画面のままでミシンの電源を切ると、設定変更が保持されません。設定を保持するには、ホーム画面などほかの画面に移動してから電源を切ってください。

●ブザー音（操作音、警告音）
初期設定は ON です。

ON：ブザー音が鳴ります。
OFF：ブザー音が鳴りません。

> **注意：ケガ、故障を防ぐために；**
> ブザー音を鳴らなくすると、誤った操作をしたときの警告音も鳴らなくなります。操作には十分注意してください。

●LED ライト

初期設定は ON です。

ON ： LED ライトが点灯します。

OFF ： LED ライトが消灯します。

●針停止位置

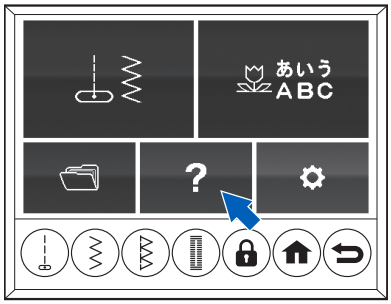
初期設定は針停止位置下です。
針停止位置は、案内窓に表示されます。詳しくは、31 ページの「模様の調整（模様設定画面の使い方）」を参照してください。

： 針停止位置が上になります。

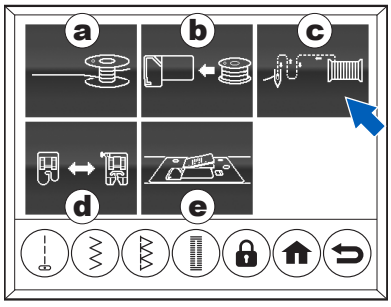
： 針停止位置が下になります。

◆ガイドボタンの使い方

❶ ホーム画面のガイドボタンをタッチします。
ガイドメニューが表示されます。

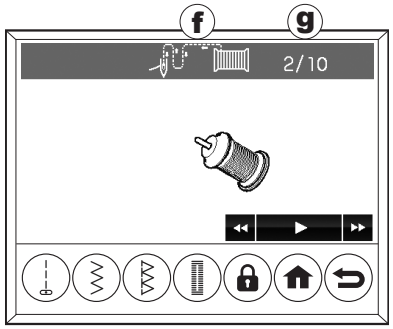


❷ 見たいガイドメニューのボタンをタッチします。



ⓐ下糸巻き
ⓑ下糸のセット
ⓒ上糸かけ
ⓓ押えの取りかえ方
ⓔ交換針板の取りかえ方

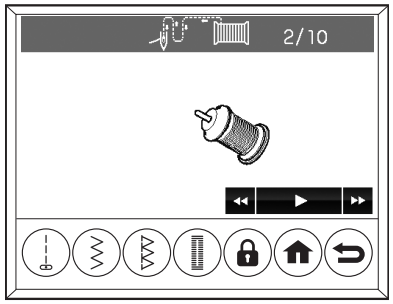
❸ ガイドの内容を確認します。
説明がスタートします。



画面上部に表示される内容
ⓕ選択したメニューのアイコン
ⓖ現在のページ／総ページ数

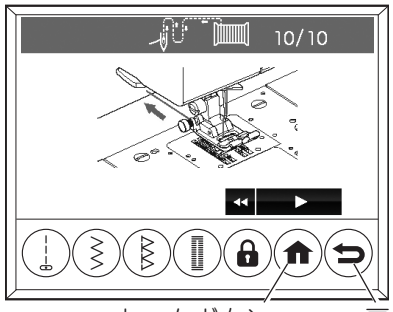
> **お知らせ**
> ガイドの説明の再生中も、説明内容にしたがって同じ操作をすることができます。ガイドの説明を見ながら操作する際は、ケガをしないよう手元に十分注意してください。

❹ もう一度見るには、再生ボタン（▶）をタッチします。
次へボタン（⏩）をタッチすると、次の説明が表示されます。
前へボタン（⏪）をタッチすると、1 つ前の説明が表示されます。



❺ 説明がすべて終わったら、ホームボタンをタッチしてホーム画面に戻ります。

- 最後の説明画面では、次へボタン（⏩）が表示されません。
- 戻るボタンをタッチすると、ガイドメニューに戻ります。



ホームボタン　　戻るボタン

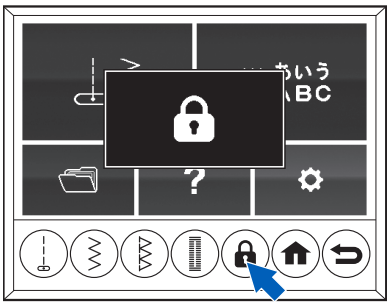
◆ロックボタンの使い方

ロックボタンをタッチすると、ミシンがロックされます。
ロックが作動している間は、ロックボタン以外のすべてのボタンの操作ができなくなり、ミシンが動きません。以下の操作はミシンの電源を切って行う必要がありますが、ミシンをロックすると、電源を切らずに行うことができます。飾り模様･文字のふり幅（針位置）、長さ、糸調子、伸長／反転の設定内容を保持したまま、これらの操作を行うことができます。
操作が終わったら、ロックを解除します。

- フットコントローラーの取り付け・取り外し
- 押えと押えホルダーの取り付け・取り外し
- 針の取り付け・取り外し
- 上糸・下糸の糸かけ

● ミシンをロックする

ロックボタンをタッチします。
ロック作動中のメッセージが表示されます。スタート・ストップボタンが赤く点灯します。

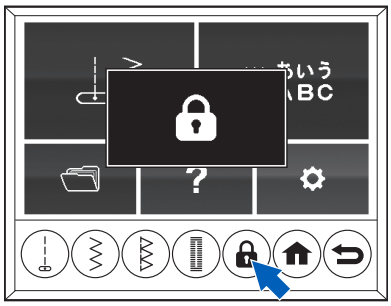


お知らせ

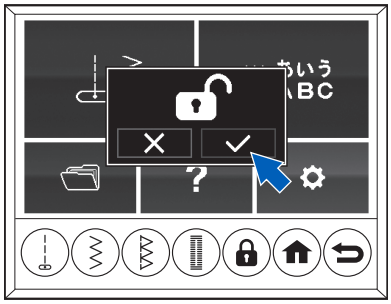
- ロック作動中は、ロックボタン以外のすべてのボタンの操作ができません。
- 針板、標準交換針板または直線用交換針板を取り外しているときは、ロックボタンを使用できません。針板、標準交換針板または直線用交換針板を取り付けてから、ロックボタンを操作してください。
- ロックが作動したままの状態でミシンの電源を切った場合、再度電源を入れたときロックは解除されています。

● ロックを解除する

❶ ロックボタンをタッチします。



❷ メッセージの「✓」をタッチして、ロックを解除します。
解除をとりやめる場合は、「✕」をタッチします。



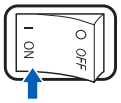
操作の流れ

ミシンの電源を入れてからぬい始めるまでの基本的な流れは次のとおりです。各手順の詳細は説明ページを参照してください。

お願い

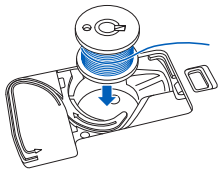
各手順の説明ページでは、ご注意いただきたいことや行っていただきたいことを説明しています。必ずお読みになってから操作を行ってください。

1 ミシンの電源を入れる



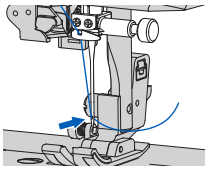
18 ページ

2 下糸を準備する



20 ページ

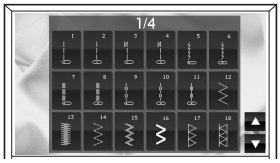
3 上糸を準備する



23 ページ

4 模様を選択する

●実用ぬい



30 ページ

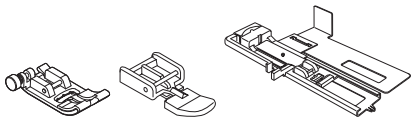
●飾り模様・文字ぬい



69 ページ

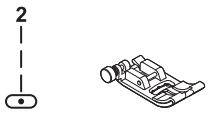
5 模様に合った押えを取り付ける

●押えの種類



10 ページ

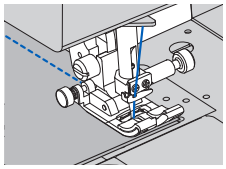
●模様と押えの組み合わせ



41 ページ～

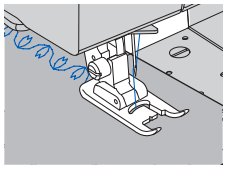
6 布をセットし、スタートする

●実用ぬい



36 ページ

●飾り模様・文字ぬい



81 ページ

第２章　ミシンの準備

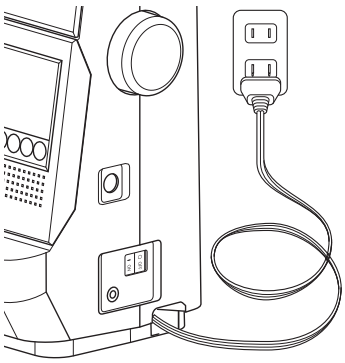
ミシンの電源の入れ方や糸のかけ方など、ミシンを使うために必要な準備について説明します。

電源の入れ方

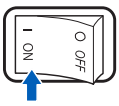
ミシンを安定した場所に置き、電源を入れます。

❶ 電源コードを引き出し、プラグをコンセントに差し込みます。

> ⚠**警告：感電、火災を防ぐために；**
> コードを引き出しすぎると断線の恐れがありますので、赤いマーク以上引き出さないでください。
> 黄色のマークが出たら、まもなく赤いマークが現れます。

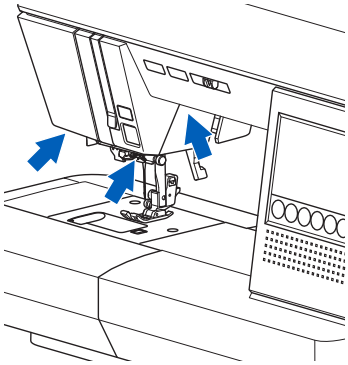


❷ 電源スイッチを入れます。



❸ 電源を入れると、針もとの LED ライト（3 か所）が点灯します。

案内窓にホーム画面が表示されます。（14 ページ参照）



> ℹお知らせ
> • LED ライトが点灯しないようにしたり、操作音が鳴らないようにしたり、設定を変更できます。（14 ページ「設定ボタン」参照）
> • コードをしまうときは、コードを少し引っ張って、放してください。

フットコントローラーの使い方

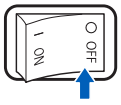
フットコントローラーを使うと、足の操作でミシンのスタート・ストップ、スピードの調節ができるようになります。フットコントローラーを接続すると、スタート･ストップボタン（12 ページ参照）は無効になります。

> **お願い**
> フットコントローラーは、必ず「ハッピージャパン純正の専用品」をお使いください。

> ℹお知らせ
> ペダルを踏むとミシンがスタートし、強く踏み込むほどスピードが速くなります。
> ペダルを放すとストップします。

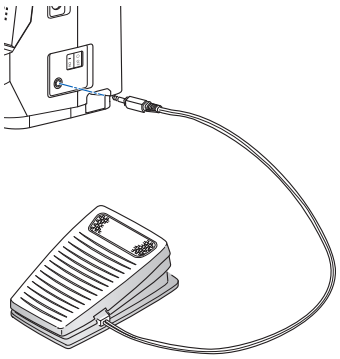
> ⚠**警告；感電、火災を防ぐために；**
> フットコントローラーは、落としたり、座ブトンなどの下に置いて使用したりしないでください。
>
> ⚠**注意：ケガ防止のために；**
> フットコントローラーを接続するときは、電源スイッチを切るか、ロックボタンでミシンをロックしてから行ってください。

❶ 電源スイッチを切るか、ロックボタンをタッチしてミシンをロックします。





❷ フットコントローラーのプラグをミシンのフットコントローラー接続口に差し込みます。



❸ フットコントローラーを足元に置き、電源を入れ直します。ロックを設定している場合は、ロックを解除します。(16 ページ参照)



お願い

- スピード調節つまみ（12 ページ参照）は、最高スピードを調節します。速くしたいときは、右にスライドさせてください。
- 模様を選んで押えを下げないとスタートしません。（12 ページ参照）

●タップ機能

ペダルを半分くらい素早く踏んで放すと、針が上のときは下に、下のときは上に移動させることができます。針の停止位置（31 ページ参照）は、変わりません。

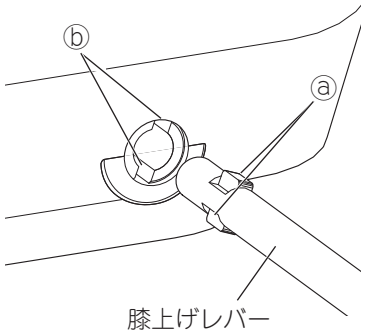
膝上げレバーの使い方

膝上げレバーを取り付けると、膝で押えの上げ下げができるようになります。両手が空くため、作業がしやすくなります。

❶ 膝上げレバーの凸部ⓐを、ミシンの膝上げレバー差し込み口の凹部ⓑに合わせて、つきあたるまで差し込みます。

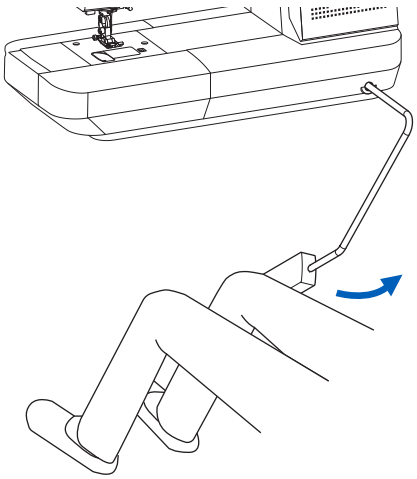
お願い

膝上げレバーは差し込み口の奥まで差し込んでください。確実に差し込まれていないと、使用中に外れることがあります。



❷ 押えを上げるときは、膝上げレバーを膝で右に押します。

押している間、押えが上がります。
押えを下げるときは、膝上げレバーから膝を離します。



⚠ 注意：ケガ、故障を防ぐために；

ぬっている間は、膝上げレバーに触れないように注意してください。ぬっている間に膝上げレバーを押すと、針が折れたり、模様が崩れたりする可能性があります。

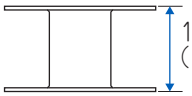
下糸の準備

手順に従って下糸を巻き、正しくセットしましょう。

◆ボビンの取り出し方

お願い

ボビンは、専用のプラスチック製のものをお使いください。

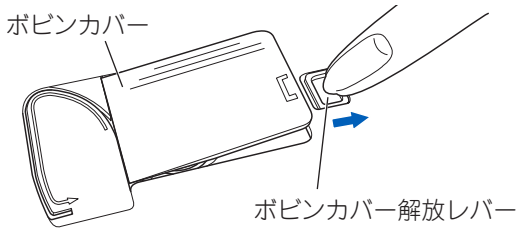


注意：ケガ防止のために；

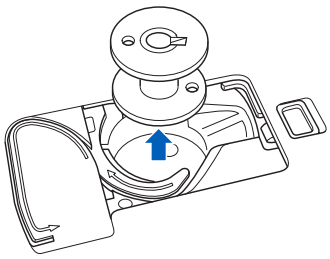
必ずロックボタンでミシンをロックしてから行ってください。操作が終わったら、ミシンのロックを解除してください。



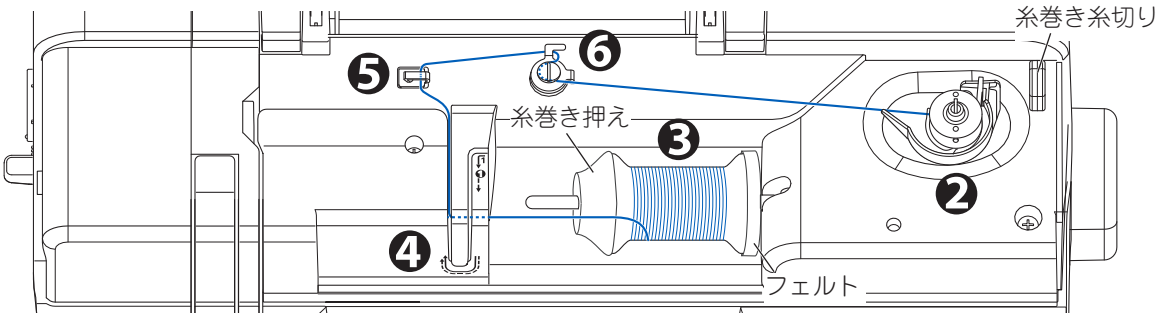
❶ ボビンカバー解放レバーを右に押して、ボビンカバーを取り外します。



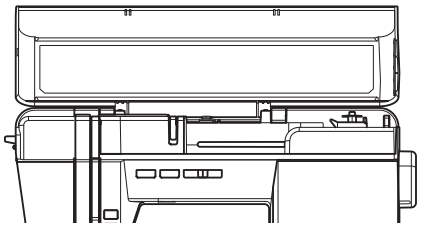
❷ ボビンを取り出します。



◆下糸の巻き方

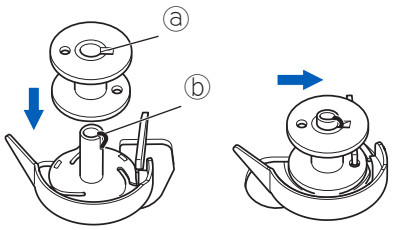


❶ トップカバーを開けます。

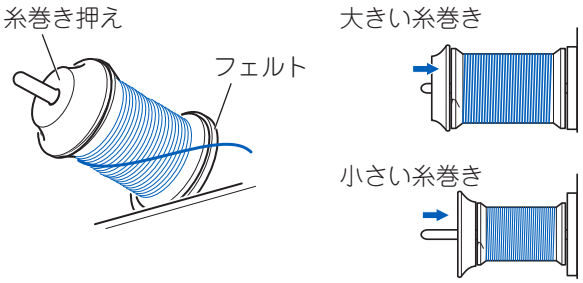


❷ ボビンのミゾⓐが、糸巻き軸のバネⓑに合うように、ボビンを軸に差し込み、右に押します。

案内窓に「下糸巻き中」のメッセージ画面（99 ページ参照）が表示されます。



❸ 糸が下側から出るようにして、糸巻きを糸立て棒に入れ、糸巻き押えを差し込みます。

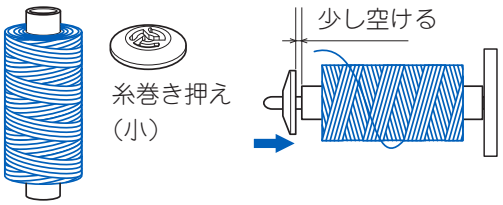


お願い

必ずフェルトを糸巻きの右にセットしてください。

糸巻き押えは、糸巻きの大きさに合わせて方向を変えます。

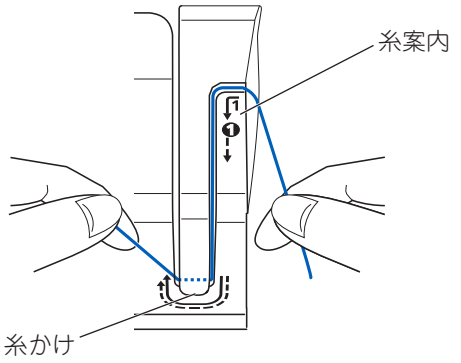
下図のような糸巻きをお使いの場合は、糸巻き押え（小）を取り付けてください。



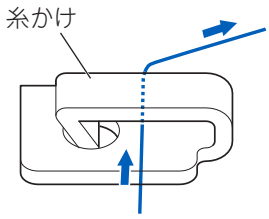
お知らせ

通常の糸巻き押えでは、糸がスムーズに出ないときがあります。取り付けは、糸巻きとの間に少しスキマが空くようにして差し込みます。

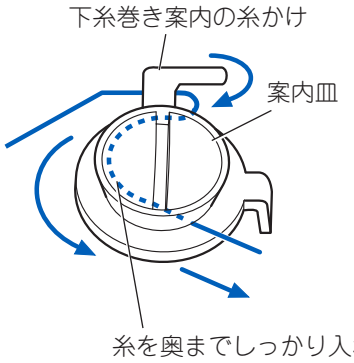
❹ 糸を両手で持ち、矢印にそって糸案内の後ろからかけ、次の糸かけの下に右からかけ、上に引き上げます。



❺ 糸を後ろに引き、糸かけの下を左から右にかけます。



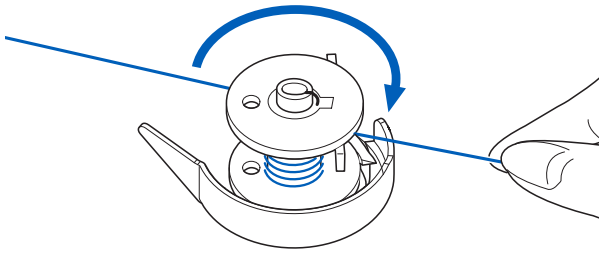
❻ 下糸巻き案内の糸かけに後ろからかけ、案内皿の下に左回りでかけます。



お願い

糸を案内皿の下にしっかり入れてください。
糸が奥までしっかり入っていないと、ボビンにきれいに巻かれなかったり、ボビン以外の部位に巻き付いてしまったりする場合があります。

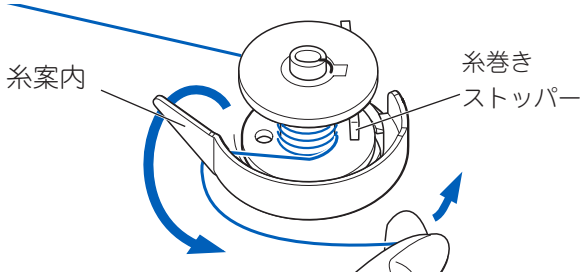
❼ 糸がたるまないようにしながら、ボビンに右回りに 4、5 回、巻き付けます。



お願い

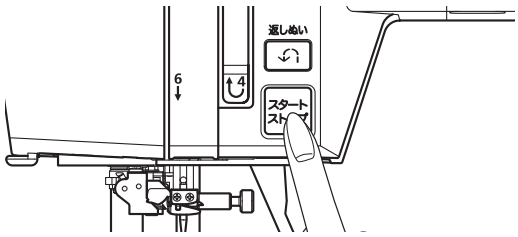
糸は必ず右回りに巻き付けてください。誤って反対方向に巻き付けると、糸がボビンに巻かれません。

❽ ボビン受けの糸案内にかけ、左回りに糸を引き、糸切りで切ります。



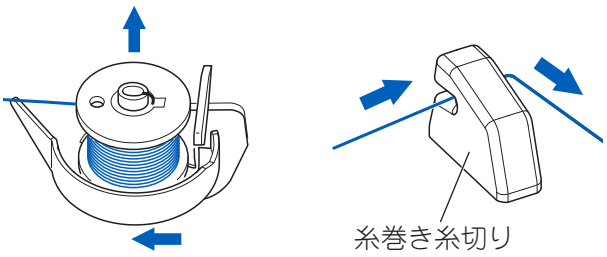
左回りに引くだけで、糸が糸切りにかかり切れます。

❾ スタート・ストップボタンを押します。



糸がボビンに約80％巻かれると、糸巻きストッパーが押され、自動的に止まります。

❿ 巻き終わったら、糸巻き軸を左に戻してボビンを外し、糸巻き糸切りで切ります。

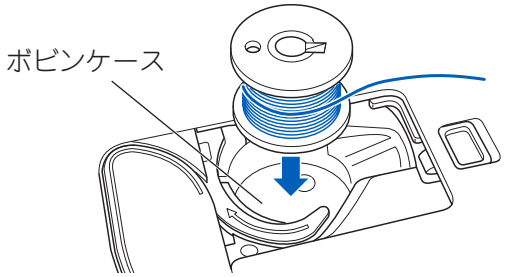


糸巻き糸切りの後ろのミゾに糸をかけて切ります。

◆ボビンのセット

⚠ **注意：ケガ防止のために；** 必ずロックボタンでミシンをロックしてから行ってください。操作が終わったら、ミシンのロックを解除してください。	

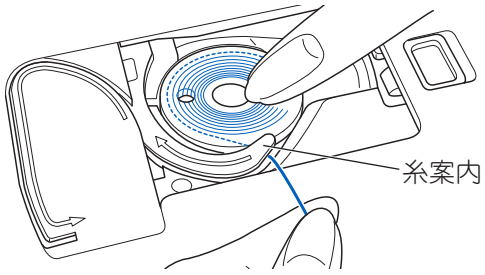
❶ ボビンを糸が左回りになるようにして、ボビンケースに入れます。



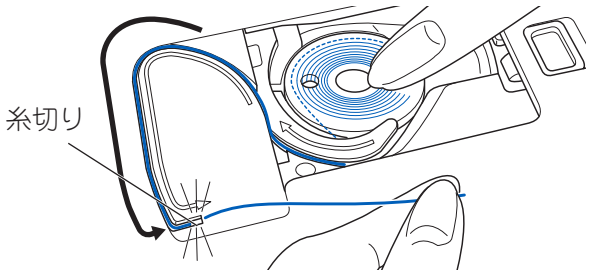
お願い

糸の方向を間違えないように注意してください。

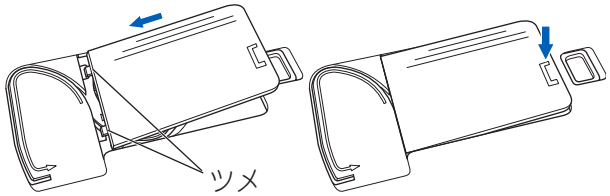
❷ 右手でボビンを軽く押え、左手で糸を糸案内に引っかけます。



❸ ミゾに沿って、上から下に通し、右に引いて、糸切りで切ります。



❹ ボビンカバー左側のツメをミゾに差し込み、右側を軽く押して取り付けます。



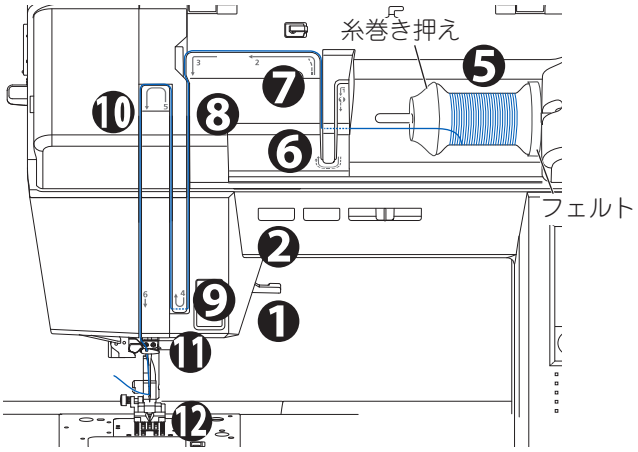
お知らせ

このミシンは、下糸を引き上げなくても、このままでぬい始めることが出来ます。
もし、下糸を引き上げてぬいたいときは、40 ページの「下糸を長くとってぬい始めたいとき」を参照してください。

上糸の準備

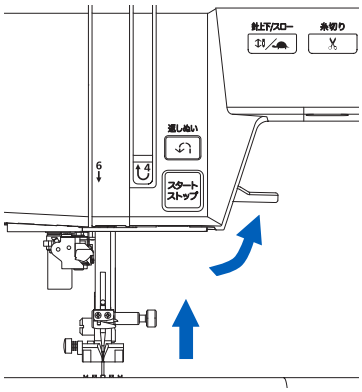
手順に従って正しく上糸をかけましょう。

◆上糸のかけ方



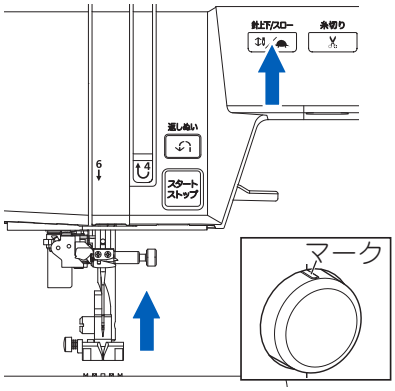
❶ 押え上げレバーを上げます。

レバーを上げないと糸調子調節装置に糸がかからず、糸調子がとれません。



❷ 針上下ボタンで針を上に上げます。

針が確実に上がっているときは、ハズミ車のマークも上にきます。マークが上にきていることを必ず確認してください。マークが上にないときは、再度針上下ボタンを押すか、ハズミ車を回して上にしてください。



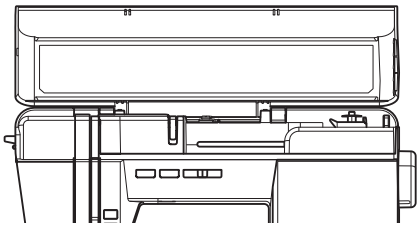
❸ ロックボタンをタッチしてミシンをロックします。



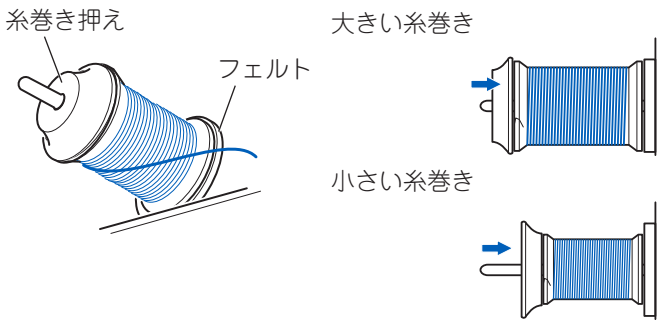
> **注意：ケガ防止のために；**
> 必ずロックボタンでミシンをロックしてから行ってください。操作が終わったら、ミシンのロックを解除してください。



❹ トップカバーを開けます。

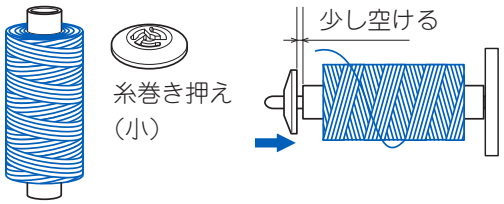


❺ 糸が下側から出るようにして、糸巻きを糸立て棒に入れ、糸巻き押えを差し込みます。



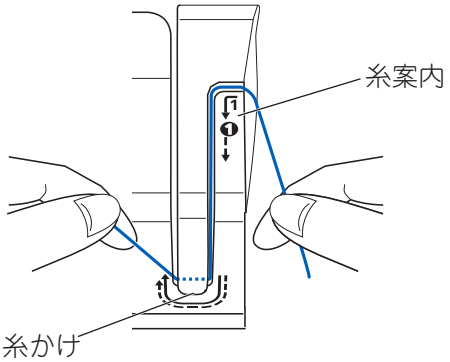
お知らせ
必ずフェルトを糸巻きの右にセットしてください。
糸巻き押えは、糸巻きの大きさに合わせて方向を変えます。

下図のような糸巻きをお使いの場合は、糸巻き押え（小）を取り付けてください。



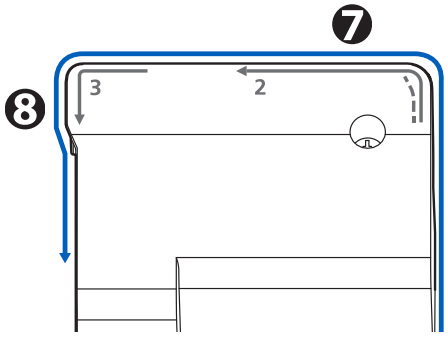
お知らせ
通常の糸巻き押えでは、糸切りで糸が切れなかったり、糸調子がうまくとれないときがあります。
取り付けは、糸巻きとの間に少しスキマが空くようにして差し込みます。

❻ 糸を両手で持ち、糸案内の後ろから糸をかけ、矢印にそって糸かけの手前からかけ、上に引き上げます。

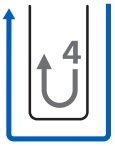


❼ 矢印にそって糸をかけ、左に引いていきます。

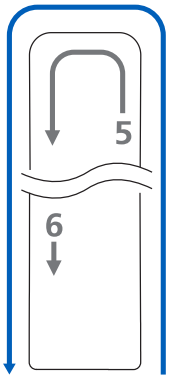
❽ 糸を右から左にかけ、矢印にそって手前におろします。（中の糸調子調節装置に糸がかかります）



❾ 右から左にかけ、上に引き上げます。

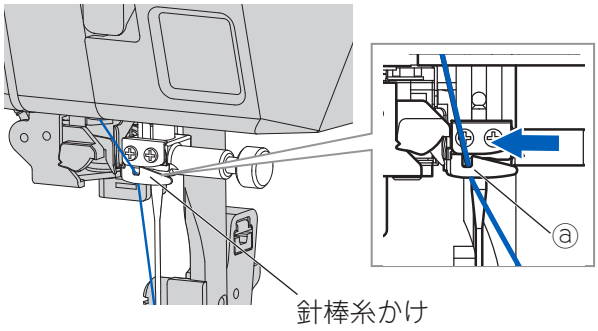


❿ 矢印にそって右から左にかけ、下におろします。（中の天びんに糸がかかります。）



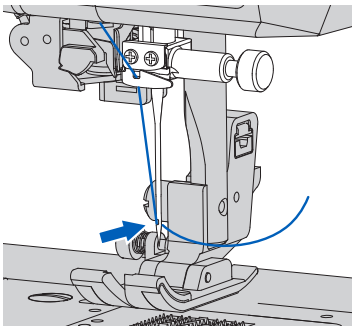
⓫ 針棒糸かけに右側からかけます。

針棒糸かけの正面向かって右側から糸を通し、針棒糸かけのミゾⓐに糸をかけます。



⓬ 針穴に前から通します。

糸通しを使う場合は、25 ページを参照ください。



◆糸通しの使い方

糸通しは、11～16番の針、50～100番の糸に使えます。

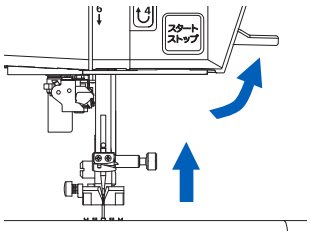
⚠注意：ケガ、故障を防ぐために；

- 針の下に指を入れないでください。ケガの原因となります。
- 針が正しく取り付けられていることを確認してください。正しく取り付けられていないと、糸通しができなかったり、故障の原因になったりします。（29 ページ参照）
- 糸通しレバーを下げたとき、ハズミ車は回さないでください。ケガや故障の原因となります。

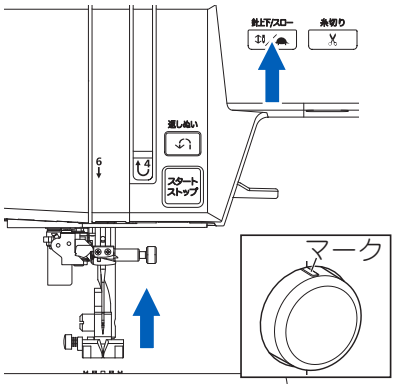
お願い

- 透明なナイロン糸など特殊な糸を使用するときは、糸通しは使用できません。
- 別売り品のルーペが取り付けられているときは、糸通しは使用できません。ルーペの詳細については、93 ページの「ルーペのご案内（別売り品）」を参照してください。

❶ 押えを上げます。



針が下位置にあるときは、針上下ボタンで上に上げます。針が確実に上がっているときは、ハズミ車のマークも上にきます。マークが上にきていることを必ず確認してください。



❷ ロックボタンをタッチしてミシンをロックします。



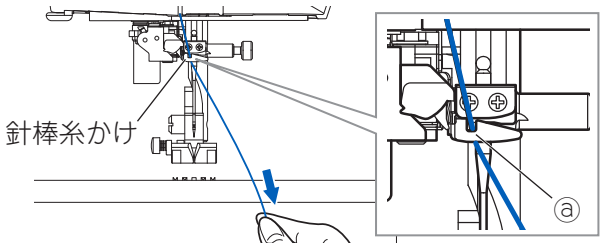
⚠注意：ケガ防止のために；

必ずロックボタンでミシンをロックしてから行ってください。操作が終わったら、ミシンのロックを解除してください。



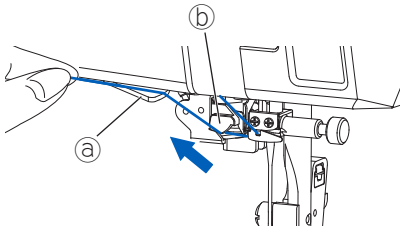
❸ 針棒糸かけに糸を通し、補助テーブルの手前まで引き出します。

正面向かって右側から糸を通し、針棒糸かけのミゾⓐに糸をかけます。



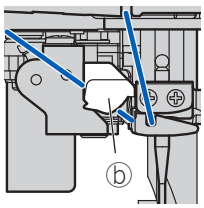
❹ 糸を引き上げ、糸通しのガイドにかけます。

針棒糸かけから糸通しのガイドⓐに右から左へ糸をかけます。このとき、糸がピンと張るように引っ張ってかけると、糸は自動的に糸保持体ⓑを通ります。

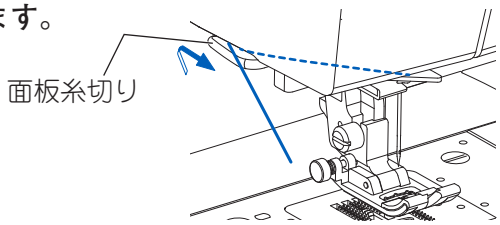


お知らせ

糸が糸保持体ⓑを通っていることを確認してください。糸保持体を通っていないと、糸が針穴に入りません。



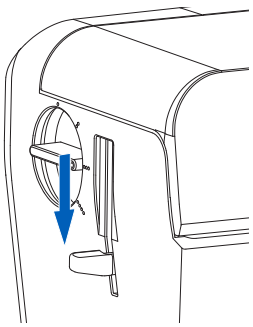
❺ 面板糸切りの後ろから手前に糸をかけて切ります。



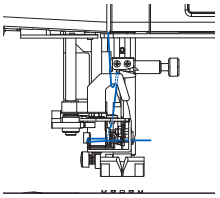
❻ 糸通しレバーを下げます。

お知らせ

糸通しレバーがそれ以上下がらなくなる位置までしっかり下げてください。



糸通しレバーを下げると、糸通しの装置が下がり、自動的に糸通しを行います。

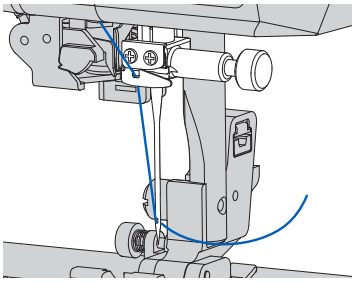


❼ 糸通しレバーを放します。

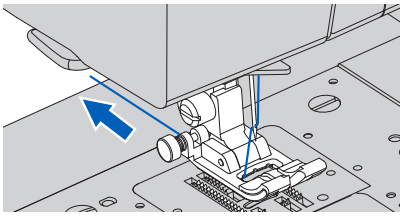
針穴を通った糸が、

輪になっている場合　：輪を引っ張り、糸端を引き出してください。

糸通しに引っかかっている場合　：引っかかっている糸を糸通しから外し、糸端を引き出してください。



❽ 押えの下に糸を通し、10 cm ほど後ろへ引き出します。



押えの取りかえ方と押えホルダーの取り外し・取り付け

ミシンを使っていると、押えの交換や押えホルダーの取り外し・取り付けをする場面があります。ここでは、その方法を説明します。

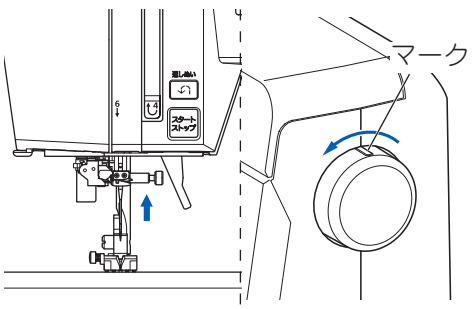
◆押えの取りかえ方

押えは、ぬいの種類や用途によって使い分けます。それぞれのぬいに適した押えについては、41 ページからの「いろいろなぬい方」を参照してください。

> **注意：ケガ防止のために；**
> 必ず電源スイッチを切るか、ロックボタンでミシンをロックしてから行ってください。

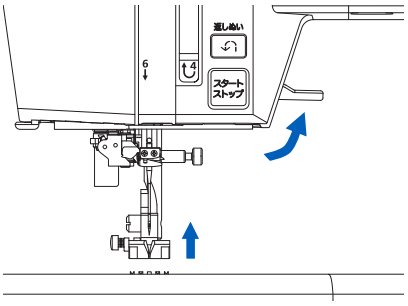


❶ ハズミ車を手前に回して、針を上に上げます。

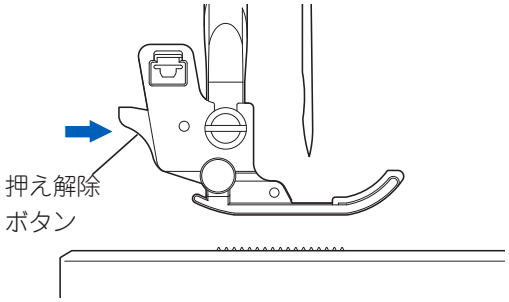


ハズミ車のマークが上にきます。

❷ 押え上げレバーを上げます。

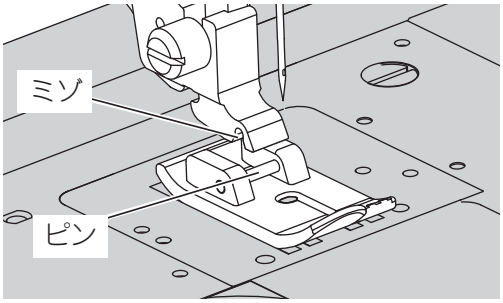


❸ 押え解除ボタンを押します。

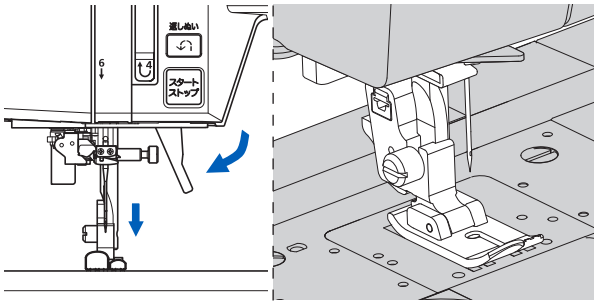


押えが外れます。

❹ 交換する押えのピンを押えホルダーのミゾの真下に合わせます。



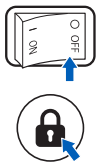
❺ 押え上げレバーを下げます。



ピンがミゾにはまります。
もし、完全にはまらないときは、押え解除ボタンを押してみてください。

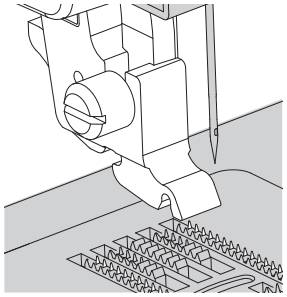
◆押えホルダーの取り外し・取り付け

お手入れをするときや、キルティング押え、上送り押え（別売り品：94、95 ページ参照）を取り付けるときは、押えホルダーを外します。

⚠ **注意：ケガ防止のために；** 必ず電源スイッチを切るか、ロックボタンでミシンをロックしてから行ってください。	

● 取り外し

❶ 押えを外します。



26 ページの「押えの取りかえ方」参照

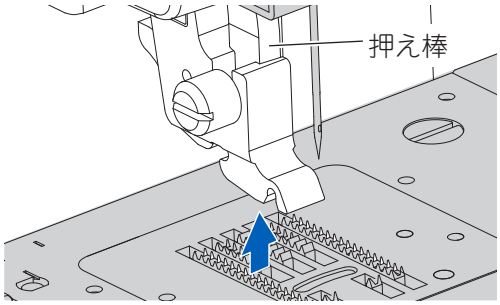
❷ 付属の針板用ドライバーで、押えホルダー止めネジをゆるめます。



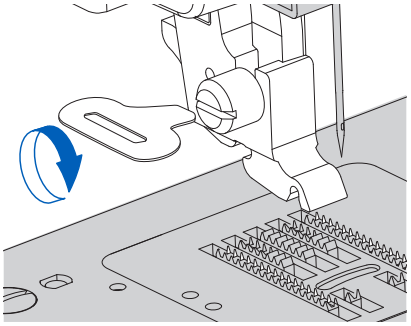
押えホルダーが外れます。

● 取り付け

❶ 押えホルダーを押え棒の下から突き当たるまで持ち上げます。



❷ 付属の針板用ドライバーで、押えホルダー止ネジをしっかりしめます。



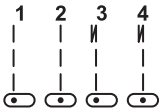
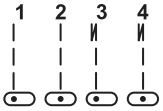
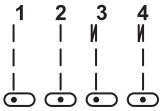
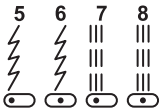
お願い

市販の大きなドライバーなどであまり強くしめつけないでください。故障の原因となります。

糸と針の選び方

糸と針は、布地の種類や厚さに合わせて選びます。

お知らせ
このミシンに付属している以外の針については、市販の家庭用ミシン針 HA × 1、HA × 1SP（ニット用針）をお買い求めください。

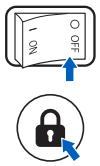
布地の種類		糸の番号	針の番号	模様（直線）とぬい目長さ（32 ページ参照 ）
薄地	薄地ジョーゼット、ボイル、オーガンジー、タフタ、絹布など。	綿　80 ～ 100 絹　60 ～ 80 化繊糸　80 ～ 100	9 ～ 11 番	 ぬい目長さ 0.8 ～ 2.5
普通地	ギンガム、ピケ、リンネル、さらさ木綿、薄手のコーデュロイ、サテン、別珍、一般服地など。	綿　50 ～ 80 絹　50 化繊糸　50 ～ 80	11 ～ 14 番	 ぬい目長さ 2.0 ～ 3.0
厚地	ギャバジン、ツイード、デニム、キルティング、コーデュロイなど。	綿　30 ～ 50 絹　50 化繊糸　30 ～ 60	14 ～ 16 番	 ぬい目長さ 2.0 ～ 5.0
伸縮性の布地	ダブルニット、トリコット、スパンデックス、ジャージなど。	化繊糸　50 ～ 80 絹　50 ニット用糸	11 ～ 14 番 ニット用針	

針の取りかえ方

折れたり曲がったりした針は、そのまま使わず交換してください。用途に合った針に変更することも大切です。

注意：ケガ防止のために；

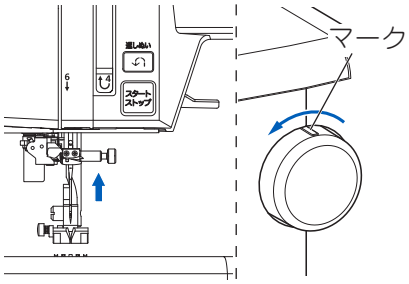
必ず電源スイッチを切るか、ロックボタンでミシンをロックしてから行ってください。



お願い

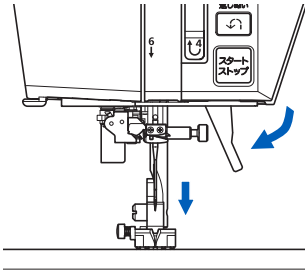
針板の上に紙や布をしいておくと、ミシンの中に針を落とす心配がありません。

❶ ハズミ車を手前に回して、針を上に上げます。

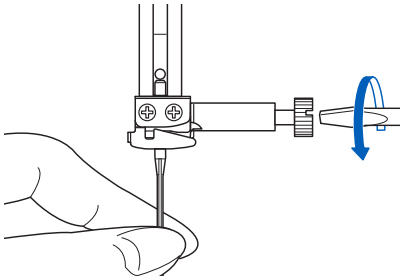


ハズミ車のマークが上にきます。

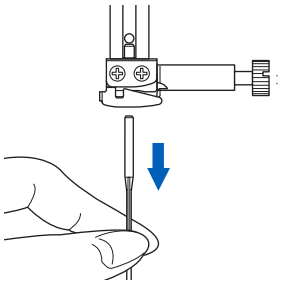
❷ 押え上げレバーを下げます。



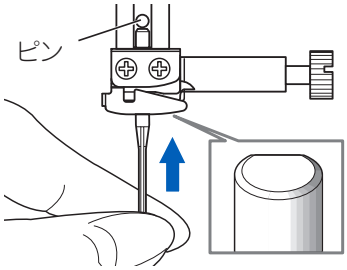
❸ 針を左手で持ちながら、付属のドライバーで針止めネジをゆるめます。



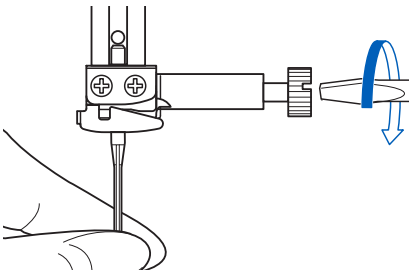
❹ 針を外します。



❺ 新しい針の平らな面を後ろにして、ピンにあたるまで差し込みます。



❻ 指で軽くネジをしめた後、付属のドライバーでしっかりしめます。

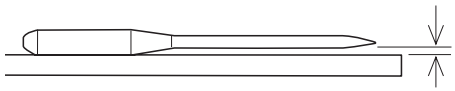


お願い

市販の大きなドライバーなどであまり強くしめつけないでください。故障の原因となります。

注意：ケガ防止のために；

- 針は、家庭用ミシン針（HA × 1）とご指定の上、お買い求めください。
- 曲がった針や、先がつぶれた針はご使用にならないでください。取り付け前には、針板など平らなものにのせ、のぞいてみて確かめてください。



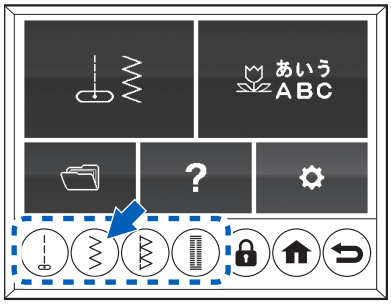
第 3 章　実用ぬい

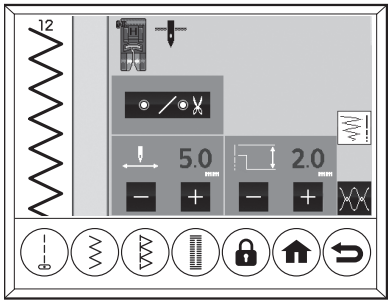
このミシンでは、いろいろな用途に使われる実用ぬいと、装飾的なぬいに用いる飾り模様・文字ぬいを行うことができます。
ここでは、実用ぬいの模様の選び方について説明します。飾り模様・文字ぬいの模様の選び方については、69 ページを参照してください。
また、このミシンでぬえる実用ぬいの模様については、トップカバーの内側と、この取扱説明書の 105 ページ「模様一覧」を参照してください。

模様の選び方（基本ぬい・実用ぬい）

◆基本ぬいの模様の選び方

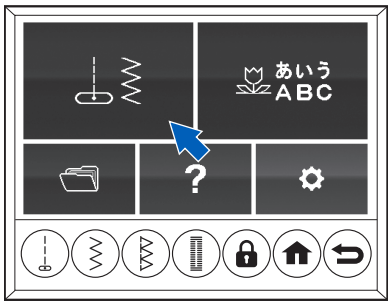
よく使われる実用ぬい模様（2、12、17、50）を直接選ぶことができます。
ぬいたい模様の基本ぬいボタンをタッチしてください。
選んだ模様が案内窓に表示されます。





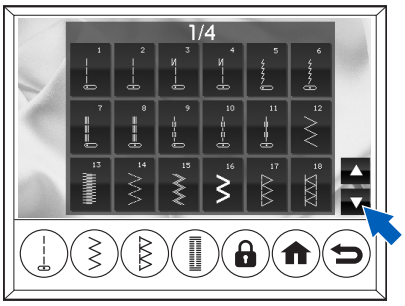
◆実用ぬいの模様の選び方

❶ **ホーム画面で実用ぬいボタンをタッチします。**



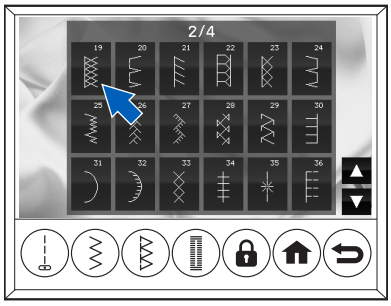
❷ **ぬいたい模様が表示されるまで、▲ ▼ボタンをタッチします。**

実用ぬいの最初の模様選択画面が表示されます。
模様選択画面は全部で 4 画面あります。
画面右下の次ボタン（▼）をタッチするごとに次の画面が、前ボタン（▲）をタッチするごとに前の画面が順番に表示されます。



❸ ぬいたい模様を直接タッチします。

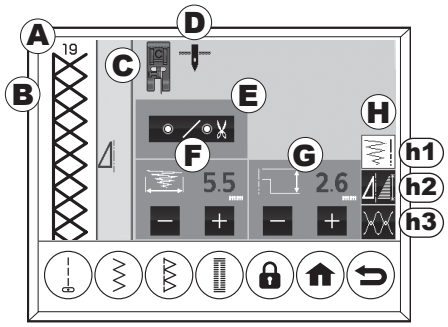
選んだ模様が表示されます。（31 ページの「ぬい目のふり幅／長さ」参照）



模様の調整（模様設定画面の使い方）

◆ぬい目のふり幅／長さ

模様を選ぶと、模様設定画面が表示されます。
模様設定画面には、選んだ模様のぬい目の長さとふり幅が表示されます。
ぬい目のふり幅と長さは、その模様に最適な幅と長さに自動設定されます。それぞれ手動で調整することもできます。



Ⓐ模様番号

Ⓑ模様のプレビュー画像

選んだ模様の設定（ふり幅、長さ、反転、伸長）に合わせて、形状が変わります。

Ⓒ押え

選んだ模様に適した押えが表示されます。模様によっては、設定を変えると表示される押えも変わります。

Ⓓ針停止位置

設定画面（14 ページ参照）で設定した針の停止位置を表しています。停止位置によって以下のように表示されます。

上のとき：

下のとき：

Ⓔ止めぬい／糸切りボタン

ぬいの始めと終わりに自動で止めぬいをしたり、糸を切ったりします。使い方は 38 ページの「自動止めぬい・自動糸切り」を参照してください。

Ⓕふり幅

模様を選ぶと、ぬい目のふり幅はその模様に最適な幅に自動設定されます。自動設定値は緑色で、変更後の値は白色で表示されます。＋－ボタンをタッチして、手動で調整することもできます。

－ 狭くなる

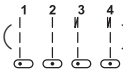
＋ 広くなる

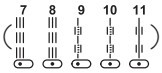


お知らせ

- 最大値、最小値になるとピピピッと鳴ってお知らせします。（ブザー音が鳴らないように設定した場合は鳴りません。詳しくは 14 ページの「設定ボタン」を参照してください）
- 模様によって最大値、最小値は異なります。
- 数値が表示されない模様は、自動設定値から変えられません。
- ふり幅、長さは、ぬいながら変更できます。

●針位置の変更

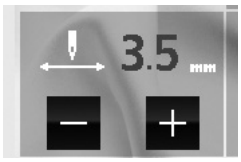
直線ぬいの実用ぬい模様 1 ～ 4（

）、7 ～ 11（

）の場合は、ふり幅のかわりに、ぬうときの針の位置を左右に変えることができます。

お知らせ

直線用交換針板が取り付けられているときは、針位置の変更はできません。



数値	0	3.5	7.0
針位置	左	中央	右

Ⓖ長さ

模様を選ぶと、ぬい目の長さはその模様に最適な長さに自動設定されます。自動設定値は緑色で、変更後の値は白色で表示されます。＋－ボタンをタッチして、手動で調整することもできます。

− 細かくなる

＋ 粗くなる

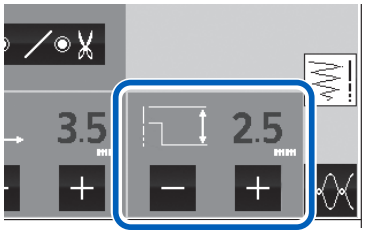


お知らせ

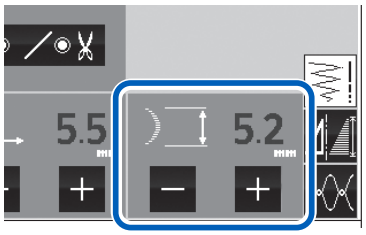
- 最大値、最小値になるとピピピッと鳴ってお知らせします。（ブザー音が鳴らないように設定した場合は鳴りません。詳しくは 14 ページの「設定ボタン」を参照してください）
- 模様によって最大値、最小値は異なります。
- 数値が表示されない模様は、自動設定値から変えられません。
- ふり幅、長さは、ぬいながら変更できます。

ぬい目長さの表示は模様によって異なります。
詳しくは、105 ページの「模様一覧」を参照してください。

例 1　1 針分の長さの場合



例 2　模様（1 区切り）の全長の場合




模様の 1 針分の長さが表示されます。（例 1）


模様の全長（模様の 1 区切りの長さ）が表示されます。（例 2）
各模様の全長の区切りについては、105 ページの「模様一覧」を参照してください。−をタッチするとぬい目が細かくなって全長が縮み、＋をタッチするとぬい目が粗くなって全長が伸びます。

Ⓗ設定画面変更ボタン

模様設定画面には、ふり幅／長さ、反転／伸長、糸調子の 3 画面があります。ボタンをタッチして画面を切り替えます。

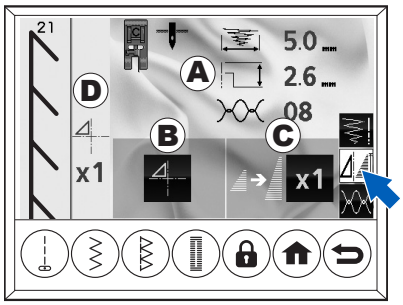
h1：　ふり幅／長さボタン（31 ページ）

h2：　反転／伸長ボタン（33 ページ）
このボタンが表示されない模様は、反転／伸長できません。

h3：　糸調子ボタン（34 ページ）

◆反転／伸長

模様設定画面で反転／伸長ボタンをタッチすると、反転／伸長の設定画面が表示されます。



Ⓐふり幅、長さ、糸調子

現在設定されているふり幅、長さ、糸調子が表示されます。
ふり幅／長さについては 31 ページの「ぬい目のふり幅／長さ」を参照してください。
糸調子については、34 ページの「自動糸調子」を参照してください。

Ⓑ反転ボタン

このボタンをタッチすると、模様は以下のように反転します。初期設定は緑色で、そのほかの設定は白色で表示されます。

●左右反転

1. もとの設定（緑色の表示）
2. 左右反転

●上下反転

1. もとの設定（緑色の表示）
2. 上下反転

左右反転		上下反転	
もとの設定	左右反転	もとの設定	上下反転
			
			

●上下左右反転

1. もとの設定（緑色の表示）
2. 左右反転
3. 上下反転
4. 上下左右反転

もとの設定	左右反転	上下反転	上下左右反転
			
			

> **お知らせ**
> - 模様によって反転できる向きは異なります。105 ページの「模様一覧」を参照してください。
> - 反転できない模様は、反転ボタンが表示されません。
> - 反転はぬいながら変更することはできません。

Ⓒ伸長ボタン（2 倍）

このボタンが表示されたら、模様の長さを 2 倍に伸ばしてぬうことができます。ボタンをタッチするごとに表示が変わり、画面左端の模様のプレビュー画像も同時に変わります。初期設定の 1 倍は緑色で、2 倍は白色で表示されます。

1. もとの設定（緑色の表示）
2. 2 倍ぬい

もとの設定	2 倍ぬい
x1	x2
	

> **お知らせ**
> - 伸長できる模様については、105 ページの「模様一覧」を参照してください。
> - 伸長できない模様は、伸長ボタンが表示されません。
> - 伸長はぬいながら変更することはできません。

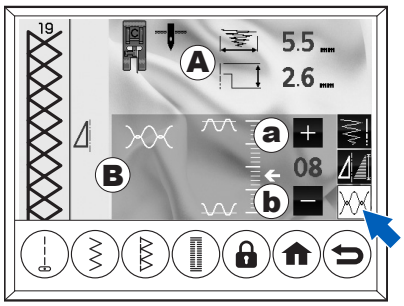
Ⓓ反転／伸長の設定内容

現在設定されている反転／伸長の内容が表示されます。

◆自動糸調子

上糸と下糸が互いに引っ張り合う力のバランスを「糸調子」と呼びます。糸調子は、上糸の調子を強めたり弱めたりすることで調節します。この取扱説明書で説明する「糸調子の調節」とは、上糸の調節のことを指します。

このミシンでは、模様を選ぶと、模様ごとに設定された最適な糸調子（自動設定値）に自動的に調節されます。自動設定値から変更してぬいたいときは、手動で調節することもできます。糸調子ボタンをタッチして糸調子調節画面を表示させて調節します。



Ⓐふり幅／長さ

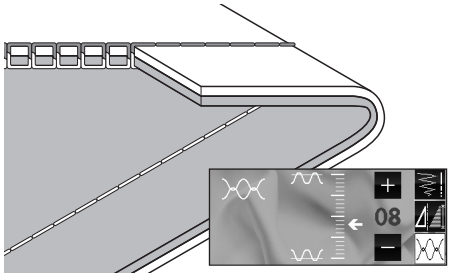
現在設定されているふり幅、長さが表示されます。
ふり幅／長さについては 31 ページの「ぬい目のふり幅／長さ」を参照してください。

Ⓑ糸調子

- 糸調子の状態が数値と目盛りで表示されます。
- 自動設定値は緑色で表示されます。
- ＋ボタンⓐをタッチするごとに糸調子が強く、－ボタンⓑをタッチするごとに弱くなります。
- 戻るボタンをタッチして模様設定画面（ふり幅／長さ画面）に切り替えても、変えた糸調子の設定は保持されます。
- 模様を選び直すと、自動設定値に戻ります。
- 糸調子はぬいながら変更できます。

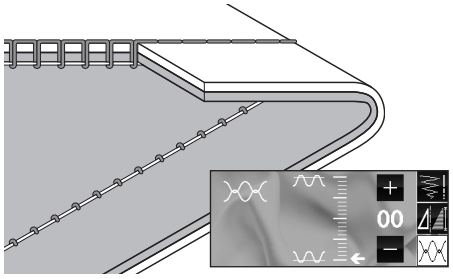
● 自動設定値（直線ぬい）

上糸と下糸が布地のほぼ中央でまじわります。



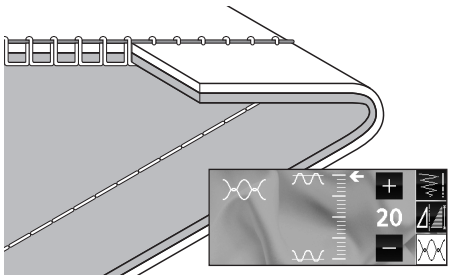
● 上糸が弱いぬい目（－）

布地の裏側に上糸が出てきます。（最小値：0）



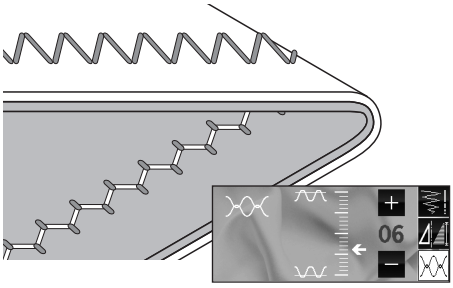
● 上糸が強いぬい目（＋）

布地の表側に下糸が出てきます。（最大値：20）



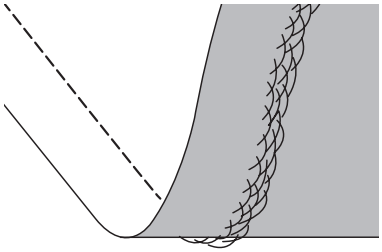
● 直線ぬい以外の自動設定値

直線ぬい以外の自動設定値は、直線ぬいのときより糸調子をやや弱めにして、上糸が布の裏側に少し出るように調節されます。

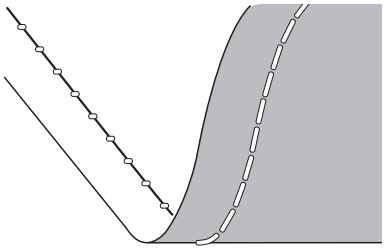


● こんな場合は…

図のように布地の表側は普通にぬえて、裏側がタオル地のようになるときは、上糸のかけ方（とくに、糸調子調節装置への）が間違っています。23 ページの「上糸のかけ方」を参照し、正しくかけてください。



また、糸調子が自動設定値になっているのに、下糸が布地の表側に出てくるときは、ボビンのセットのしかたが間違っています。22 ページの「ボビンのセット」を参照し、正しくセットしてください。

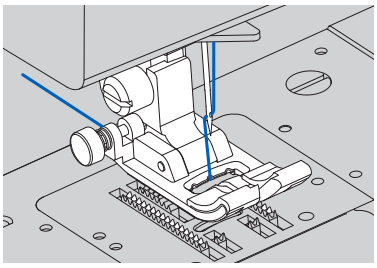


基本的なぬい方とコツ

中基線の直線ぬい（2）をぬってみます。模様の選び方は、30 ページの「模様の選び方（基本ぬい･実用ぬい）」を参照してください。

◆基本的なぬい方

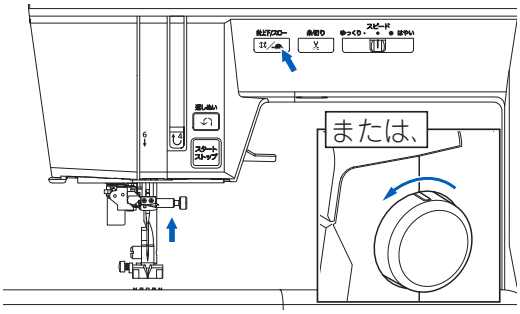
❶ 押えを確かめます。
（ここではジグザグ押えを使用します）



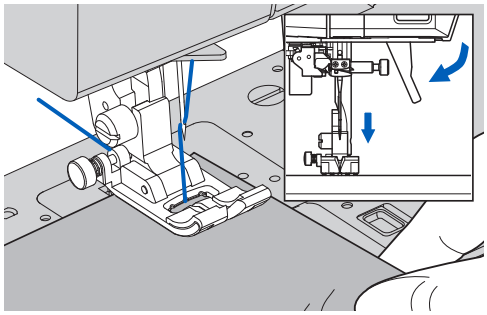
薄い布や伸縮性のある布の直線ぬいをするときに直線用交換針板と直線押えを使うと、きれいに仕上げることができます。
詳しくは、43 ページの「薄い布や伸縮性のある布に直線ぬいをする（直線用交換針板の使い方）」を参照してください。

> **お知らせ**
> 押えの交換方法については、「押えの取りかえ方」（26 ページ）を参照してください。

❷ 針上下ボタンを押すか、ハズミ車を手前に回して、針を上に上げます。

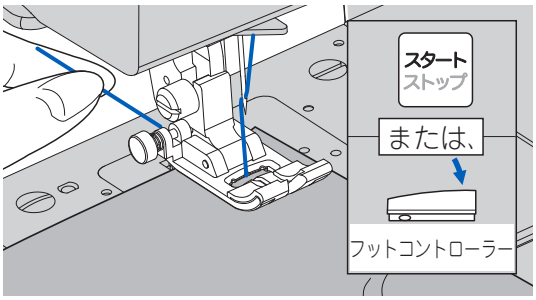


❸ 布地を入れ、押えを下げます。

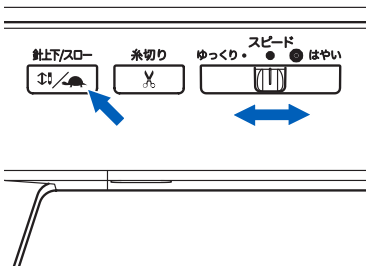


お知らせランプが緑色になります。

❹ 糸端を軽く後ろに持ちながら、スタートさせます。
少しぬったら糸を放します。

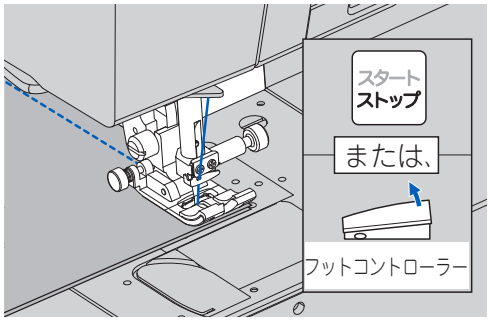


ぬいながらスピードを調節できます。また、ぬいの途中で針上下／クイックスローボタンを押すとスピードがゆっくりになります。もう一度押すと元のスピードに戻ります。



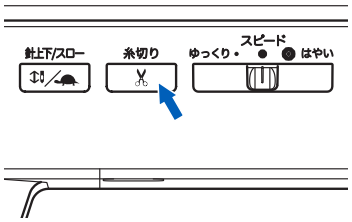
> **注意：ケガ防止のために；**
> - 針先に十分注意してください。
> - 布地は、ミシンによって自動的に送られますので、無理に引っ張ったり、押したりしないでください。針が折れケガをする恐れがあります。

❺ 終わりまで来たら、ストップします。



設定により、針の停止位置は異なります。

❻ 糸切りボタンを押します。

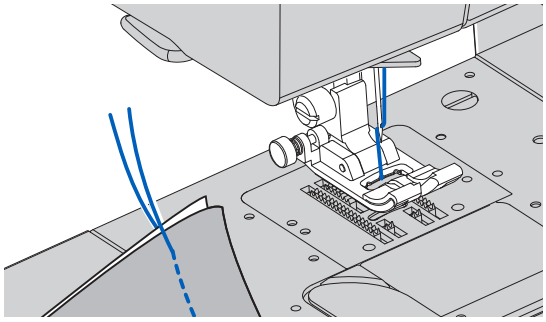


針の停止位置が上のときは、針が一度下がって糸を切り、上に上がります。
針の停止位置が下のときは、そのまま糸を切り、上に上がります。
このとき針が上に上がっても、停止位置の設定は変わりません。

お願い

- 番手が 30 番以下の太い糸や、ナイロン糸など特殊な糸には、糸切りボタンを使わずにミシン左側の面板糸切りにかけて切ってください。（40 ページ参照）
- 布のないときや、糸を切る必要がないときに、むやみに糸切りボタンを押さないでください。故障の原因となります。

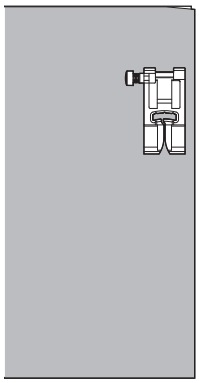
❼ 押えを上げ、布を引き出します。



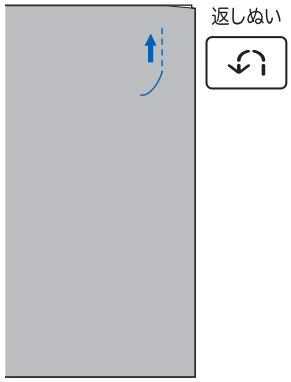
◆返しぬい

ぬい目のほつれを防ぐため、返しぬいボタンを使って、ぬい始めとぬい終わりに返しぬいをします。
（返しぬいボタンを押し続けている間、返しぬいをします。放すと止まります。）

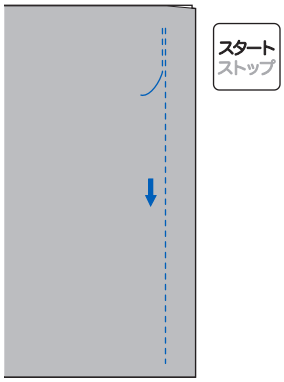
❶ 返しぬいの分、布を奥に入れて、押えを下げます。



❷ 返しぬいボタンを押し続けて、４～５針返しぬいをします。

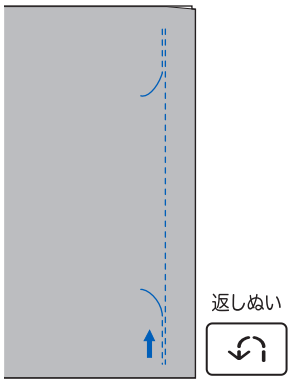


❸ ぬいをスタートさせます。



❹ 終わりまで来たら、返しぬいボタンを押し続けて、４～５針返しぬいをします。

実用ぬい模様３（3）、４（4）は、自動返しぬいの付いた直線ぬいです。（42 ページ参照）



◆自動止めぬい・自動糸切り

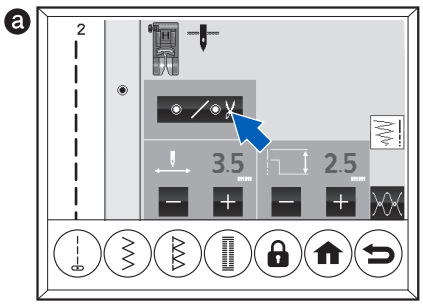
止めぬい／糸切りボタンを１回タッチすると、模様のぬい始めとぬい終わりに、自動的に止めぬいをします。さらに、止めぬい／糸切りボタンをもう１度タッチすると、止めぬいをした後、自動的に糸を切ります。

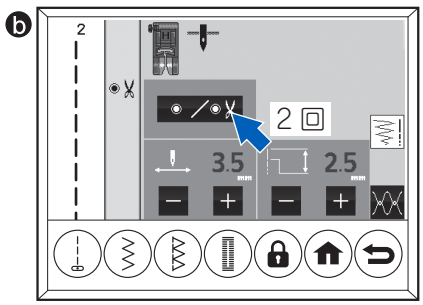
❶ 模様を選んだ後、

a. 止めぬいだけをしたい場合は、止めぬい／糸切りボタンを１回タッチします。◉が表示されます。

b. 止めぬいをして、糸も切りたい場合は、止めぬい／糸切りボタンを２回タッチします。◉✂が表示されます。

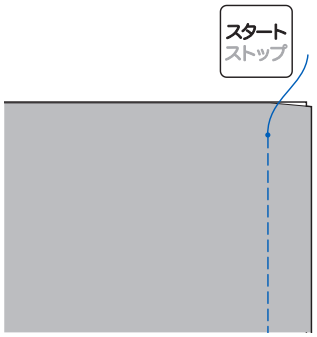
もう１回タッチすると取り消されます。





❷ ぬいをスタートさせます。

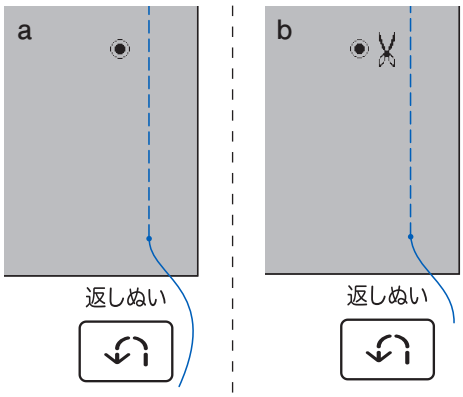
ミシンは止めぬいをしてからぬい始めます。
スタート・ストップボタンで中断できます。
ぬいを中断して糸切りをしたあと、ぬいを再開した場合は、ぬい始めの止めぬいから再びぬい始めます。



❸ ぬい終わりまで来たら、返しぬいボタンを１回押します。

a. 止めぬいだけの設定（◉）では、止めぬいをして止まります。

b. 止めぬいをして糸も切る設定（◉✂）では、止めぬいをして糸を切ります。



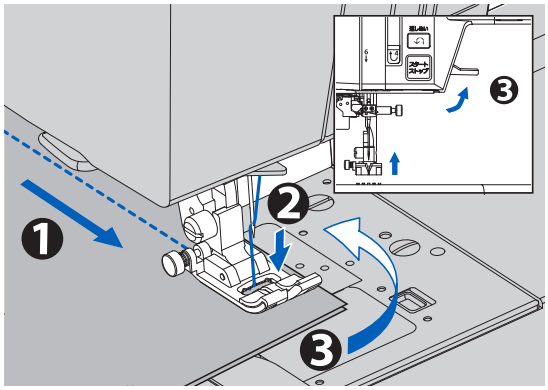
実用ぬい模様３（3）、４（4）、48（48）、50 - 62（50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62）は、返しぬいや止めぬいを内蔵していますので、止めぬい／糸切りボタンを押したときは、糸切り（✂）の設定だけになります。（42、54 - 60、68 ページ参照）

◆ぬい方向の変え方

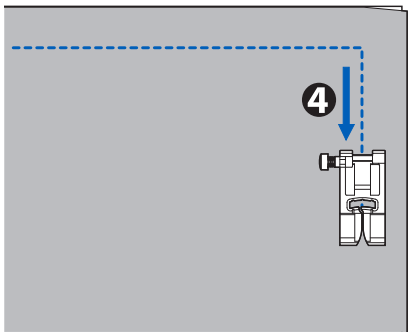
❶ **布地の角まで来たら、ストップします。**

❷ **針を下げ、布に刺します。**
針の停止位置が上のときは、針上下ボタンを押すか、ハズミ車を手前に回して針を下げます。
針の停止位置が下の場合は、そのまま手順３に進みます。

❸ **押えを上げ、針を軸にして布地を回し、ぬい方向にセットします。**



❹ **押えを下げて、続きをぬいます。**

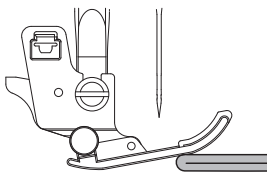


◆厚地ぬい

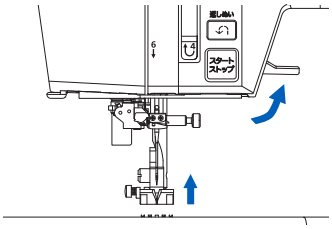
> ⚠ **注意：ケガ防止のために；**
> 厚さが 6 mm 以上の布を無理に押し込むと、針が折れケガをする恐れがあります。

● 厚地のぬい始め（段ぬい押えボタンの使い方）

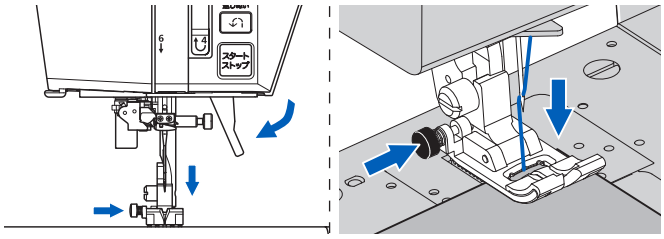
厚地の布端からぬい始めるときに、押えが傾いてスムーズにぬえないときは、段ぬい押えボタンを使います。



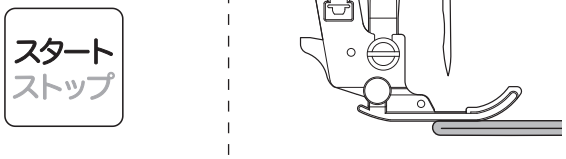
❶ **押えを上げます。**



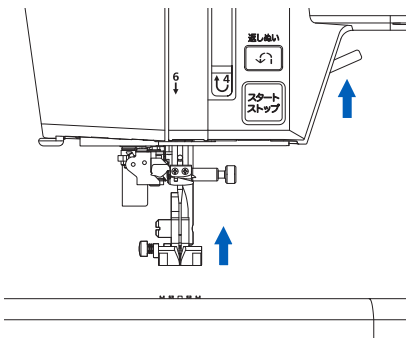
❷ **ジグザグ押えの左側にある黒い段ぬい押えボタンを押しながら、押え上げレバーを下げます。**



❸ **ぬいをスタートさせます。**
押えの傾きが水平に固定されて布が送られます。
ぬい進むと、自動的に固定が解除されます。

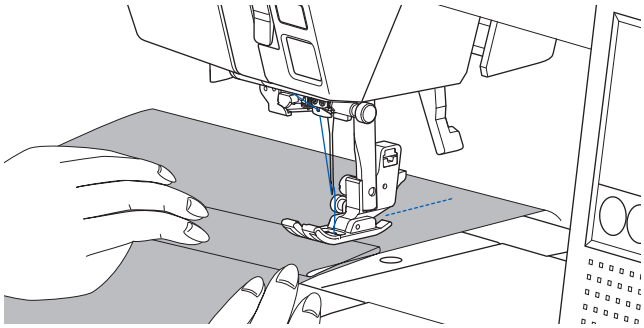


> ℹ お知らせ
> 押え上げレバーをさらに上げると、押えがもう一段上がり、厚地の布が入れやすくなります。
> このとき、上がった押えは固定されません。押え上げレバーから手を放すと、押えは❶で上げた位置に戻ります。



●段ぬい

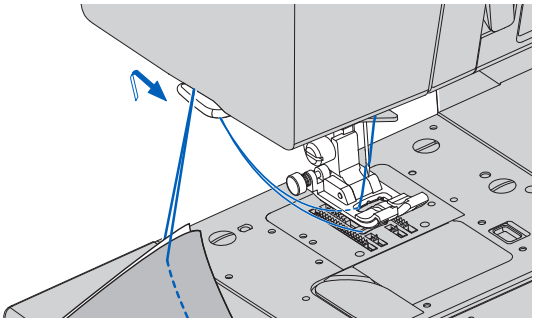
布地が重なり厚くなっている部分や段差がある部分は、手で布の送りを助けながらぬいます。



◆糸切りボタンを使わないとき

以下のような場合は、糸切りボタンを使わずに、ミシン左側の面板糸切りを使って糸を切ります。
針と押えを上げて布を引き出し、面板糸切りに糸を後ろから手前にかけて切ります。

- 番手が 30 番以下の太い糸を使っているとき
- ナイロン糸など特殊な糸を使っているとき
- ぬい終わりの糸を長くとりたいとき

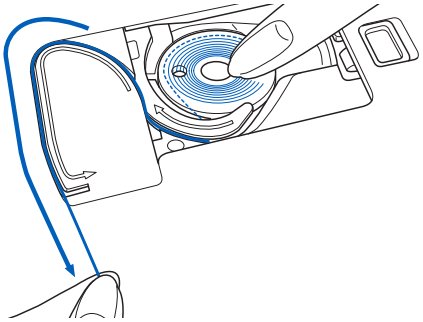


◆下糸を長くとってぬい始めたいとき

ギャザーをぬうときなど、下糸を長くとってぬい始めたいときは、次のようにして下糸を引き上げておきます。

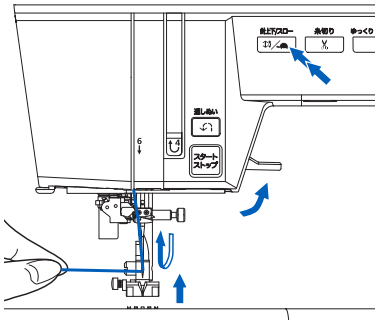
❶ 22 ページの「ボビンのセット」を見ながらボビンを入れ、糸をミゾに通します。

このとき、糸は切らないでください。

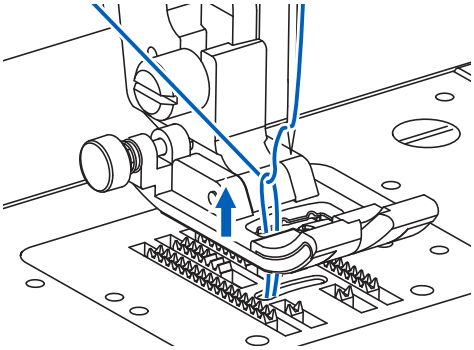


❷ 押えを上げ、上糸を軽く持ちながら、針上位置から、針上下ボタンを 2 回押します。

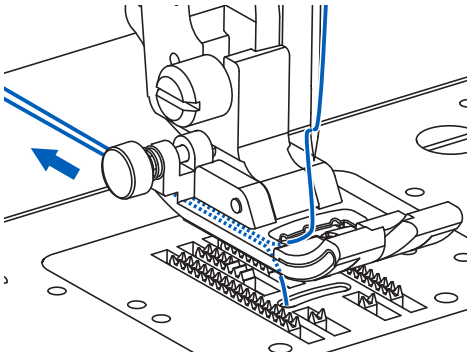
ハズミ車が手前に 1 回転します。
ロックが作動している場合は、先にロックを解除します。



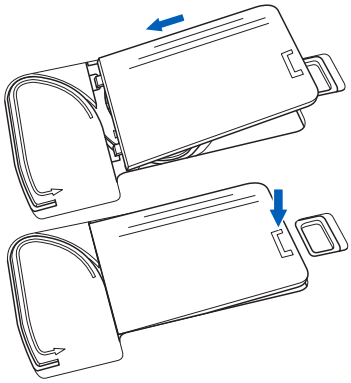
❸ 上糸を静かに引くと、下糸が輪になって出てきます。



❹ 上糸と下糸をそろえて押えの下から 10cm くらい後ろへ出しておきます。



❺ ボビンカバーを取り付けます。(22 ページ参照)

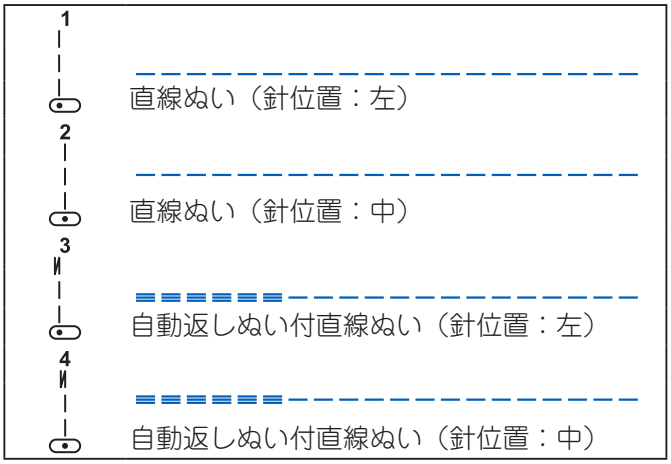


いろいろなぬい方

実用ぬいの模様を使ったいろいろなぬい方を紹介します。

地ぬいなどの直線をぬう（直線ぬい）

地ぬいなどの直線ぬいをします。4 種類の直線ぬいから、布地に合わせて模様を選びます。
針位置が左の直線ぬい（左基線）は、端ぬいや薄物ぬいに適しています。
針位置は、ふり幅の調節で変更できます。詳しくは、31 ページの「ぬい目のふり幅／長さ」を参照してください。



実用ぬい模様	押え
1 3	ジグザグ押え（H）
2 4	ジグザグ押え（H） 直線押え

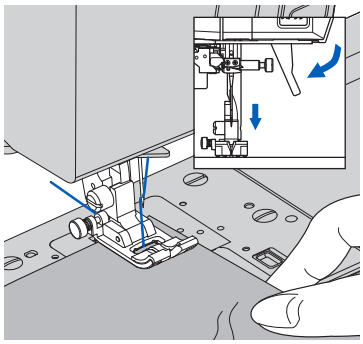
注意：ケガ防止のために；

実用ぬい模様 2、4 で直線押えを使うときは、針位置を自動設定値から変えないでください。針が押えにあたり危険です。

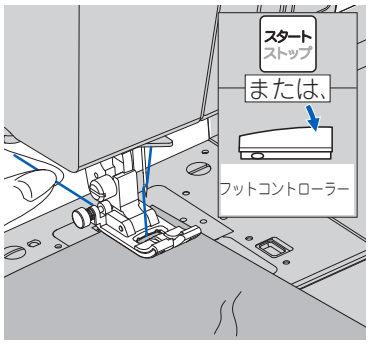
お知らせ

直線用交換針板を使うと、布が針板の穴に沈み込みにくく、よりきれいに仕上げることができます。使い方については、43 ページの「薄い布や伸縮性のある布に直線ぬいをする（直線用交換針板の使い方）」を参照してください。

❶ 布を入れ、押えを下げます。

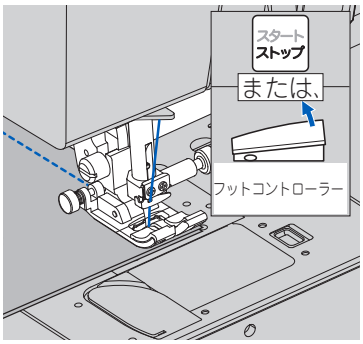


❷ 糸端を軽く後ろに持ちながら、スタートさせます。

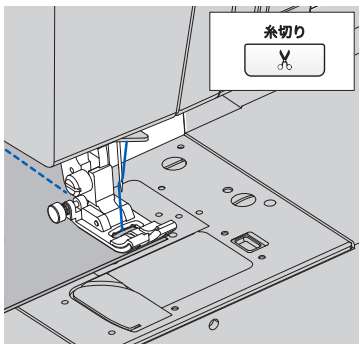


ぬっている間、手は布に軽くそえるようにします。

❸ ぬい終わりまできたら、ストップさせます。



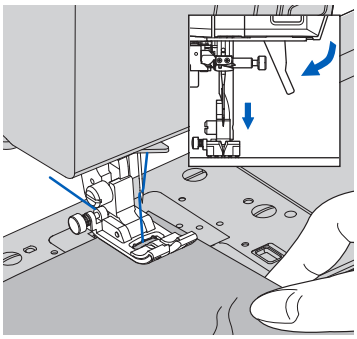
❹ 糸切りボタンを押します。



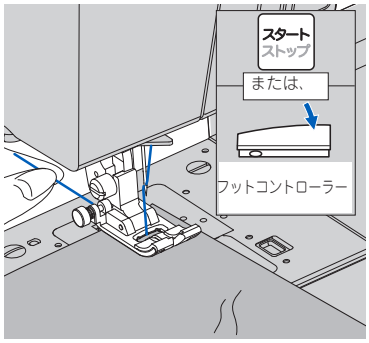
◆自動返しぬい付直線ぬい（3 4）

直線ぬいのぬい始めに自動で返しぬいをします。

❶ 布を入れ、押えを下げます。

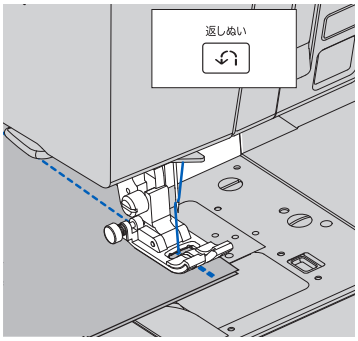


❷ 糸端を軽く後ろに持ちながら、スタートさせます。



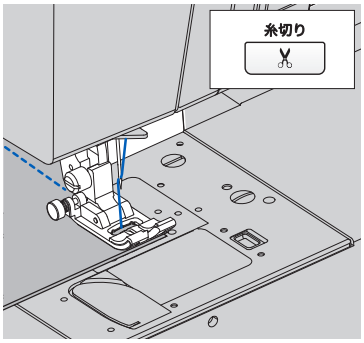
ミシンは数針進んだ後、返しぬいをして、再びぬい進みます。
ぬいを中断するには、スタート・ストップボタンを押します。（フットコントローラーの場合は、ペダルを放します）
ぬいを中断して糸切りをしたあと、ぬいを再開した場合は、ぬい始めの返しぬいから再びぬい始めます。

❸ ぬい終わりまできたら、返しぬいボタンを 1 回押します。



ミシンは数針返しぬいをした後、再びぬい進み、ぬい終わりの位置で自動的に止まります。

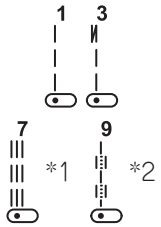
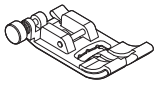
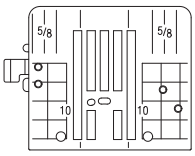
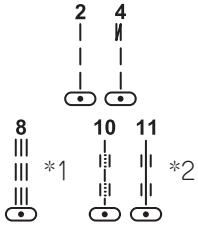
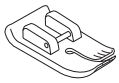
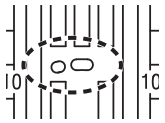
❹ 糸切りボタンを押します。



> **お知らせ**
> あらかじめ止めぬい／糸切りボタンを押しておくと、ぬい終わりに返しぬいをした後、自動的に糸を切るように設定できます。（案内窓に ✂ が表示されます。）

薄い布や伸縮性のある布に直線ぬいをする（直線用交換針板の使い方）

薄い布や伸縮性のある布に直線ぬいをするときに直線用交換針板を使うと、布が針板の穴に沈み込みにくく、よりきれいに仕上げることができます。

実用ぬい模様	押え	針板
	 ジグザグ押え（H）	 直線用交換針板
	 直線押え	 直線用交換針板は、針が入る穴が 2 つの丸い穴になっています。

*1 実用ぬい模様 7、8 はおもに伸縮強化ぬいに使用します。詳しくは、45 ページの「デニムなど丈夫な布地をぬい合わせる（伸縮強化ぬい）」を参照してください。

*2 実用ぬい模様 9、10、11 はおもにキルトステッチに使用します。詳しくは、46 ページの「手ぬいのようなキルトぬいをする（手ぬい風キルトステッチ）」を参照してください。

お知らせ

- 直線用交換針板が取り付けられているときは、使用できる模様のみ選択できます。
  - 使用できない模様は、実用ぬい模様選択画面でグレーで表示されます。
  - 使用できない模様を選択すると、ピピピッと鳴ってお知らせします。（操作音が鳴らないように設定した場合は鳴りません。詳しくは 14 ページの「設定ボタン」を参照してください）
  - 使用できない模様を選択した状態で直線用交換針板を取り付けると、案内窓の表示が実用ぬい模様選択画面に切り替わります。
- 直線用交換針板が取り付けられているときは、針位置の変更はできません。

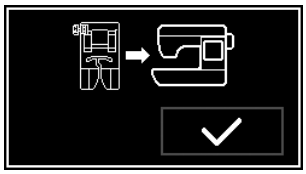
注意：ケガ防止のために；

ぬい始める前に、選択した模様に対して正しい押えが取り付けられているか必ず確認してください。押えが間違っていると針が押えにあたって折れ、ケガをするおそれがあります。

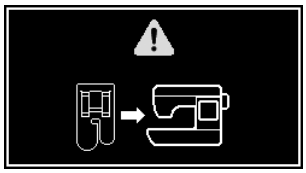
お願い

模様を選択し直すと、押えを確認するようメッセージが表示される場合があります。

- 中基線の直線ぬい 2、4、8、10、11 から左基線の直線ぬい 1、3、7、9 に変更したとき
  以下のメッセージが表示されます。ジグザグ押えが取り付けられていることを確認してください。
  確認後、メッセージ右下の「✓」をタッチするとメッセージが消えます。



- 左基線の直線ぬい 1、3、7、9 から中基線の直線ぬい 2、4、8、10、11 に変更したとき
  以下のメッセージが表示されます。直線押えが取り付けられていることを確認してください。



◆標準交換針板の取り外し方

❶ 針上下ボタンを押すか、ハズミ車を手前に回して、針を上に上げます。
ハズミ車のマークが上にきます。

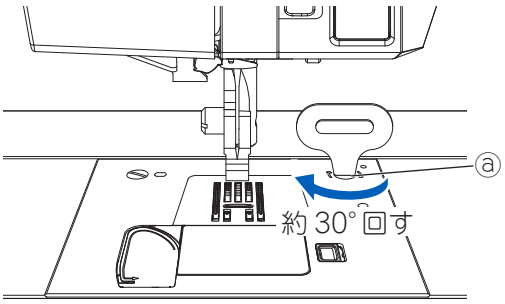
❷ 電源スイッチを切ります。

❸ 押え上げレバーを上げ、押えを取り外します。
押えの取り外し方については、「押えの取りかえ方」（26 ページ）を参照してください。

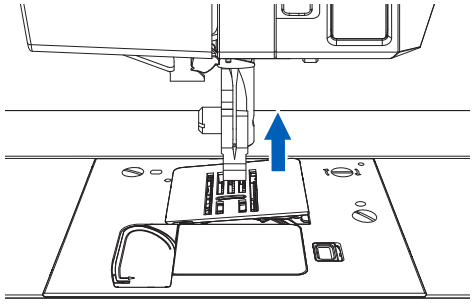
❹ 付属の針板用ドライバーを使って、交換針板ストッパーレバーを回転が止まるところまで（約 30°）時計回りに回します。

お願い

交換針板ストッパーレバーⓐを強く回しすぎないでください。破損する恐れがあります。



❺ 浮き上がった標準交換針板の右側を持ち上げて、取り外します。



お願い

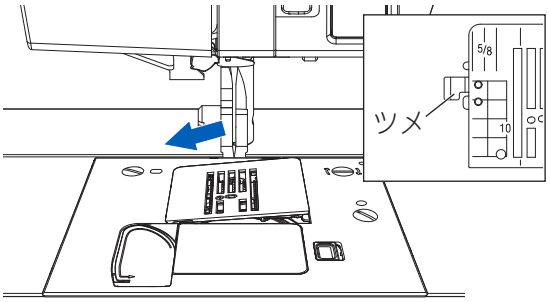
標準交換針板が送り歯に強くあたらないように注意してください。送り歯が欠けたりつぶれたりする恐れがあります。

メモ

直線用交換針板を取り外す場合も、同じ要領で行ってください。

◆直線用交換針板の取り付け方

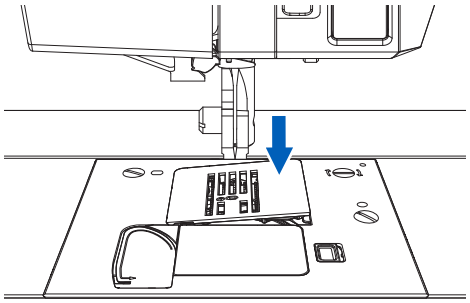
❶ 直線用交換針板の左側にあるツメを針板に差し込みます。



お願い

直線用交換針板が送り歯に強くあたらないように注意してください。送り歯が欠けたりつぶれたりする恐れがあります。

❷ 浮き上がっている直線用交換針板の右側を下に押し、はめ込みます。



お知らせ

カチッという音がするまでしっかり押してください。

お願い

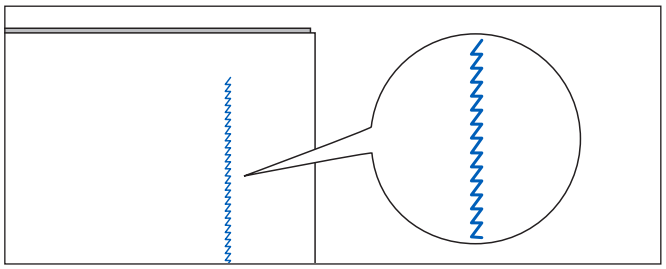
押えを取り付けたあと、電源を入れ、模様を選んでから、ハズミ車をゆっくり手前に回して、針が押えと直線用交換針板にあたらないことを確認してからぬい始めてください。

メモ

標準交換針板を取り付ける場合も、同じ要領で行ってください。

伸縮性のある布地をぬう（伸縮ぬい）

伸縮性のある直線に近いぬい目でぬいます。布を伸ばしてもぬい糸が切れません。



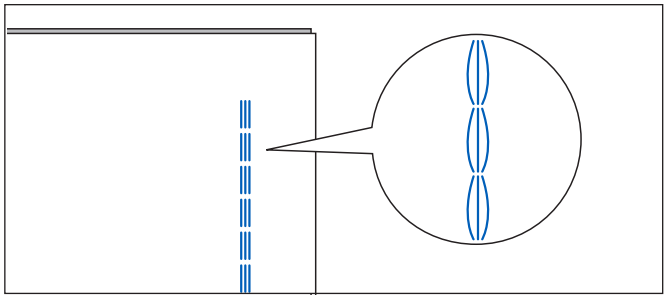
実用ぬい模様	押え
5 6	ジグザグ押え（H）

お知らせ

伸縮性布地をぬう場合は、ニット針を使うと、目飛びや糸切れを防げます。

デニムなど丈夫な布地をぬい合わせる（伸縮強化ぬい）

直線とジグザグの３重ぬいです。丈夫で伸縮性のあるぬい目なので、力がかかってほつれやすい部分やデニムなどの丈夫な布地のぬい合わせに最適です。



実用ぬい模様	押え
7 15	ジグザグ押え（H）
8	ジグザグ押え（H） 直線押え

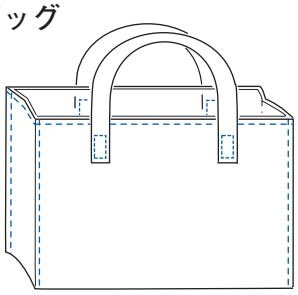
お知らせ

実用ぬい模様 7、8 を使用する場合に、直線用交換針板を使うと、布が針板の穴に沈み込みにくく、よりきれいに仕上げることができます。このとき、実用ぬい模様 8 は直線押えを使用するとより効果的です。
使い方については、43 ページの「薄い布や伸縮性のある布に直線ぬいをする（直線用交換針板の使い方）」を参照してください。

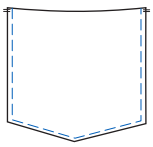
注意：ケガ防止のために；

実用ぬい模様 8 で直線押えを使うときは、針位置を自動設定値から変えないでください。針が押えにあたり危険です。

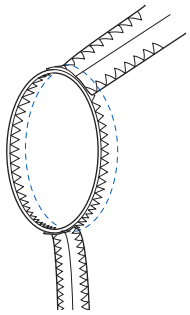
●バッグ



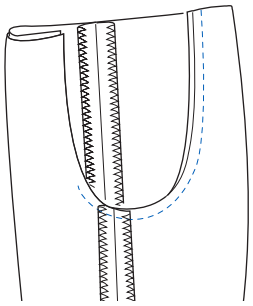
●ポケット



●そで付け



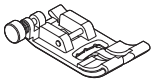
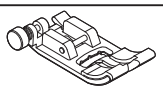
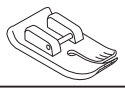
●ズボンの股ぐり



手ぬいのようなキルトぬいをする（手ぬい風キルトステッチ）

手でぬったような風合いのキルトぬいができます。
上糸に透明なナイロン糸や、目立たない糸を使い、下糸にキルト布地に合う配色の糸を使います。
糸調子を強くして（34 ページ参照）、下糸が布の表側に出るようにすると、手でぬったような風合いのキルトぬいができます。



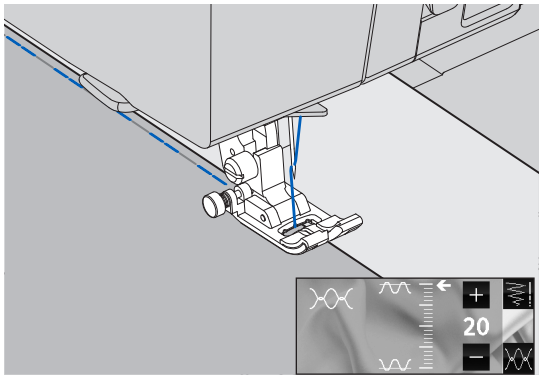
実用ぬい模様	押え
9	 ジグザグ押え（H）
10 11	 ジグザグ押え（H）  直線押え

お知らせ

- 糸調子を強くするぬいなので、普通地、厚地の布にだけお使いください。
- 実用ぬい模様 10、11 を使用する場合に、直線用交換針板と直線押えを使うと、布が針板の穴に沈み込みにくく、よりきれいに仕上げることができます。使い方については、43 ページの「薄い布や伸縮性のある布に直線ぬいをする（直線用交換針板の使い方）」を参照してください。

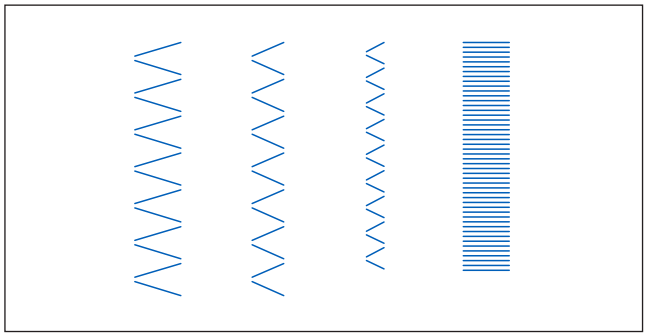
注意：ケガ防止のために；

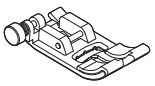
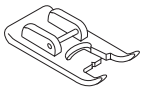
実用ぬい模様 10、11 で直線押えを使うときは、針位置を自動設定値から変えないでください。針が押えにあたり危険です。



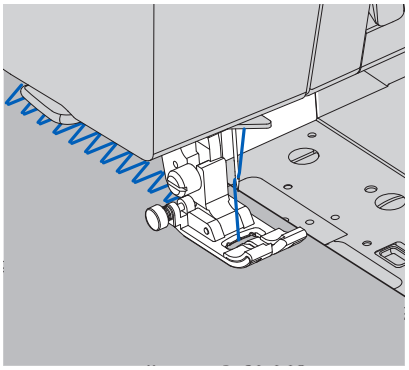
布地をはぎ合わせる（ジグザグぬい）

ぬい目長さ、ふり幅を調整していろいろな形のジグザグぬいができます。

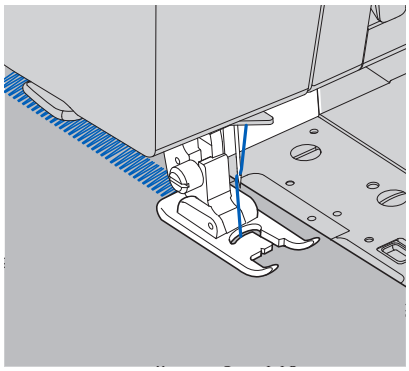


実用ぬい模様	押え
12	 ジグザグ押え（H）
13	 サテン押え（B）

布地のはぎ合わせやふちかがりなどのほか、飾りぬいにも広く用いられます。
ふちかがりぬいについては、48 ページを参照ください。

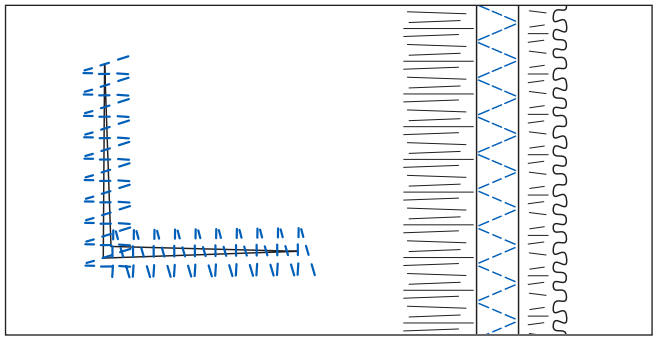


密着ぬい（13）をぬう場合には、サテン押えをお使いください。



やぶれた布地をつくろう（点線ジグザグぬい）

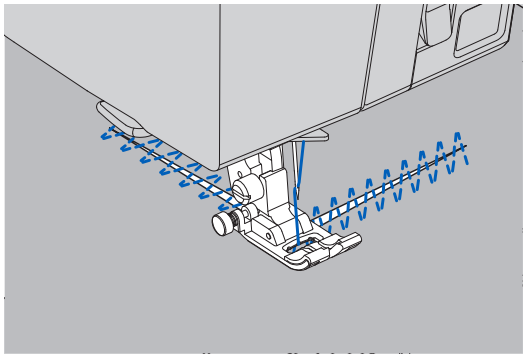
やぶれた布地のつくろいぬいや、ゴムひものぬい付けなどができます。



実用ぬい模様	押え
14	ジグザグ押え（H）

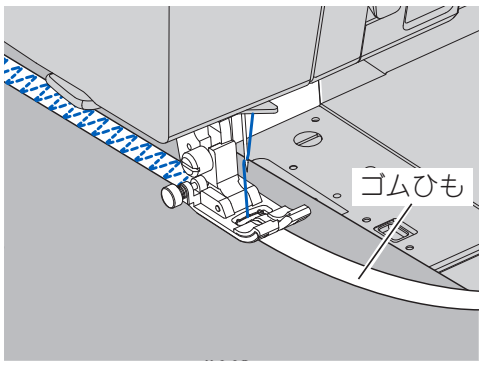
● つくろいぬい

ぬい目の長さを細かくしてぬいます。



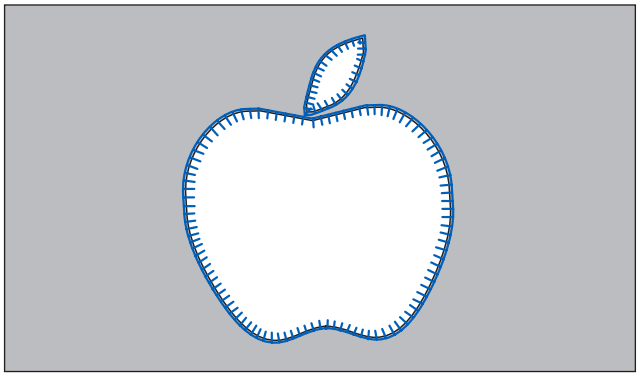
● ゴムひも付け

ゴムひもを前後に伸ばしながらぬい付けます。



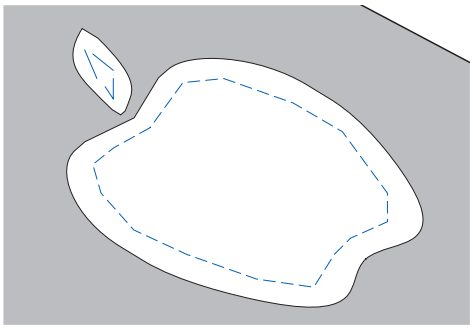
アップリケをぬい付ける

市販や自作のアップリケ布を丈夫にぬい付けます。



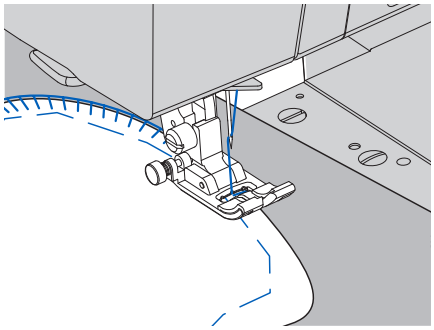
実用ぬい模様	押え
12 30	ジグザグ押え（H）

❶ アップリケ布を止めます。



のりづけまたはしつけをします。

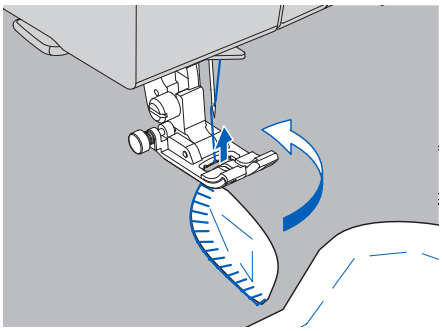
❷ アップリケの布端をたち目かがりと同じ要領でぬい付けます。



カーブの強いものは、ふり幅を小さくします。

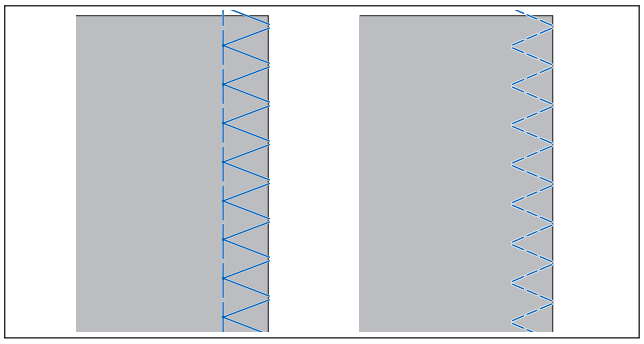
● 急な角度をぬう場合

布端に針を落とした状態で押えを上げ、布地を回します。



布地のたち目をかがる（ふちかがりぬい／たち目かがりぬい）

あらゆる布地のたち目のほつれを防ぎます。



◆模様と押えの使い分け

模様と押えは目的に応じて使い分けてください。

Ⓐジグザグぬいでほつれ止めをしたい
Ⓑかがりぬいと地ぬいを同時にしたい
Ⓒ普通地のほつれ止めをしたい

↓

ジグザグ押えを使用する場合：
針が布端ぎりぎりに落ちるようにしてぬいます。

ふちかがり押えを使用する場合：
布端を押えのガイドにあて、針が布端いっぱいに落ちるようにしてぬいます。

実用ぬい模様		押え
12 17 18	ふり幅：最小値 - 最大値	ジグザグ押え（H）
19 20 21	ふり幅：自動設定値 以上	ふちかがり押え（C）

注意：ケガ防止のために；

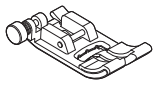
針が押えにあたると危険です。ふちかがり押えを使用するときは、以下のことを守ってください。

- 必ずふり幅を自動設定値以上にしてお使いください。また、ぬう前には必ずハズミ車をゆっくり手前に回して、針が押えにあたらないことを確認してください。
- 反転／伸長の設定は変更しないでください。

Ⓓ厚地や伸縮性のある布地のほつれ止めをしたい
Ⓔ小さい幅のジグザグでほつれ止めをしたい

↓

針が布端ぎりぎりに落ちるようにしてぬいます。

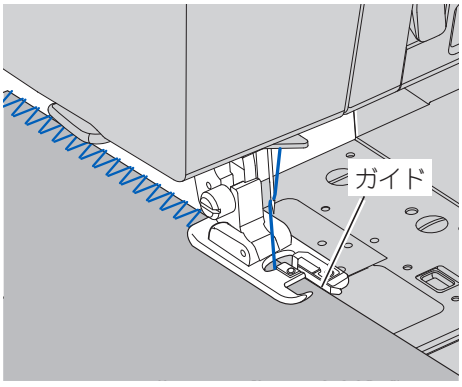
実用ぬい模様	押え
14 22 12 小さい幅のジグザグ	 ジグザグ押え（H）

◆ぬい方

Ⓐジグザグぬいでほつれ止めをする

12 ふり幅：自動設定値以上

たち目のほつれ止めとして、広く利用できます。



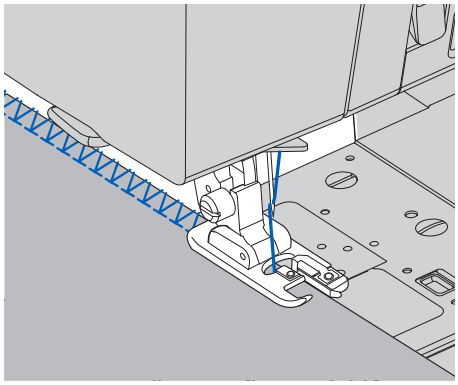
お知らせ

ふり幅を自動設定値未満に設定してぬう場合は、ジグザグ押えを使用してください。ふちかがり押えを使うと、針が押えにあたり、危険です。

Ⓑかがりぬいと地ぬいを同時に行う

17 18 19 21 ふり幅：自動設定値以上

かがりぬいと地ぬいが同時にできるぬいです。

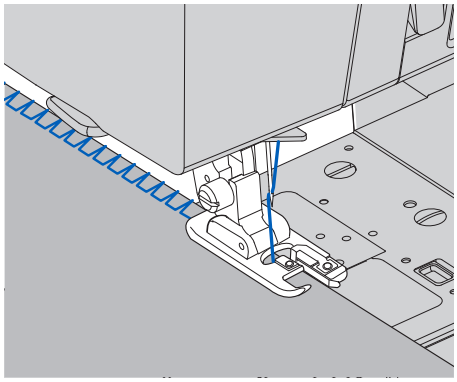


お知らせ

- タオル地や目の粗いニット地などをぬうときは、ジグザグ押えをお使いください。押えのツメが布にからむことがあります。
- ふり幅を自動設定値未満に設定してぬう場合は、ジグザグ押えを使用してください。ふちかがり押えを使うと、針が押えにあたり、危険です。

Ⓒ普通地のほつれ止めをする

17 18 19 20 21 ふり幅：自動設定値以上

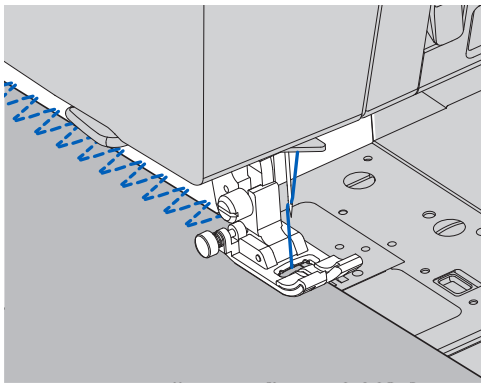


お知らせ

ふり幅を自動設定値未満に設定してぬう場合は、ジグザグ押えを使用してください。ふちかがり押えを使うと、針が押えにあたり、危険です。

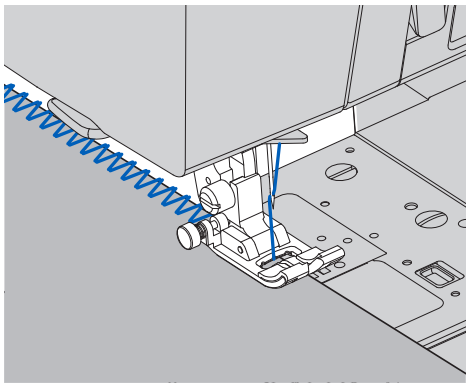
Ⓓ厚地、伸縮性のある布のほつれ止めをする

14 22

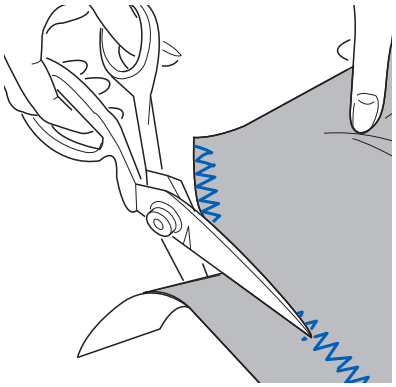


Ⓔ小さい幅のジグザグでかがる

12 小さい幅のジグザグ

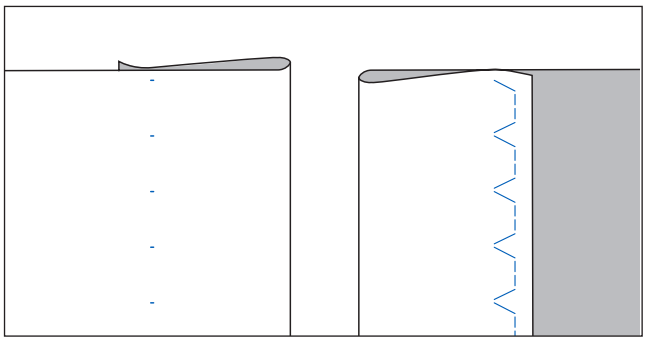


あらかじめ布地の内側をぬい、あとからぬい端を切り落とす方法もあります。この場合、ぬい糸を切らないように注意してください。



すそ上げをする（まつりぬい／ブラインドステッチ）

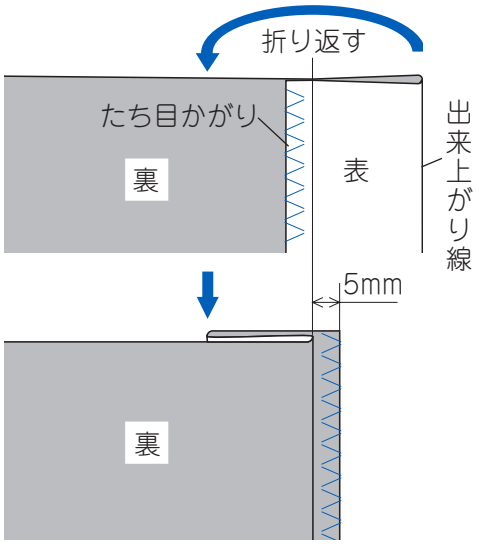
布地の表面にぬい目を目立たせずに、ズボンやスカートのすその仕上げなどをします。



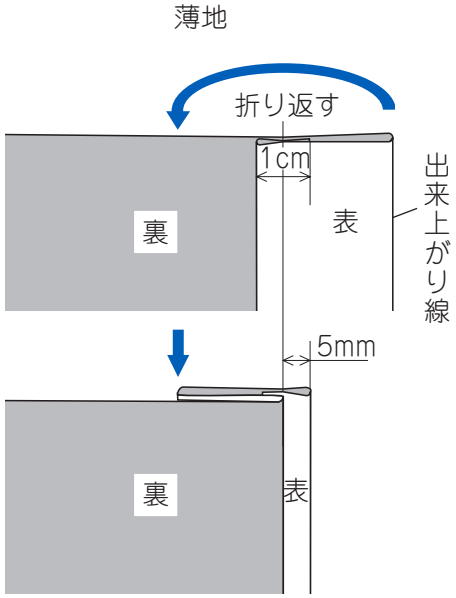
実用ぬい模様	押え
24 25	まつりぬい（ブラインド）押え（D）

❶ 布を出来上がり線で折り、図のように布端が5mm 出るように折り返します。

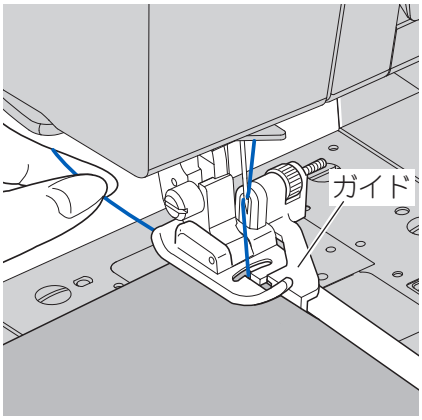
普通地・厚地



薄地の場合、布端をあらかじめ 1cm 中に折り込んでから、5mm 出るように折り返します。
ぬい上がり後の布地の裏・表を間違えないように注意してください。

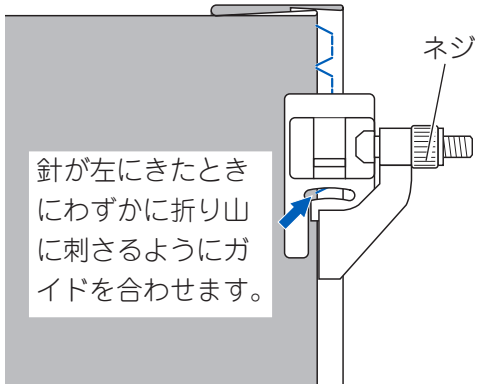


❷ 折り山を押えのガイドにあてます。

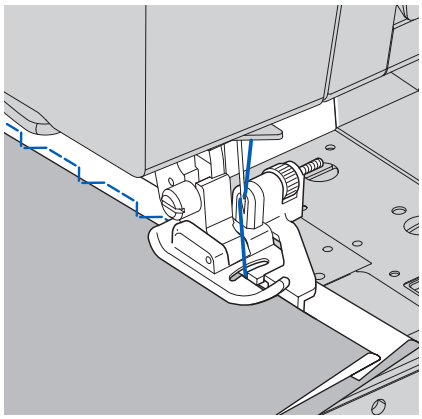


❸ 針が最も左側にきたときに折り山にわずかに刺さるようにガイドの位置を調節します。
ネジを手前に回すとガイドは右に、向こう側に回すとガイドは左に移動します。

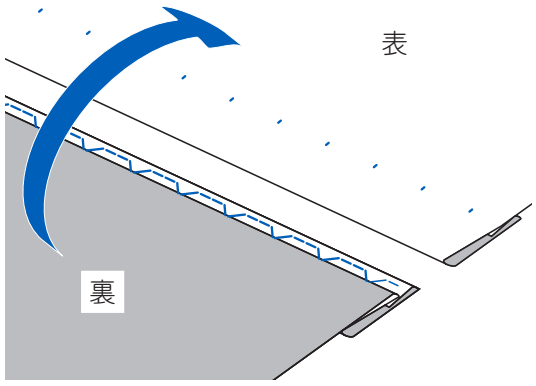
メモ
針上位置で模様を選ぶと、針は最も左側にくるようになっています。



❹ 折り山をガイドにあてながらぬいます。

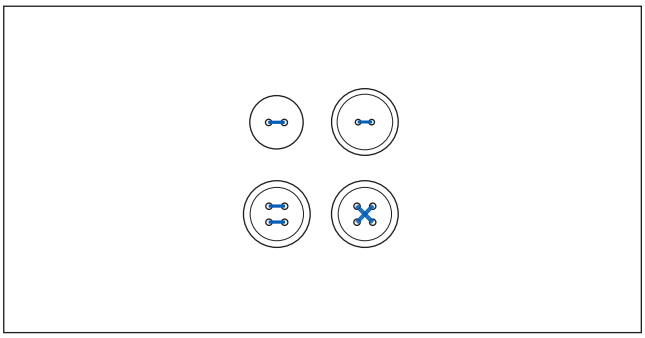


❺ ぬい終わったら、布を返します。



ボタンをぬい付ける

2 つ穴、4 つ穴のボタンをぬい付けることができます。

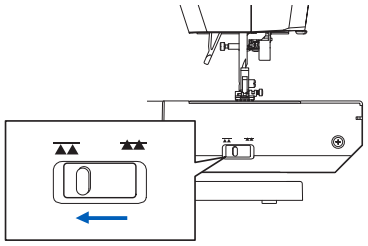


実用ぬい模様	押え
49	ボタン付け押え（別売り品）

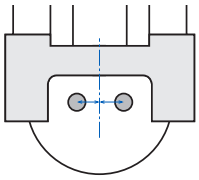
メモ

お求めは、ミシンお買い上げの販売店にご相談ください。

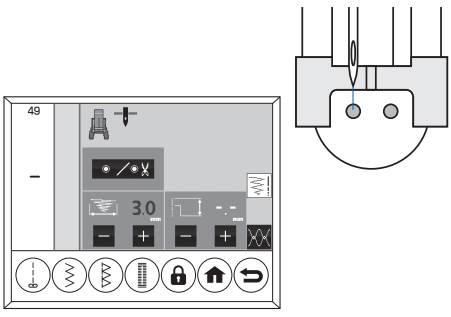
❶ ドロップフィードレバーを左にして、送り歯を下げます。



❷ ボタンの２つの穴の中心線が押えの中心線に合うように置き、押えを下げます。

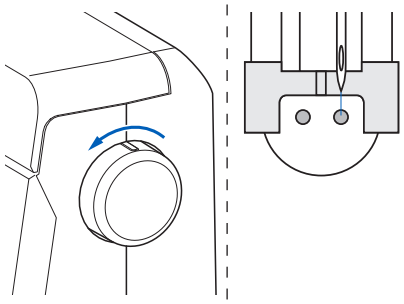


❸ 針が左の穴の中央に入るよう、ふり幅を調節します。



❹ ハズミ車を手前に回して、針が右の穴に入るか確認します。

入らない場合は、ふり幅をもう一度調節してください。

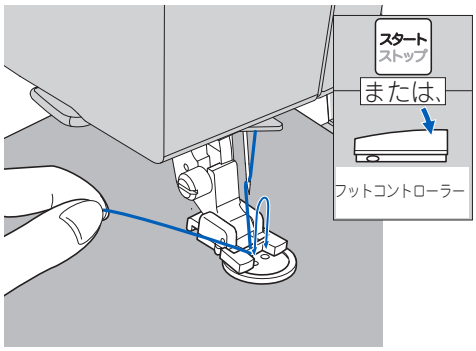


⚠ **注意：ケガ防止のために；**

ぬうときは、針がボタンにあたらないよう注意してください。針が折れたり曲がったりする危険があります。

❺ スピードをゆっくりにして、スタートさせます。ぬい終わると自動的に止まります。

ぬい始めは、上糸を軽く持ちます。

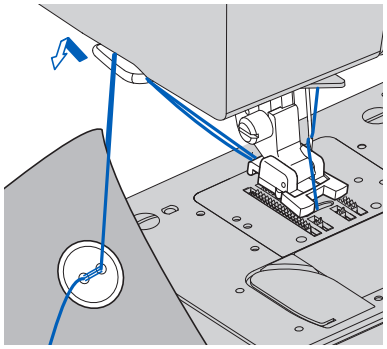


❻ 針を上げます。

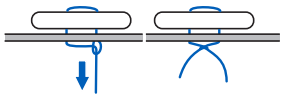
❼ 押えを上げます。

❽ 布を取り出し、糸を 10 cm ほど引き出して、ミシン左側の面板糸切りで糸を切ります。

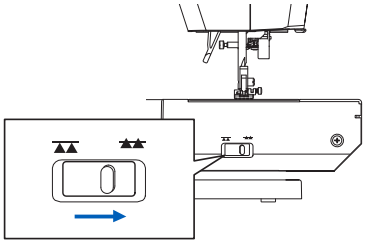
手順９で糸端の始末をするため、自動糸切りは使いません。



❾ ぬい終わりの下糸を引いて上糸を布の裏側に出し、上糸と下糸を結びます。



❿ ぬい終わったらドロップフィードレバーを右に戻しておきます。



メモ

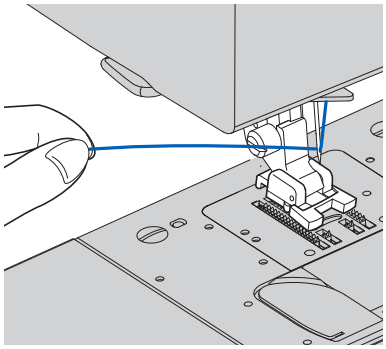
4 つ穴のボタンをぬい付けるときは、最初の 2 つ穴と後の 2 つ穴を、ぬい目を平行にしたり、交差させたりしてぬい付けます。
最初の 2 つ穴を、2 つ穴のボタンと同じ要領でぬいます。
その後、押えをわずかに上げて布地を動かし、残りの 2 つ穴をぬい付けます。



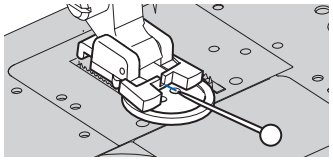
● ボタンに糸足を付ける（根巻き付きボタン付け）

コートやジャケットのボタンに糸足を付けるときは、布地とボタンの間にスキマが空くようにしてぬい、手で糸を巻き付けます。

❶ 上糸を長めに引いておきます。

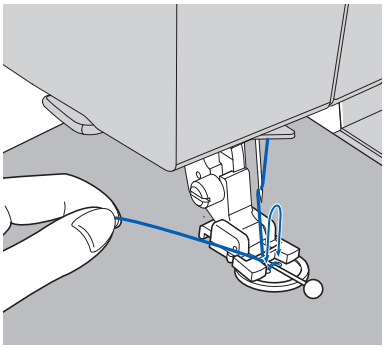


❷ まち針を押えの中心の穴に刺します。

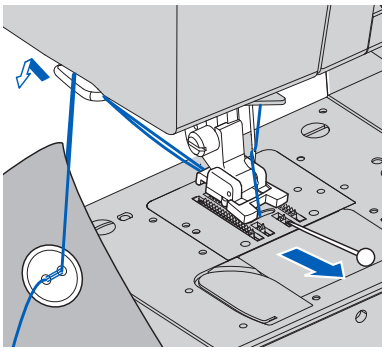


❸ 52 ページの「ボタンをぬい付ける」の要領でボタンをぬい付けます。

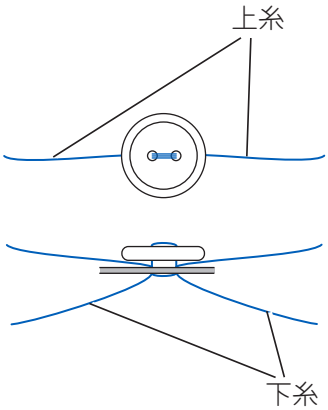
まち針の上からぬいます。



❹ まち針を抜き、上糸を長めに残して切ります。

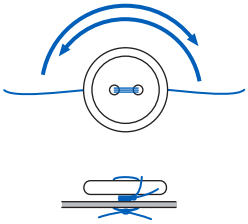


❺ ぬい始めと終わりの上糸をボタンと布の間に引き出します。



❻ 両端の上糸をボタン足に反対方向に巻き付けて結びます。

下糸の両端は、布の裏側で結びます。



ボタンホールを作る

11 種類のボタンホールをぬうことができます。布地や用途によって使い分けます。
また、ボタンホールのぬい目のふり幅、長さ、ボタン穴の幅を調整することができます。詳しくは、57 ページの「ボタンホールの調整」を参照してください。

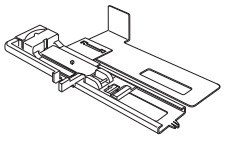
メモ

玉ぶちボタンホールのぬい方は、58 ページを参照してください。

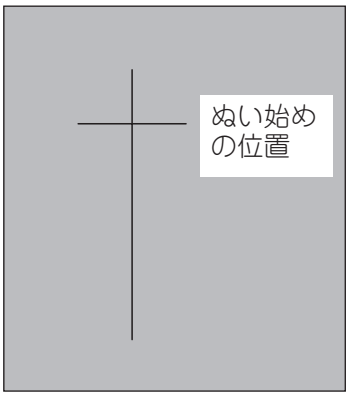
お知らせ

- ボタンホール押えとアンダープレートは、補助テーブルの後ろ側に収納してあります。
- 直径 25.0 mm までのボタンのボタンホールをぬうことができます。
- 薄い布、伸縮性のある布には、下に紙をしいてぬってください。
- 必ず実際にぬう布地と同じ布地で試しぬいをして、仕上がりを確認してください。
- ぬい目が詰まってうまくぬえないときは、ぬい目の長さを粗くするなど調整してください。(32 ページ参照)
- 薄地や送りにくい布、布端などのぬいにくい部分にボタンホールをぬうときは、アンダープレートを使用してください。詳細は57 ページの「アンダープレートの使い方」を参照してください。

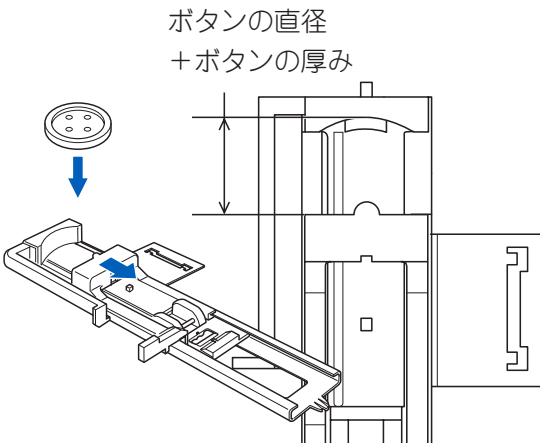
使用例は参考です。

実用ぬい模様	押え
50 薄地～普通地 使用例：シャツ、ブラウスなど	 ボタンホール押え(F)
51 52 53 普通地～厚地 使用例：ジャケット、コートなど	
54 55 56 57 薄地～厚地 使用例：シャツ、ブラウスなど	
58 59 使用例：開き見せなどの飾りボタンホール	

❶ 布地のボタンホールをぬう位置に印を付けます。



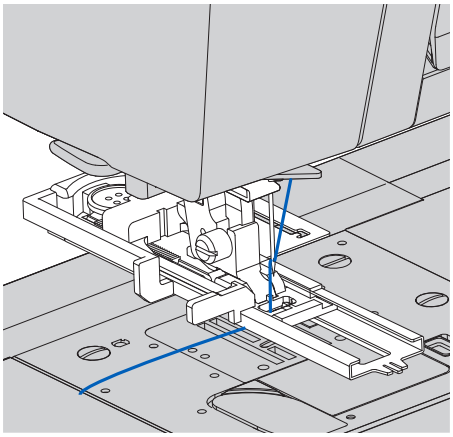
❷ ボタンを押えの台にセットします。



● 台にボタンがのらないとき

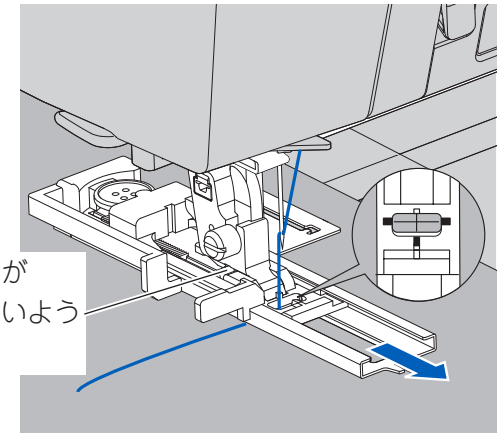
台の幅が「ボタンの直径＋ボタンの厚み」になるようにスライドさせます。

❸ 上糸を押えの穴に通し、左側に出しておきます。



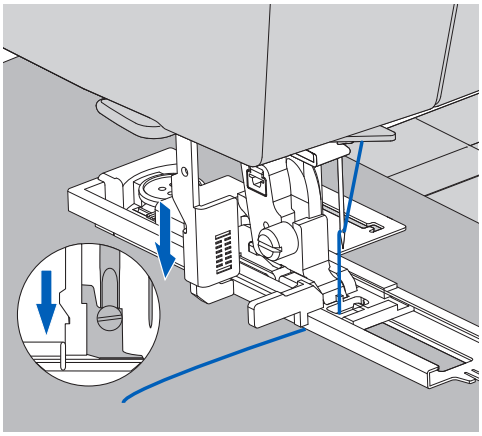
下糸を引き上げているときは、下糸も左側に出しておきます。

❹ 布の印が押えの印に合うように布地を入れ、押えを下げます。



押えの枠と押えの間にスキマができないよう、枠を一番手前に引いてください。

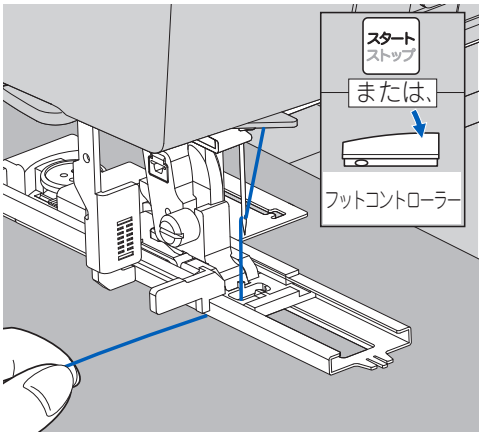
❺ ボタンホールレバーをいっぱいに下げます。



お知らせ

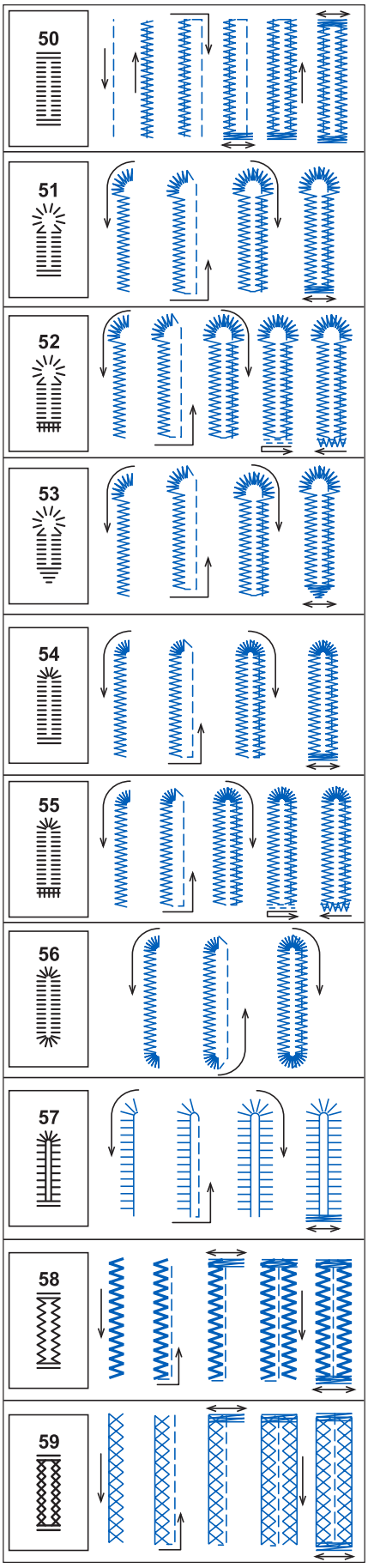
ボタンホールレバーをきちんと下げないと、お知らせランプが赤く点灯し、２～３針ぬって止まります。

❻ 上糸を軽く持ちながら、スタートさせます。

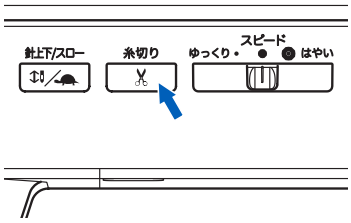


❼ 図の順序でボタンホールがぬわれていきます。

ぬい終わると自動的に止めぬいをして止まります。

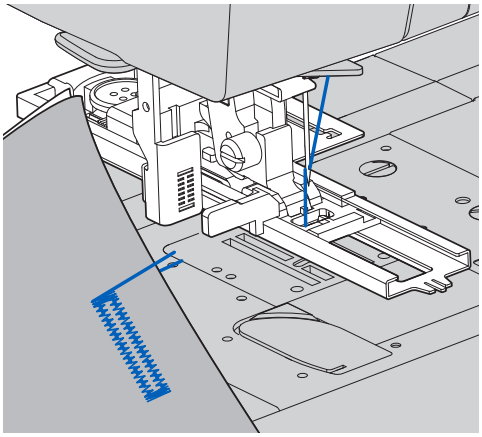


⑧ 糸切りボタンを押します。



> **お知らせ**
> あらかじめ止めぬい／糸切りボタンをタッチしておくと、ぬい終わりに止めぬいをした後、自動的に糸を切るように設定できます。（案内窓に ✂ が表示されます。）

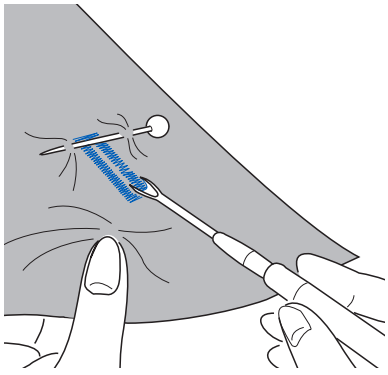
⑨ 押えを上げて、布を外します。



ボタンホールをもう一度ぬうには、押えを上げて押えの枠を一番手前に戻してください。

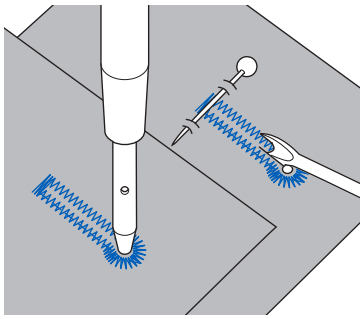
⑩ シームリッパーでボタン穴を切り開きます。

> **⚠ 注意：ケガ防止のために；**
> シームリッパーで穴を開くとき、リッパーの先端に手や指を置かないでください。すべったときケガをする恐れがあります。



ぬい糸を切らないように注意してください。
かん止めのところにまち針を刺しておくと、切り過ぎがありません。

> **お知らせ**
> - 模様 51 - 53 のキーホールには、はと目穴パンチ（市販品）で穴を開けてからシームリッパーで切り開くときれいに仕上がります。



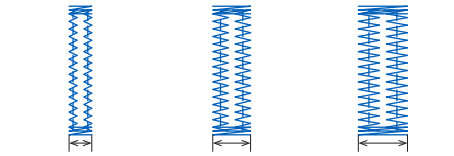
> - 模様 58、59 は、中央の糸（渡り糸）を切って取り除きます。
> - 穴を開けるときは、下に厚紙などをしいてください。

◆ボタンホールの調整

ぬい目のふり幅と長さの調整方法の詳細については、31 ページの「ぬい目のふり幅／長さ」を参照してください。また、模様によって調整の設定値は異なります。105 ページの「模様一覧」を参照してください。

● ぬい目のふり幅の調整

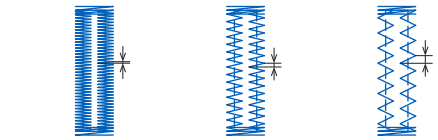
ぬい目のふり幅を調整することで、ボタンホール全体の幅を変更できます。



－ 狭くなる　　＋ 広くなる

● ぬい目の長さの調整

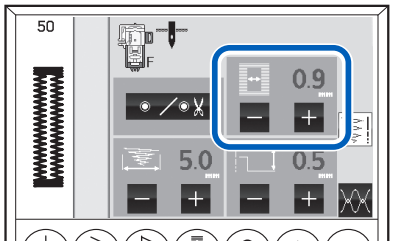
ぬい目の長さ（細かさ・粗さ）を調整します。
ぬい目が詰まってうまくぬえないときは、ぬい目の長さを粗くすると改善する場合があります。

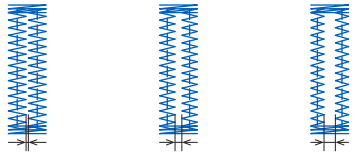


－ 細かくなる　　＋ 粗くなる

● ボタン穴の幅の調整

ボタン穴の幅を変更することができます。
＋－ボタンをタッチして変更します。
自動設定値は緑色で、変更後の値は白色で表示されます。





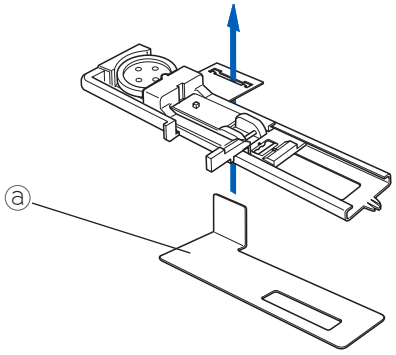
－ 狭くなる　　＋ 広くなる

> **お知らせ**
> - 最大値、最小値になるとピピピッと鳴ってお知らせします。（ブザー音が鳴らないように設定した場合は鳴りません。詳しくは 14 ページの「設定ボタン」を参照してください）
> - 模様によって最大値、最小値は異なります。

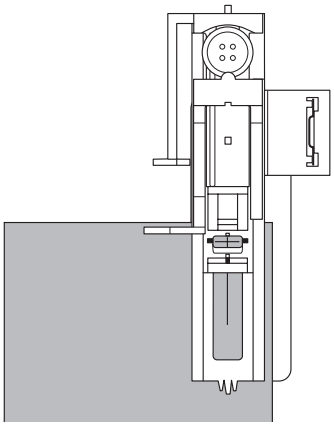
◆アンダープレートの使い方

アンダープレートを使うと、薄地や送りにくい布、布端などのぬいにくい部分にもスムーズにボタンホールをぬうことができます。

❶ アンダープレートを押えの下から差し込んだまま、押えホルダーに取り付けます。

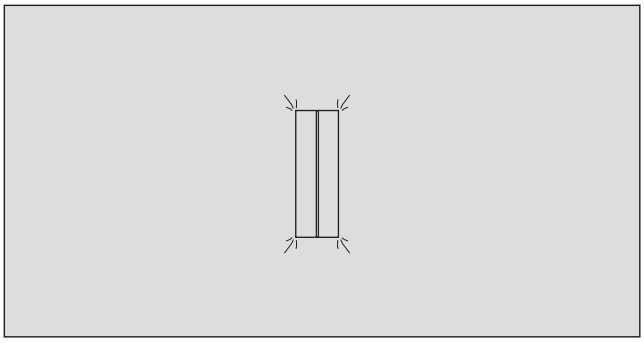


❷ 布を押えの枠とアンダープレートの間に入れてぬいます。



玉ぶちボタンホールを作る

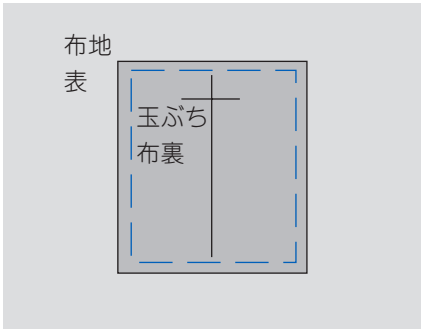
玉ぶち布をボタンホールの穴にぬい付けて、ボタンホールのふちを作る方法です。糸でふちをぬう一般的なボタンホールと違って、ぬい目がみえません。女性のドレスやスーツのボタンホールに使われます。



ふり幅調整で、幅を 4 段階に変えられます。

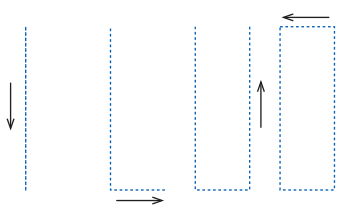
実用ぬい模様	押え
60	ボタンホール押え（F）

❶ ボタンホールの中心線に玉ぶちの布の中心線が合うようにしつけます。



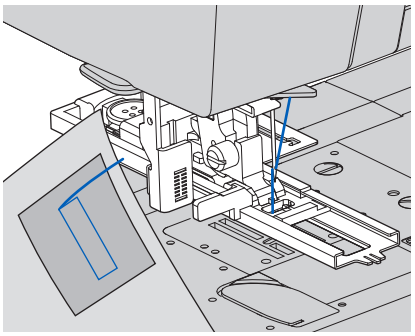
玉ぶち布の大きさは、ボタンホールの長さ +1cm 以上、幅 2.5cm 以上

❷ 他のボタンホール同様、ボタンホールレバーを下げてぬいます。（ぬい方は、54 ページ参照）



図の順序でぬわれていきます。

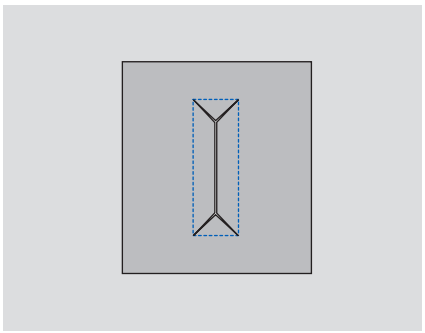
❸ 糸切りボタンを押します。押えを上げて、布を外します。



ボタンホールをもう一度ぬうには、押えを上げて押えの枠を一番手前に引いてください。

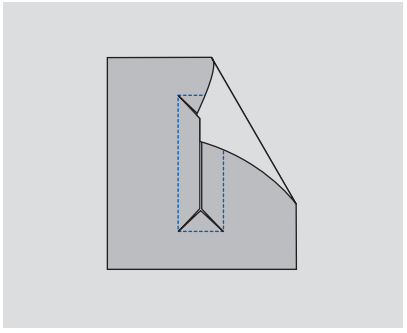
> お知らせ
> あらかじめ止めぬい／糸切りボタンを押しておくと、ぬい終わりに止めぬいをした後、自動的に糸を切るように設定できます。（案内窓に ✂ が表示されます。）

❹ ぬい目を切らないように注意して、Y 字形に切り込みを入れます。

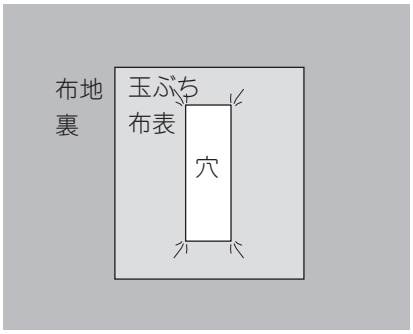


しつけをとります。

❺ 玉ぶち布を切り込みの穴から布地の裏側に出します。

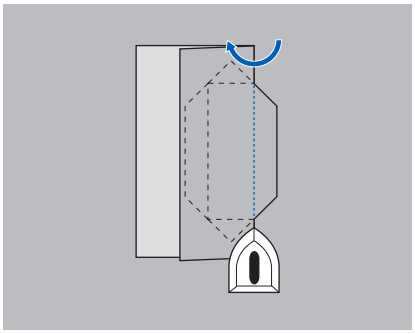


❻ 布地を裏返して、ボタンホールの穴が四角形になるよう、玉ぶち布を引いて整えます。

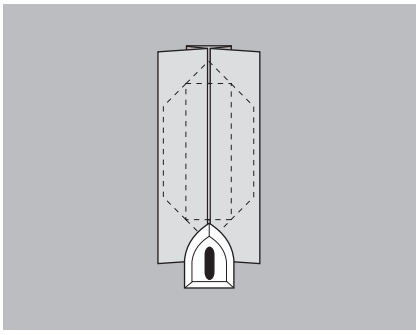


アイロンで角を仕上げます。

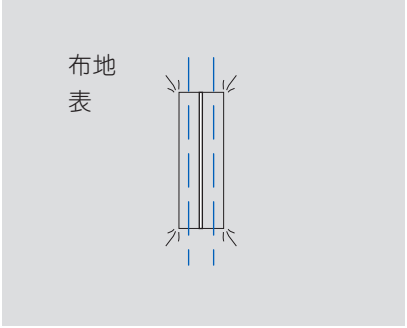
❼ 玉ぶち布を折り、布地と玉ぶち布の間のぬい代をアイロンできれいに折ります。



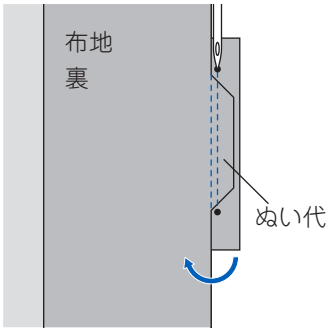
❽ ボタンホール穴の中心で両側の玉ぶち布の折り目が合うように折り、アイロンで整えます。



❾ 布地を表に返し、玉ぶち布の折りがずれないようにしつけをします。

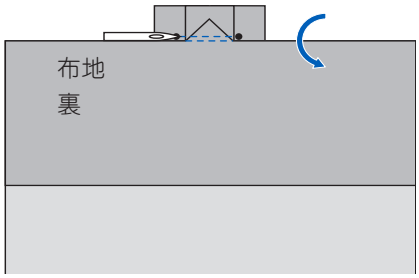


❿ 布地を折り、玉ぶち布とぬい代を最初のぬい目から少しぬい代側にずらして、ぬい合わせます。



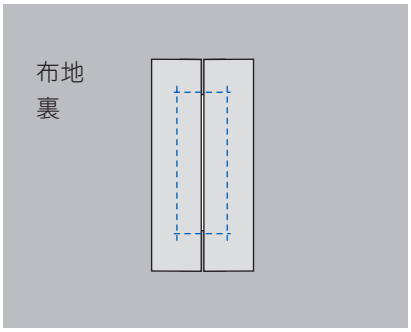
両側のぬい代をぬい、しつけをとります。

⓫ さらに別方向に布地を折り、玉ぶち布と三角形の部分をぬい合わせます。

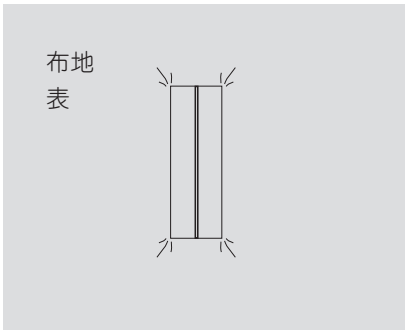


両側の三角形をぬいます。

⓬ **玉ぶち布が大きすぎるときは、ボタンホールより 1 cm くらい大きめにたち落とします。**

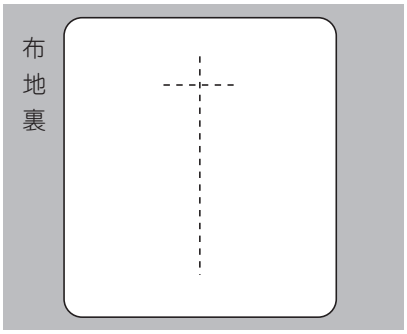


⓭ **できあがり。**



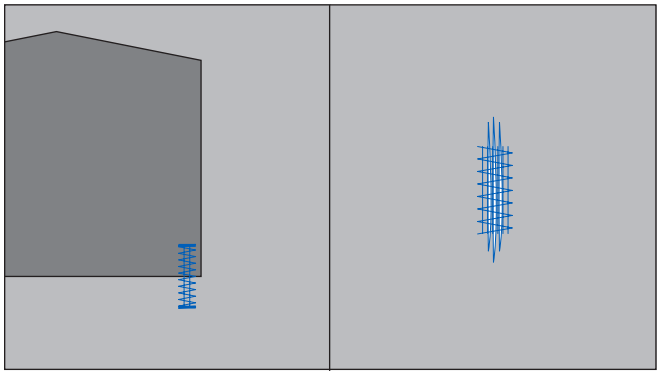
お知らせ

布地が弱い場合は、あらかじめ布地の裏のボタンホールをぬう位置にボタンホールの長さより 2 cm 長く、幅 3 cm くらいの接着芯をつけておきます。



ポケット口ややぶれた生地を補強する（かん止め／つくろいぬい）

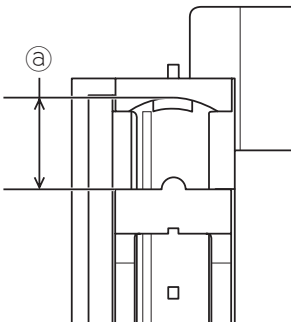
かん止めで、ポケット口やベルト通しなど力が加わりやすいところを補強します。
つくろいぬいで、やぶれたり、薄くなった布地を補強します。



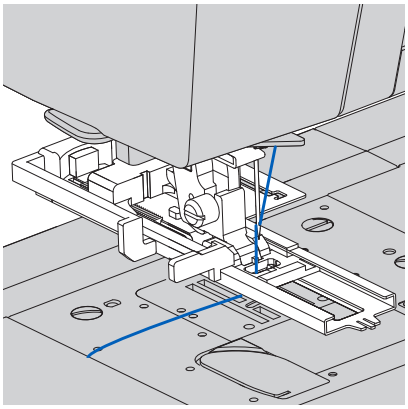
実用ぬい模様	押え
61 62	ボタンホール押え（F）

かん止め（実用ぬい模様 61）のぬい目のふり幅は 5 段階、長さは 8 段階で変更できます。つくろいぬい（実用ぬい模様 62）のふり幅、長さは変更できません。
調節のしかたについては、31 ページの「ぬい目のふり幅／長さ」を参照してください。
調節の設定値については、105 ページの「模様一覧」を参照してください。

❶ **ぬいたいかん止めやつくろいぬいの長さⓐの分だけ、押えの台をスライドさせます。**

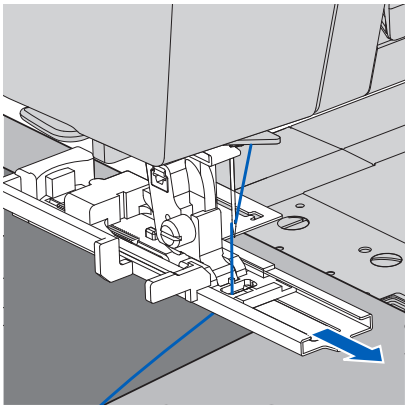


❷ **上糸を押えの穴に通し、左側に出しておきます。**



下糸を引き上げているときは、下糸も左側に出しておきます。

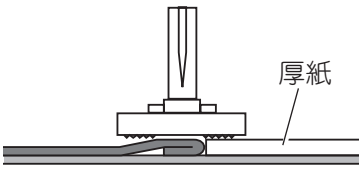
❸ **ぬい始めの位置が向こう側になるように、布を押えの下にセットして、押えを下げます。**



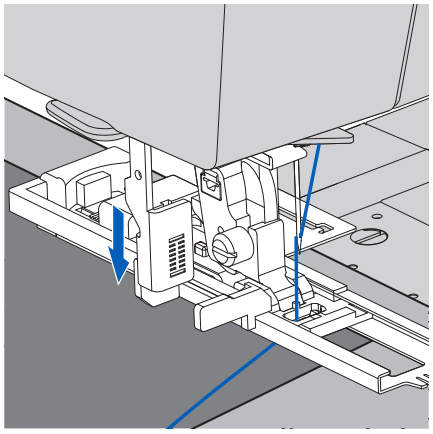
押えの枠と押えの間にスキマができないよう、枠を一番手前に引いてください。

メモ

厚い布のポケット口のかん止めをぬうには、厚紙をポケットの横にそえるとぬいやすくなります。



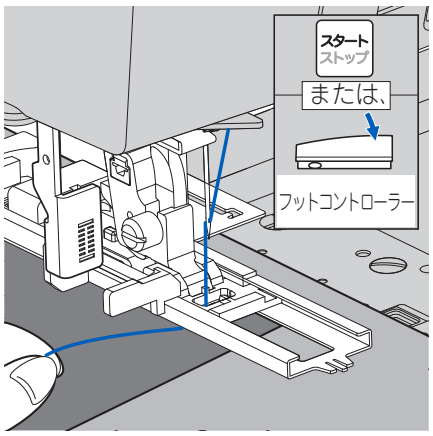
❹ **ボタンホールレバーをいっぱいに下げます。**



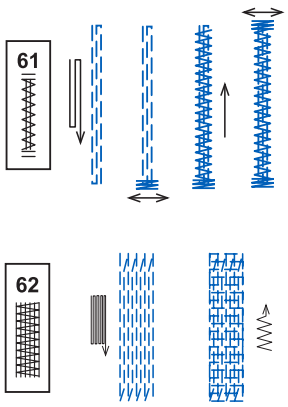
お知らせ

ボタンホールレバーをきちんと下げないと、お知らせランプが赤く点灯し、２～３針ぬって止まります。

❺ **上糸を軽く持ちながら、スタートさせます。**

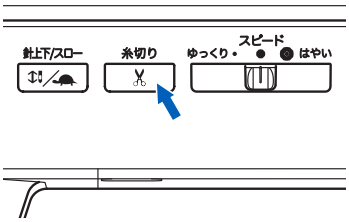


❻ **図の順序でかん止めやつくろいぬいがぬわれていきます。**



ぬい終わると自動的に止めぬいをして止まります。

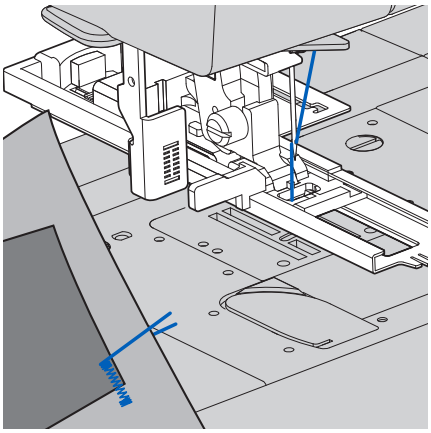
❼ 糸切りボタンを押します。



お知らせ

あらかじめ止めぬい／糸切りボタンをタッチしておくと、ぬい終わりに止めぬいをした後、自動的に糸を切るように設定できます。（案内窓に ✂ が表示されます。）

❽ 押えを上げて布を出します。



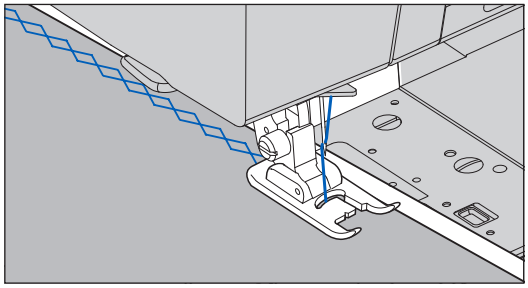
かん止めやつくろいぬいをもう一度ぬうには、押えを上げて押えの枠を一番手前に戻してください。

いろいろな装飾をぬう（実用ぬい模様を使った飾りぬい）

実用ぬい模様を使って装飾的な模様をぬうことができます。ストップするまで選択した模様を繰り返しぬいます。模様に適した押えが模様案内窓に表示されます。

お知らせ

飾り模様・文字ぬいでは、模様を組み合わせた装飾をぬうことができます。飾り模様･文字ぬいについては、69 ページの「第 4 章　飾り模様・文字ぬい」を参照してください。



お願い

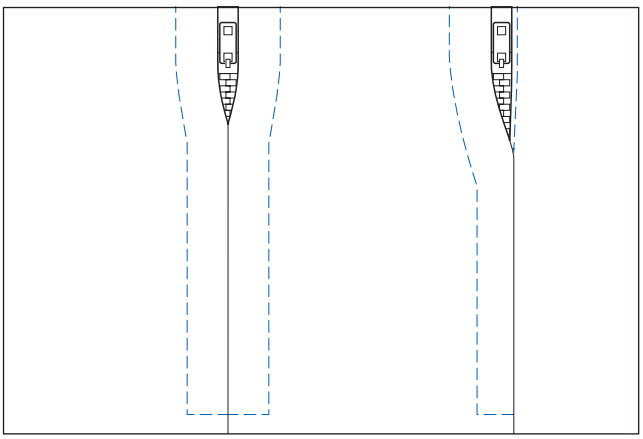
薄い布、伸縮性のある布には、下に紙をしいてぬってください。

実用ぬい模様	押え
16 23 27 28 – 46 47	ジグザグ押え（H） サテン押え（B）

各模様に適した押えが模様案内窓に表示されます。
反転ぬいや、伸長（２倍ぬい）で形を変えてぬうことができます。（33 ページ参照）

ファスナーを付ける（つき合わせ・脇あき）

ファスナーをぬい付けます。



実用ぬい模様	押え
2	ファスナー押え（E）

注意：ケガ防止のために；

ファスナー押えを使用するときは、必ず実用ぬい模様２（2）を選び、針位置は自動設定値から変えないでください。また、ぬう前には必ずハズミ車をゆっくり手前に回して、針が押えにあたらないことを確認してください。ほかの模様、針位置では、針が押えにあたり危険です。

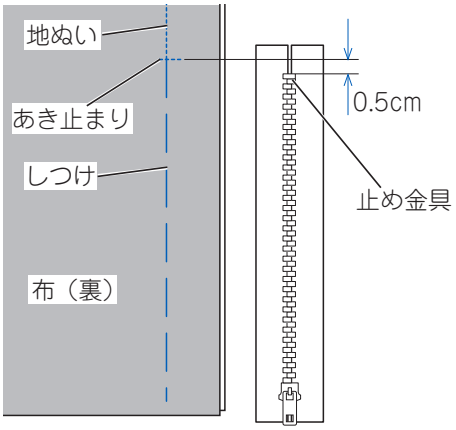
お知らせ

直線用交換針板を使うと、布が針板の穴に沈み込みにくく、よりきれいに仕上げることができます。使い方については、43 ページの「薄い布や伸縮性のある布に直線ぬいをする（直線用交換針板の使い方）」を参照してください。

◆つき合わせ

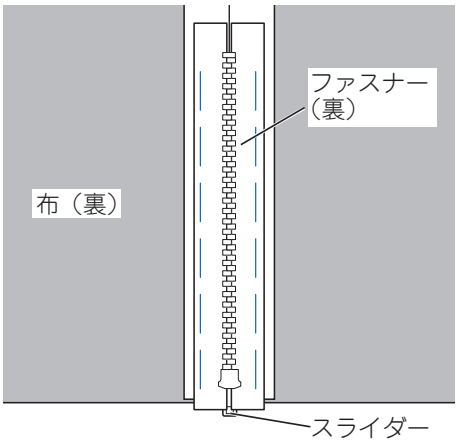
つき合わせた布地の両方に、ファスナーをぬい付けたぬい目が入るぬい方です。

❶ 中表にして、あき止まりまで地ぬいをします。



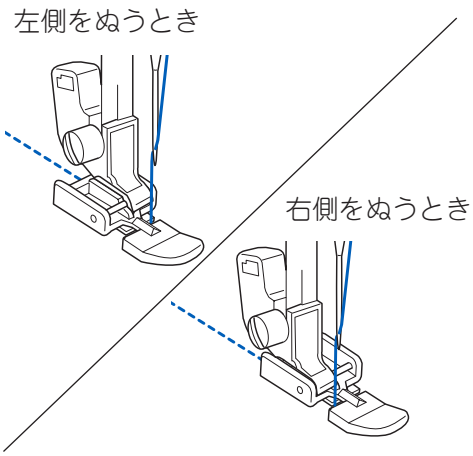
あき部分はしつけをします。

❷ ぬい代をわり、ファスナーをしつけます。



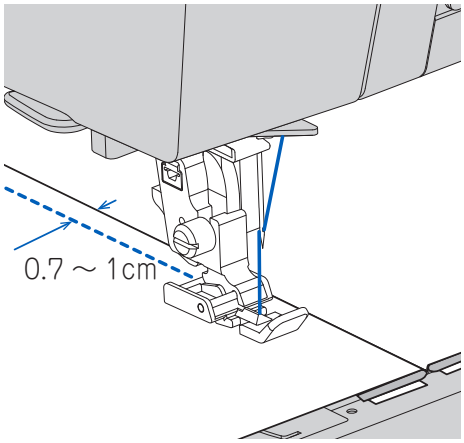
ぬい目線とファスナーの中心を合わせてとめます。スライダーは手前に倒します。

❸ ファスナー押えを取り付けます。



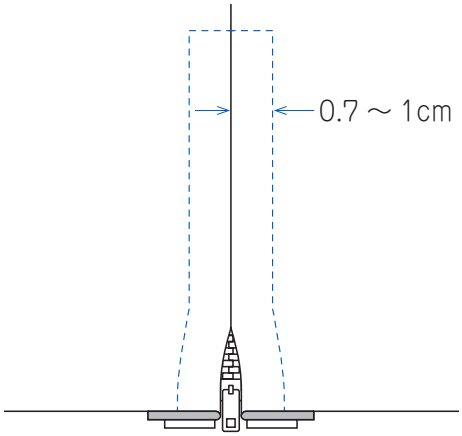
ファスナーの左側をぬうときは、押えの右側のミゾを押えホルダーに入れ、右側をぬうときは、左側のミゾをホルダーに入れます。

❹ ファスナーの左側をあき止まりからぬいます。



布の合わせ目から 0.7 ～ 1cm 離してぬいます。

❺ あき止まりと右側をぬい、しつけをとります。

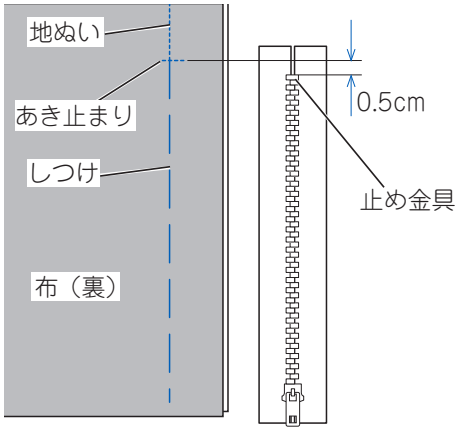


右側も同様に 0.7 ～ 1cm 離してぬいます。

◆脇あき

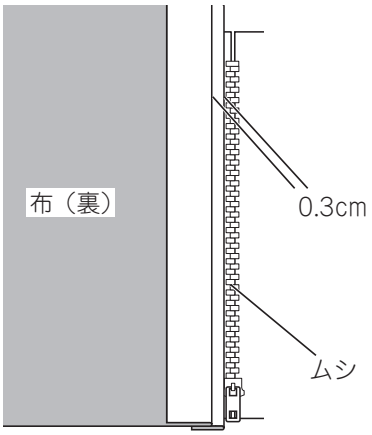
つき合わせた布地の一方だけに、ファスナーをぬい付けたぬい目が入るぬい方です。

❶ 中表にして、あき止まりまで地ぬいをします。

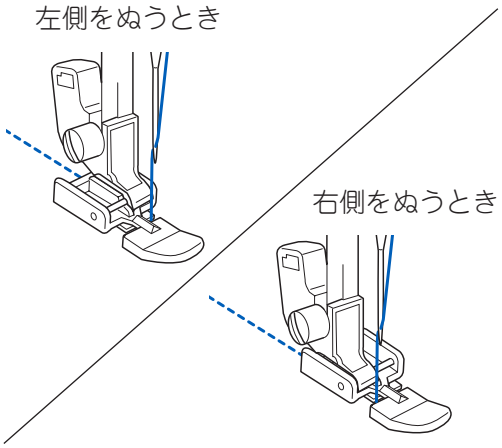


あき部分はしつけをします。

❷ ぬい代をわり、下の布のぬい代を 0.3cm 出して折り目を付け、折り山をムシに合わせます。

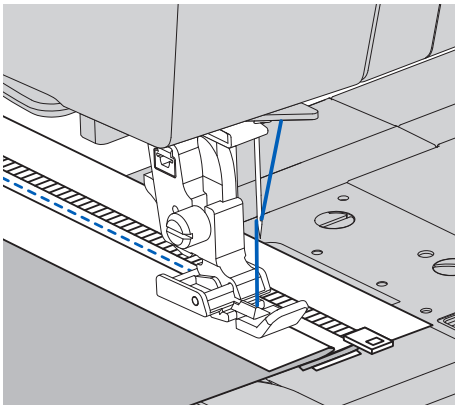


❸ ファスナー押えを取り付けます。



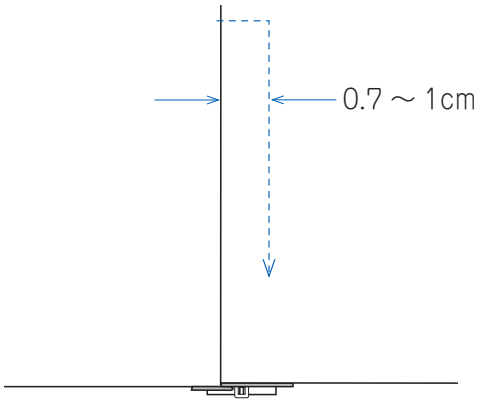
ファスナーの左側をぬうときは、押えの右側のミゾを押えホルダーに入れ、右側をぬうときは、左側のミゾをホルダーに入れます。

❹ ファスナーの左側をあき止まりからぬいます。



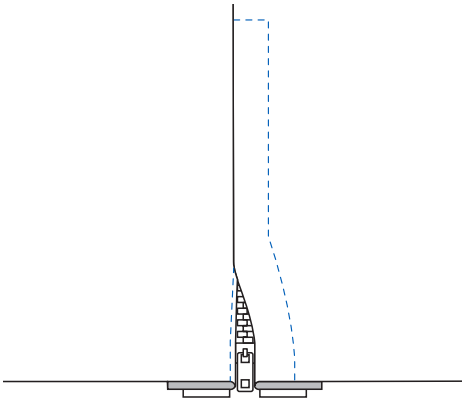
押えがファスナーのムシにのらないようにしてぬいます。

❺ 上の布を開き、あき止まりと右側をぬいます。



右側は、布の折り目から 0.7 ～ 1cm 離してぬいます。

❻ スライダーの手前で止め、しつけを取り、スライダーを下げて残りをぬいます。



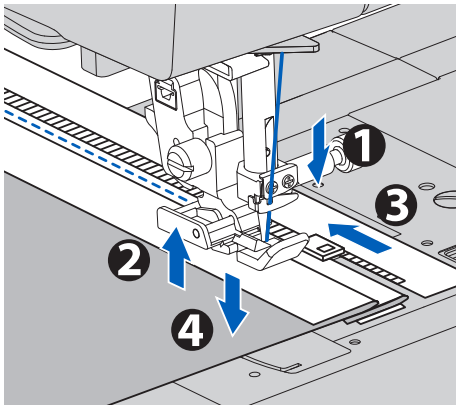
● スライダーをよけてぬうには

❶ スライダーの手前でミシンを止めます。
針を下げ、布に刺します。

❷ 押えを上げます。

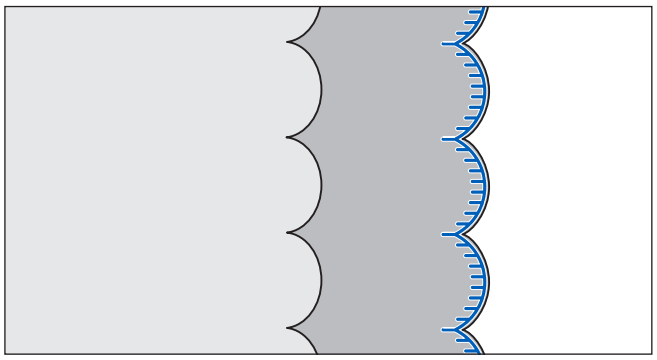
❸ スライダーを向こう側へ下ろします。

❹ 押えを下げてぬい続けます。



ふち飾りをぬう（スカラップステッチ）

テーブルクロスやブラウスのえりなどのふち飾りをぬいます。



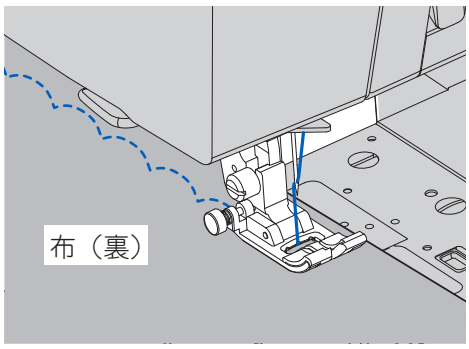
実用ぬい模様	押え
31 32	ジグザグ押え（H）
	サテン押え（B）

お知らせ

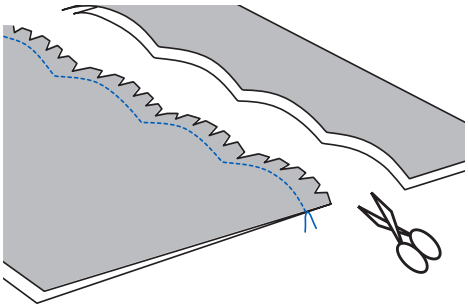
飾り模様 92（92）、93（93）でもスカラップをぬうことができます。その場合は、サテン押えをお使いください。飾り模様の選び方については、69 ページの「第 4 章　飾り模様・文字ぬい」を参照してください。

● スカラップ 1（実用ぬい模様 31）

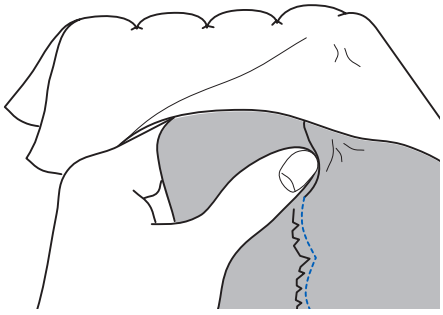
❶ 布を中表に折り、その端にそってぬいます。



❷ ぬい目にそって 0.3cm のぬいしろをとって切り取り、ぬいしろに切り込みを入れます。

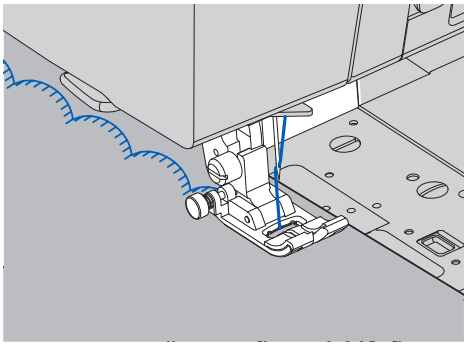


❸ 布を表に返して、ぬい目の山を表に押しだし、アイロンで仕上げます。

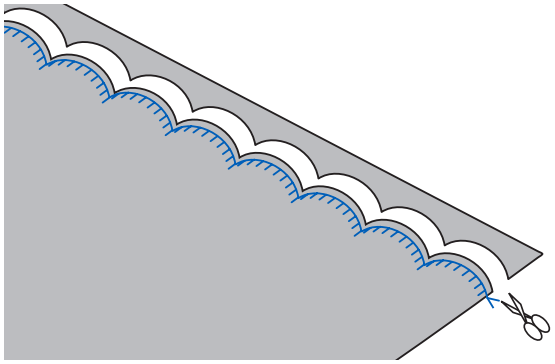


● スカラップ２（実用ぬい模様 32 ）

❶ 布端に模様がかからないように端を残してぬいます。



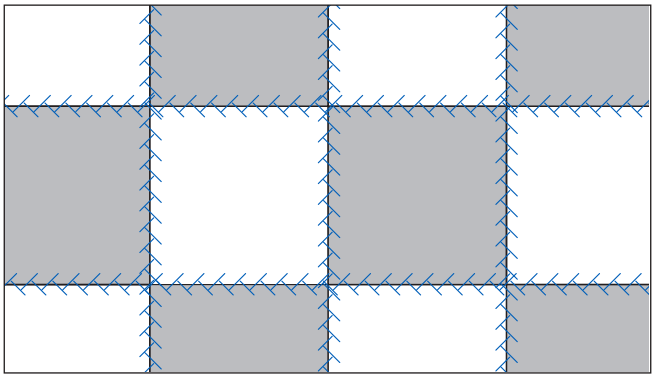
❷ 糸を切らないように注意してぬい目にそって布を切ります。



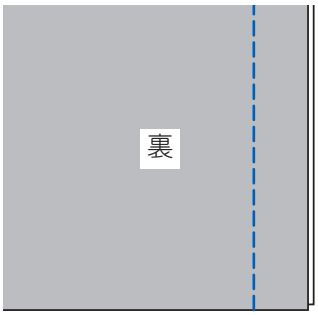
布地をぬい合わせてパッチワークをする

いろいろな布をはぎ合わせます。ぬい目の模様も装飾になります。

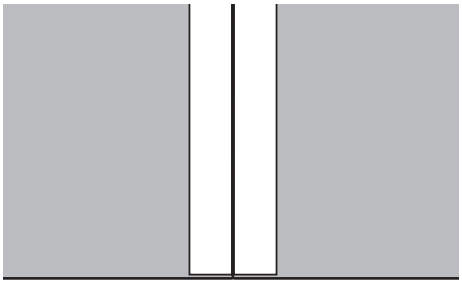
実用ぬい模様	押え
26 28	ジグザグ押え（H）



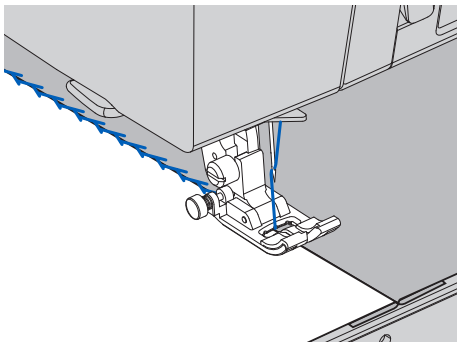
❶ ２枚の布地を中表に合わせ地ぬいをします。



❷ ぬい代をわります。

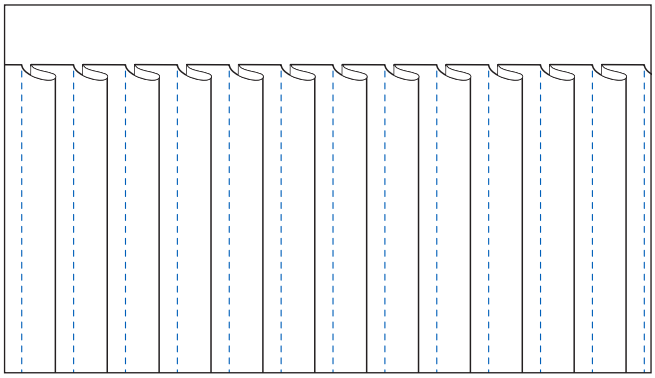


❸ 両方の布地に模様がまたがるようにしてぬいます。



ピンタックをぬう

ブラウスなどの装飾に使われるピンタックをぬいます。



実用ぬい模様	押え
1	ジグザグ押え（H）
2	ジグザグ押え（H） 直線押え

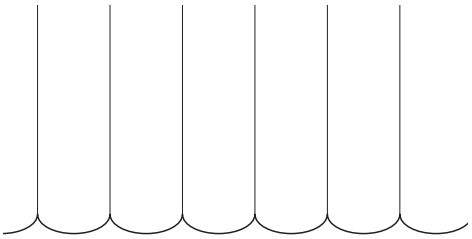
注意：ケガ防止のために；

実用ぬい模様 2 で直線押えを使うときは、針位置を自動設定値から変えないでください。針が押えにあたり危険です。

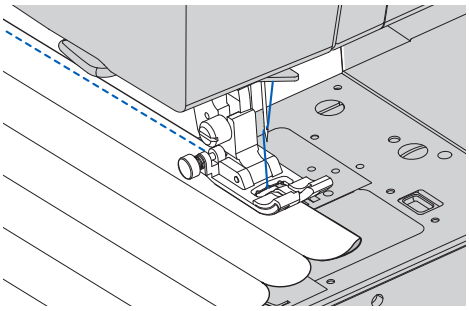
お知らせ

直線用交換針板を使うと、布が針板の穴に沈み込みにくく、よりきれいに仕上げることができます。使い方については、43 ページの「薄い布や伸縮性のある布に直線ぬいをする（直線用交換針板の使い方）」を参照してください。

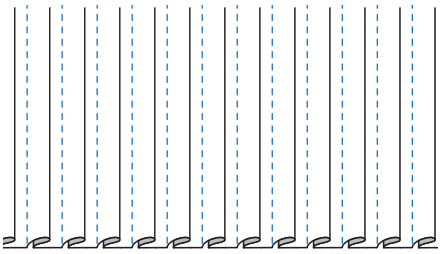
❶ アイロンでピンタックの折り山を整えます。



❷ 折り山を伸ばさないようにしながら、ピンタックをぬいます。

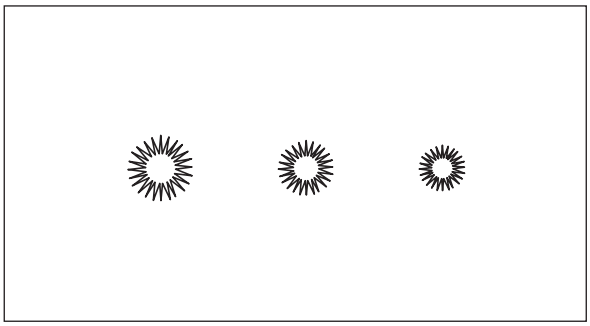


❸ アイロンで片側に倒します。



アイレット（はと目穴）を作る

ベルトの穴などに使用するアイレット（はと目穴）を作ります。



実用ぬい模様	押え
48	サテン押え（B）

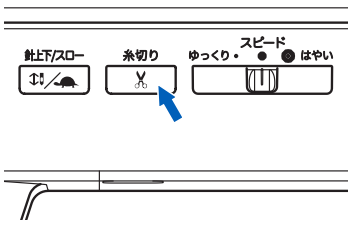
ふり幅を調節して、アイレットの大きさを 3 段階で変更できます。
調節のしかたについては、31 ページの「ぬい目のふり幅／長さ」を参照してください。
調節の設定値については、105 ページの「模様一覧」を参照してください。

❶ 布を入れ、押えを下げてスタートします。



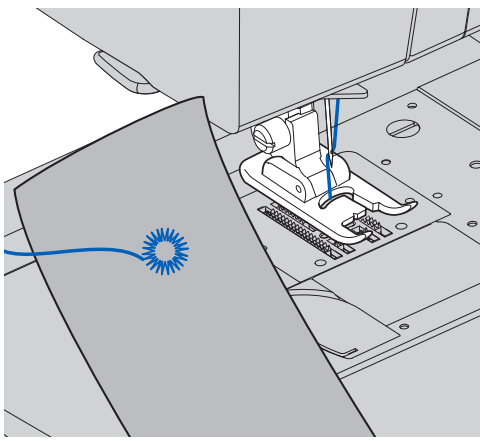
ぬい終わると止めぬいをして自動的に停止します。

❷ 糸切りボタンを押します。

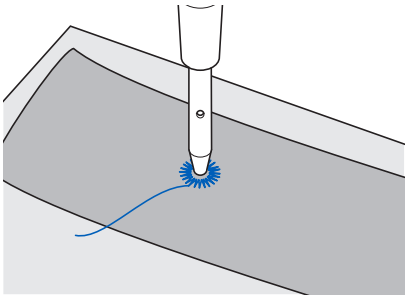


> お知らせ
> あらかじめ止めぬい／糸切りボタンをタッチしておくと、ぬい終わりに止めぬいをした後、自動的に糸を切るように設定できます。（案内窓に ✂ が表示されます。）

❸ 押えを上げ , 布を取り出します。



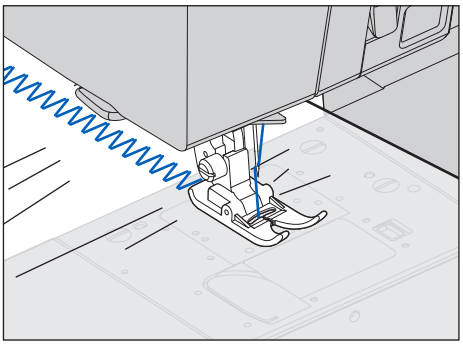
❹ はと目穴パンチ（市販品）で穴をあけます。



> お知らせ
> 穴を開けるときは、下に厚紙などをしいてください。

ビニールやレザーをぬう

ビニールやレザーなど金属製の押えでは送りにくい素材をぬうときは、レザー押えを使います。ジグザグ押えを使ったぬいと同じ要領でぬうことができます。



実用ぬい模様	押え
ボタンホール、かん止め以外の模様	 レザー押え

> お知らせ
> レザー押えを使って直線ぬいをする場合、直線用交換針板を使うと、布が針板の穴に沈み込みにくく、よりきれいに仕上げることができます。使い方については、43 ページの「薄い布や伸縮性のある布に直線ぬいをする（直線用交換針板の使い方）」を参照してください。

第 4 章　飾り模様・文字ぬい

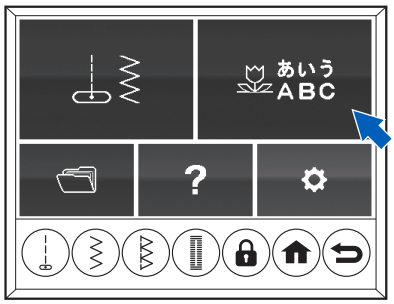
飾り模様・文字ぬいのぬい方を説明します。
飾り模様･文字ぬいでぬうことができる模様は、飾り模様、ひらがな、カタカナ、漢字の横書きと縦書き、アルファベットのブロック体と筆記体の 9 つのグループに分けられます。
飾り模様と文字を組み合わせてぬったり、その組み合わせを連続してぬったりすることができます。
このミシンでぬえる飾り模様と文字については､トップカバーの内側と､この取扱説明書の 105 ページの「模様一覧」を参照してください。

飾り模様・文字の選び方

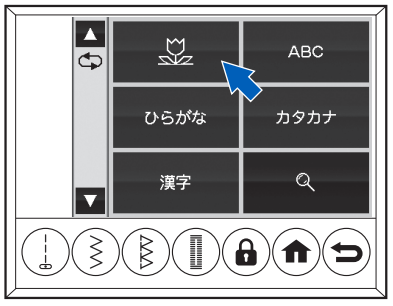
◆飾り模様・文字の選び方

飾り模様・文字の選び方を説明します。

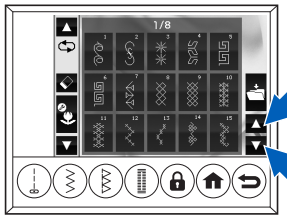
❶ 飾り模様・文字ボタンをタッチします。
グループ選択画面が表示されます。



❷ ぬいたいグループのボタンをタッチします。
選んだグループの模様選択画面の最初の画面が表示されます。

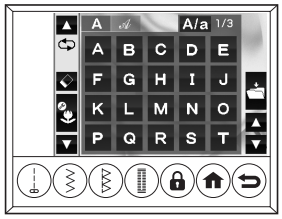


●飾り模様（8 画面）

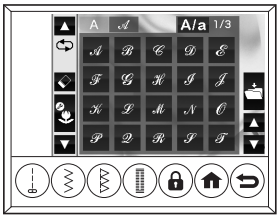


●アルファベット

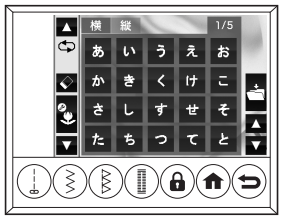
ブロック体（3 画面）



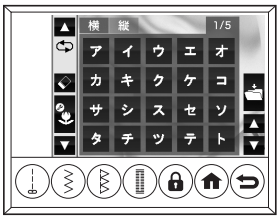
筆記体（3 画面）



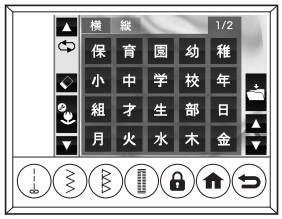
●ひらがな（5 画面）



●カタカナ（5 画面）



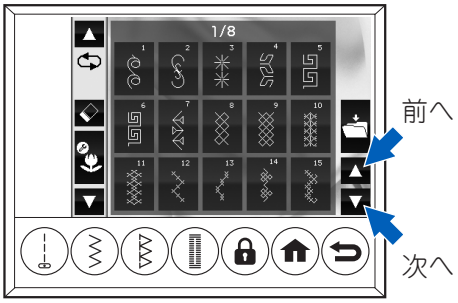
●漢字（2 画面）



画面右下の前ボタン（▲）で前の画面、次ボタン（▼）で次の画面に切り替わります。

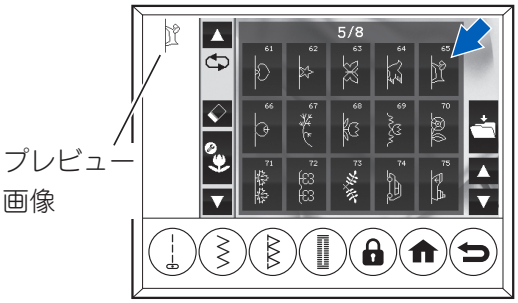
- アルファベットは､画面上の A （ブロック体）／ A （筆記体）タブで書体が、A/a タブで大文字／小文字が切り替わります。
- ひらがな、カタカナ、漢字は、画面上の 横 ／ 縦 タブをタッチすると、横書き／縦書きが切り替わります。

❸ ぬいたい飾り模様・文字が表示されるまで、前ボタン（▲）または次ボタン（▼）をタッチします。



❹ ぬいたい飾り模様・文字をタッチします。

選ばれた飾り模様・文字が画面の左上に表示されます（プレビュー画像）。



お知らせ

飾り模様を選んだ場合、画面に表示される模様の単位と実際にぬわれたり記憶されたりする模様の単位は異なる場合があります。各模様のぬわれる単位・記憶される単位は、105 ページの「模様一覧」を参照してください。また、模様の記憶については 76 ページの「飾り模様・文字の呼び出し」を参照してください。

画面表示：

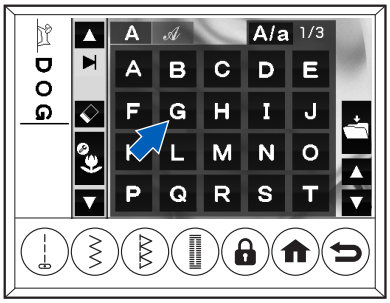
ぬわれる単位
・記憶される単位：

❺ 手順 1 ～ 4 と同じ要領で次にぬいたい飾り模様・文字を選んでいきます。

- 戻るボタンをタッチすると、グループ選択画面に戻ります。
- 選ばれた飾り模様・文字が画面左上に順番に表示されていきます。

お知らせ

- 飾り模様・文字は 60 個まで選ぶことができます。
- 画面に表示しきれなくなると、先頭の模様から順に表示が消えていきます。表示が消えた模様を再度表示させる方法は、71 ページの「飾り模様・文字の確認」を参照してください。
- ホーム画面まで戻っても、飾り模様・文字ボタンをタッチすれば、選んだ模様・文字が再表示されます。



◆飾り模様・文字の確認

選んだ飾り模様・文字は一時的に記憶されます。飾り模様・文字を複数選んでいくと、案内窓に表示しきれなくなり先頭の飾り模様・文字から順に画面から消えていきますが、模様選択の前ボタン（▲）／次ボタン（▼）を使って確認することができます。

A. 前ボタン（▲）をタッチすると、1 つ前の飾り模様・文字がグレー表示されます。（グレーの四角形）
前ボタンをタッチするごとに 1 つずつ前に移動します。

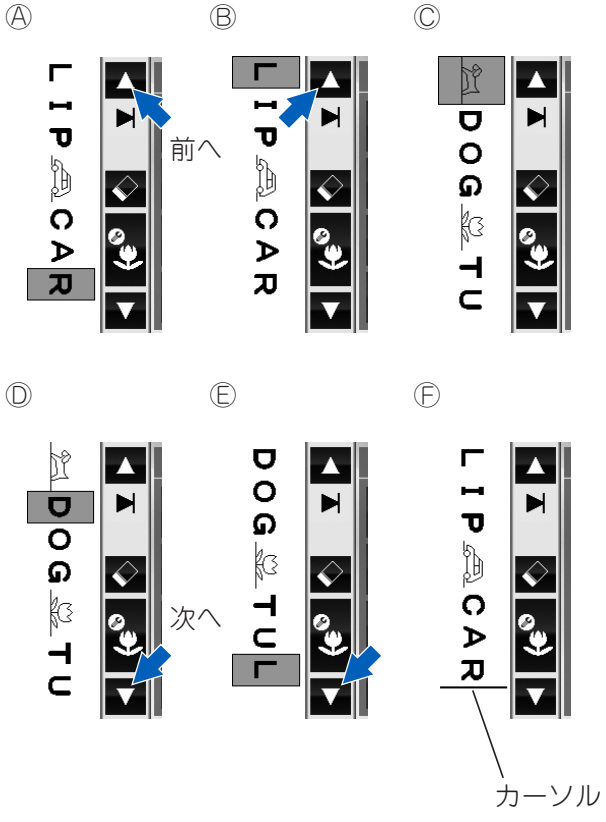
B. 画面の一番上まできたら、その前に記憶した飾り模様・文字が現れます。

C. 最初に記憶した飾り模様・文字まできたら、ピピピッと鳴ってお知らせします。

D. 次ボタン（▼）をタッチするごとにグレー表示が 1 つずつ後ろに移動します。

E. 画面の一番下までくると、その後に記憶した飾り模様・文字が現れます。

F. 記憶した飾り模様・文字の最後まできたら、グレー表示が消え、追加選択のカーソル（横線）が表示されます。



飾り模様・文字の編集

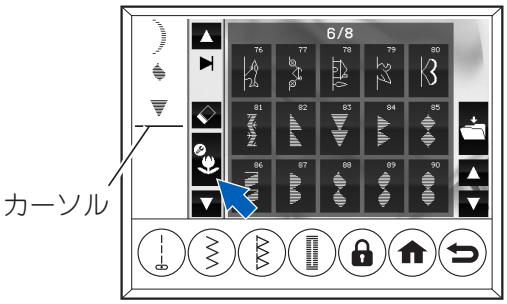
記憶させた模様それぞれのぬい目のふり幅や長さ、反転、伸長の設定を変えることができます。また、記憶させた飾り模様・文字全体の糸調子を変えることができます。
さらに、ぬいの最後に自動で糸切りをして止まる「自動止めぬい・自動糸切り」を設定することもできます。
反転や伸長（2 倍ぬい、5 倍ぬい）ができる飾り模様については、トップカバーの内側と、この取扱説明書の 105 ページの「模様一覧」で確認してください。

> お知らせ
> 文字は、ふり幅や長さ、反転、伸長の設定はできません。

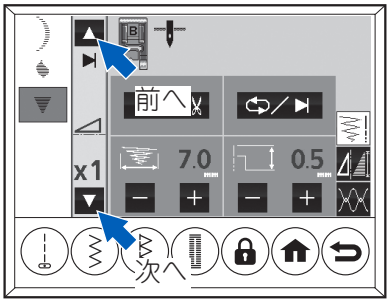
◆編集画面の表示方法

❶ 飾り模様選択画面で、編集ボタンをタッチします。

画面が編集画面（ふり幅、長さ）に変わります。
追加選択のカーソル（横線）が表示されているときに編集ボタンをタッチすると、その前の飾り模様・文字がグレー表示されて、編集画面に変わります。

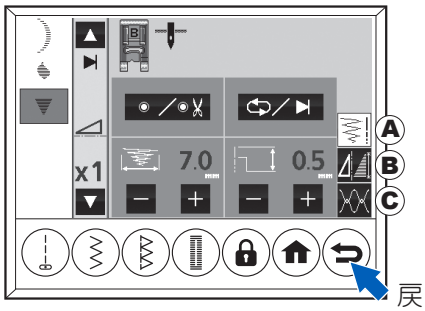


❷ 前ボタン（▲）、次ボタン（▼）を使って設定変更したい飾り模様・文字をグレー表示させます。



❸ ふり幅／長さボタンⒶ、反転／伸長ボタンⒷ、糸調子ボタンⒸをタッチして、編集画面を切り替えます。

文字や、反転／伸長を設定できない飾り模様が選択されているときは、ボタンは表示されません。
戻るボタンをタッチすると、飾り模様選択画面に戻ります。



◆モード切り替え（単独ぬい／繰り返しぬい）、止めぬい／糸切り、ぬい目のふり幅／長さの調節

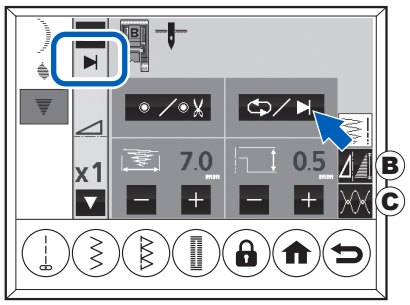
編集ボタンをタッチすると、ふり幅／長さの設定画面が表示されます。この画面でできることを説明します。
反転／伸長ボタンⒷ、糸調子ボタンⒸをタッチすると、それぞれの設定画面に切り替わります。
戻るボタンをタッチすると、飾り模様選択画面に戻ります。

●モード切り替え（単独ぬい／繰り返しぬい）

モード切替ボタン（⟲／▶|）をタッチすると、単独ぬいと繰り返しぬいが切り替わります。
タッチするごとに、画面の表示が切り替わります。
詳細は、81 ページの「飾り模様・文字のぬい方」を参照してください。

▶|：　単独ぬい

⟲：　繰り返しぬい



お知らせ

- 初期設定は繰り返しぬいです。
- 飾り模様を 2 つ以上選んだ場合か、文字を選んだ場合は、自動的に単独ぬいに切り替わります。
- 止めぬい／糸切りを設定すると、自動的に単独ぬいに設定されます。詳細は、82 ページの「ぬい終わりのモード切り替え（単独ぬい、単独止めぬい／単独糸切りぬい、繰り返しぬい）」を参照してください。
- ホーム画面に戻ると、飾り模様・文字の選び方に応じた自動設定に戻ります。

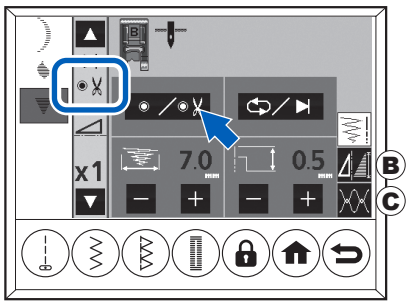
●止めぬい／糸切り

止めぬい／糸切りボタン（◉／✂）をタッチすると、止めぬいと糸切りの設定ができます。

止めぬい：　止めぬい／糸切りボタンを 1 回タッチします。画面に ◉ が表示されます。ぬい始めとぬい終わりに自動的に止めぬいをします。

止めぬい・糸切り：　止めぬい／糸切りボタンを 2 回タッチします。画面に ◉ ✂ が表示されます。ぬい始めとぬい終わりに自動的に止めぬいをして、糸切りをします。

取り消し：3 回タッチすると設定が取り消されます。



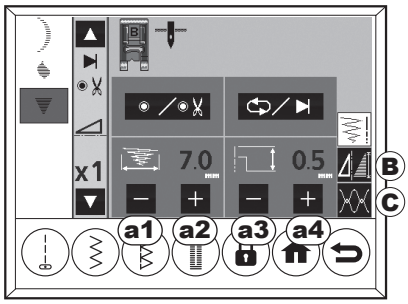
お知らせ

- 繰り返しぬいが設定されているときに、止めぬい／糸切りボタンをタッチすると、自動的に単独ぬいに切り替わります。止めぬい／糸切りが設定されているときは、繰り返しぬいはできません。詳細は 82 ページの「ぬい終わりのモード切り替え（単独ぬい、単独止めぬい／単独糸切りぬい、繰り返しぬい）」を参照してください。
- ホーム画面に戻ると設定は解除されます。

●ぬい目のふり幅／長さ

＋ボタン／－ボタンでふり幅／長さを調整します。
選んだ他の飾り模様のふり幅／長さを調整するには、前ボタン（▲）、次ボタン（▼）で選択し、グレー表示させます。
自動設定値は緑色で表示されます。
画面の一番上には、適切な押えと針停止位置が表示されます。

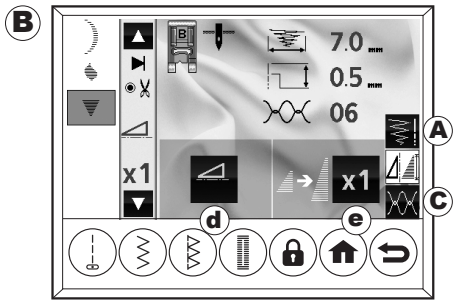
ふり幅　a1：狭くなる　a2：広くなる
長さ　　a3：細かくなる　a4：粗くなる



> **お知らせ**
> - 文字は、ぬい目長さ･ふり幅を変えられません。
> - 最大値、最小値になるとピピピッと鳴ってお知らせします。（操作音が鳴らないように設定した場合は鳴りません。詳しくは 14 ページの「設定ボタン」を参照してください）

◆反転／伸長

反転／伸長ボタンをタッチすると、反転／伸長の設定画面が表示されます。自動設定値は緑色で表示されます。



●反転（左右／上下）

模様を左右や、上下に反転した形でぬうことができます。
模様をグレー表示させたときに反転ボタンが表示されたら、その模様は、反転ぬいができます。
反転ボタンをタッチするごとに、表示（ⓓ）が変わり、ぬいが反転します。

1. もとの設定（緑色の表示）
2. 左右反転
3. 上下反転
4. 上下左右反転

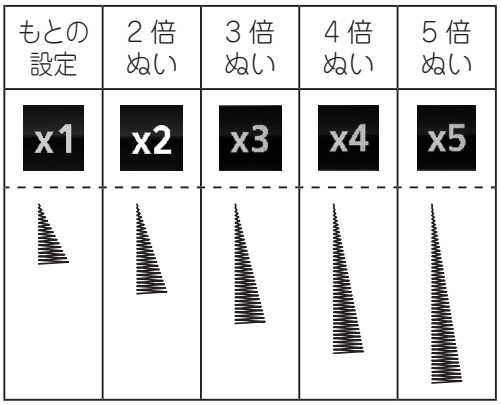
左右反転		上下反転	
もとの設定	左右反転	もとの設定	上下反転
			
			

上下左右反転			
もとの設定	左右反転	上下反転	上下左右反転
			
			

●伸長（2 ～ 5 倍）

伸長ボタンが表示が表示される模様は、ぬいの長さを２倍～５倍まで伸ばしてぬうことができます。
このボタンをタッチすると、模様の長さが２～５倍に伸ばしてぬうことができます。ボタンをタッチするごとに２～５倍に伸びていきます。ボタンをタッチするごとに表示（ⓔ）が変わります。
画面の一番上には、適切な押えと針停止位置、設定されているふり幅／長さ、糸調子が表示されます。
幅／長さボタンⒶ、糸調子ボタンⒸをタッチすると、それぞれの設定画面に切り替わります。
戻るボタンをタッチすると、飾り模様選択画面に戻ります。

1. もとの設定（緑色の表示）
2. 2 倍ぬい
3. 3 倍ぬい
4. 4 倍ぬい
5. 5 倍ぬい

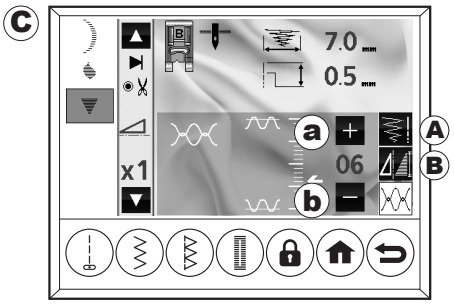


お知らせ
- 模様によって伸長できる数値は異なります。105 ページの「模様一覧」を参照してください。
- 伸長できない模様は、伸長ボタンが表示されません。

◆糸調子

糸調子ボタンをタッチすると、糸調子の設定画面が表示されます。選んだ飾り模様・文字全体の糸調子を調整できます。

自動設定値は緑色で表示されます。
画面の一番上には、適切な押えと針停止位置、設定されているふり幅／長さが表示されます。
幅／長さボタンⒶ、反転／伸長ボタンⒷをタッチすると、それぞれの設定画面に切り替わります。
戻るボタンをタッチすると、飾り模様選択画面に戻ります。



ⓐ： 強くなる

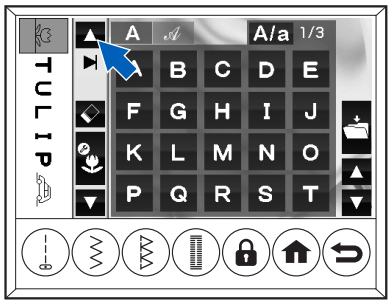
ⓑ： 弱くなる

お知らせ
ホーム画面に戻ると自動設定値に戻ります。

◆飾り模様・文字の挿入

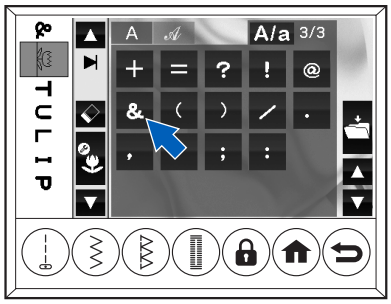
あとから、任意の位置に飾り模様･文字を追加できます。

❶ 前ボタン（▲）、次ボタン（▼）を使って、挿入したい部分の次の模様・文字をグレー表示させます。



❷ 挿入したい飾り模様・文字を選びます。

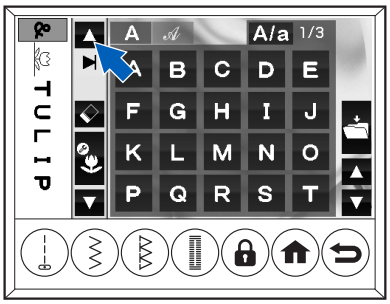
グレー表示された飾り模様・文字の前に挿入されます。



◆飾り模様・文字の削除

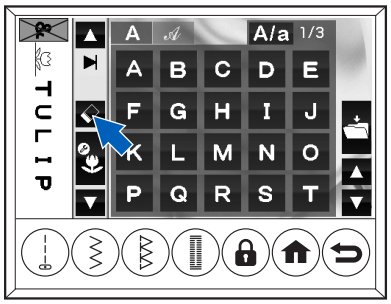
選んだ飾り模様・文字を削除したいときは、削除ボタンを使います。

❶ 前ボタン（▲）、次ボタン（▼）を使って、削除したい飾り模様・文字をグレー表示させます。



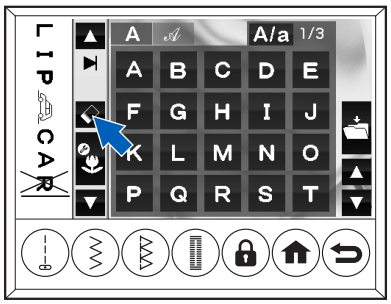
❷ 削除ボタンをタッチします。

グレー表示された飾り模様・文字が削除され、次の模様・文字がグレー表示されます。



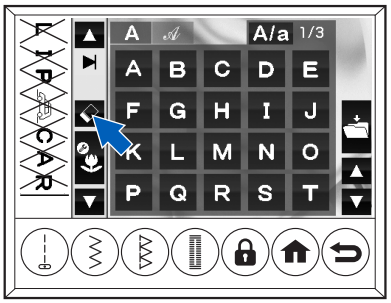
● 一番最後の飾り模様・文字を削除する

カーソル（—）が一番下にある場合、その直前の飾り模様・文字が削除されます。



● まとめて削除する

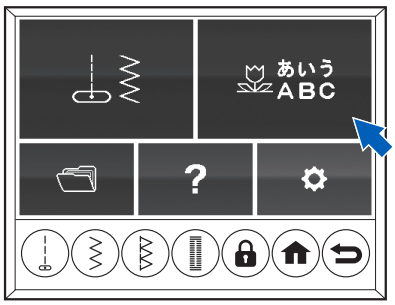
削除ボタンを長押し（0.5 秒以上）すると、すべての飾り模様・文字が削除されます。



◆飾り模様・文字の呼び出し

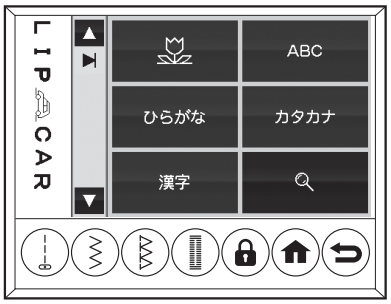
選んだ飾り模様・文字は一時的に記憶され、実用ぬいをぬった後からでも呼び出せます。

実用ぬいをぬった後、飾り・文字ボタンをタッチします。





グループ選択画面が表示され、記憶していた飾り模様・文字が呼び出されます。



お知らせ

- 変更した糸調子は、自動設定値に戻ります。
- モード切り替え、止めぬい／糸切りの設定は解除されます。
- 記憶した飾り模様・文字をすべて削除するには、削除ボタンを長めにタッチします。(75 ページの「飾り模様・文字の削除」参照)
- 電源を切ると記憶された飾り模様・文字はすべて削除されます。電源を切っても、再度使うときに読み出せるようにするには、メモリー保存をします。詳しくは、77 ページの「メモリー保存と読み出し」を参照してください。

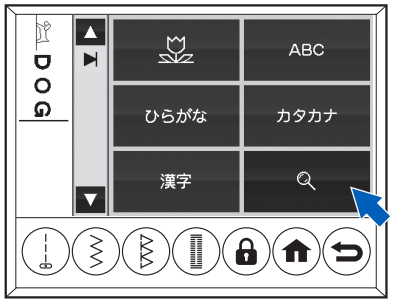
◆ぬいあがりを確認する

組み合わせた模様や文字のぬいあがりの状態を画面で確認することができます。

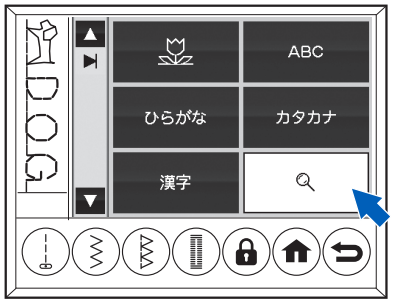
❶ グループ選択画面を表示させます。

各グループの模様の選択画面で戻るボタンをタッチすると、グループ選択画面が表示されます。

❷ ぬい上がり確認ボタンをタッチします。



❸ 画面左側に表示されたぬい上がりの状態を確認します。



メモ

- ぬい上がり確認ボタンをもう一度押すと、通常の表示（手順 2 の画面）に戻ります。
- ぬい上がり確認画面のままでもぬいをスタートできます。このとき、グレー表示されている模様からぬい始めます。(81 ページ参照)

お知らせ

- ぬい上がりの状態は、イメージです。実際のぬい上がりとは、若干異なります。
- 組み合わせた飾り模様･文字、模様のふり幅、長さ、反転、伸長の状態によって、ぬい上がりの形は変わります。
- 選んだ飾り模様・文字の一部しか表示されていないときは、画面左側の前ボタン(▲)／次ボタン(▼)で移動して表示させることができます。

メモリー保存と読み出し

◆選んだ飾り模様・文字をメモリーに保存する

このミシンは、組み合わせた飾り模様・文字を４種類までメモリーに保存することができます。
この組み合わせは、ミシンの電源を切っても保存されています。

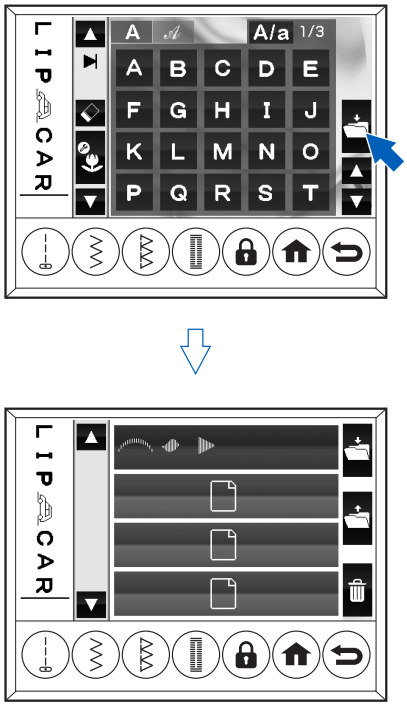
メモ

保存できる設定内容は以下のとおりです。

- ふり幅／長さ
- 反転／伸長

❶ 保存する飾り模様・文字を選び、模様／文字選択画面のメモリー保存ボタンをタッチします。

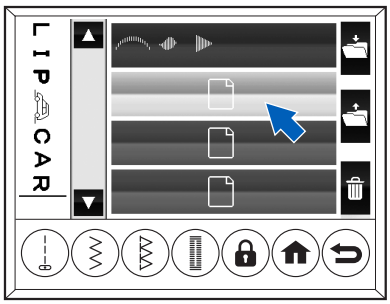
メモリー画面に切り替わり、4 つのファイルボタンが表示されます。



❷ ファイルボタンをタッチします。

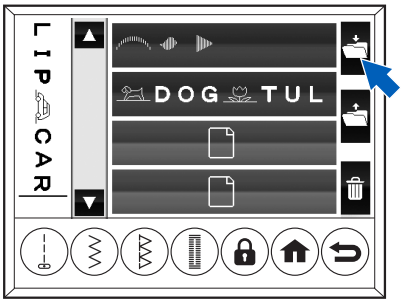
選択したファイルボタンはハイライト表示されます。

グレーのファイル：	ファイルは空です。
緑色のファイル：	飾り模様・文字が保存されています。保存されている飾り模様・文字の先頭の模様が表示されます。



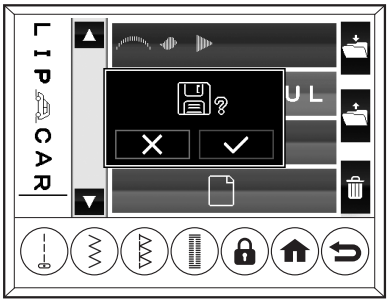
❸ 保存ボタンをタッチします。

保存が完了するとメッセージが表示されます。(102 ページ参照)
ファイルボタンの表示が緑色に変わり、保存されている飾り模様・文字の一部が表示されます。



●上書き保存する

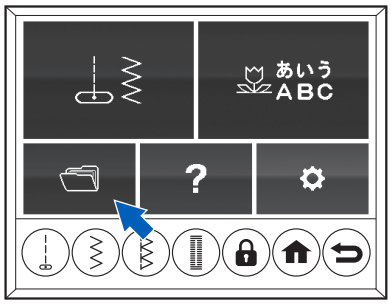
すでに飾り模様・文字が保存されているファイルボタンを選択し上書きしようとすると、確認画面が表示されます。
上書き保存する場合は「✓」、とりやめる場合は「✕」をタッチします。

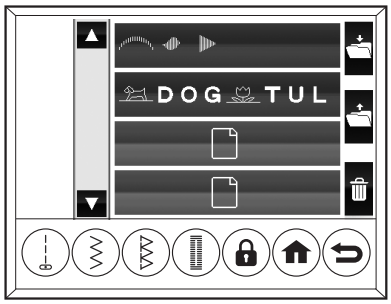


◆メモリーに保存した飾り模様・文字を読み出す

❶ ホーム画面でメモリー読み出しボタンをタッチします。

メモリー画面が表示されます。
飾り模様・文字が保存されているファイルは緑色で表示されています。保存されている飾り模様・文字の先頭の模様が表示されます。

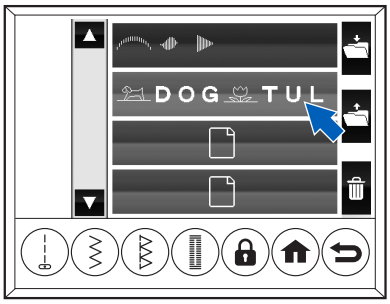




メモ
各グループの模様／文字選択画面のメモリー保存ボタン（ ）から読み出すこともできます。

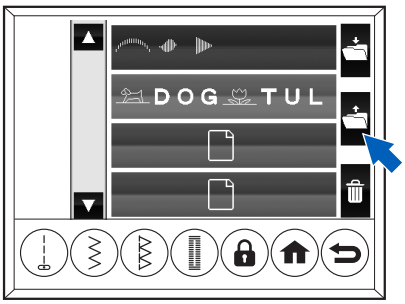
❷ 読み出したいファイルボタンをタッチします。

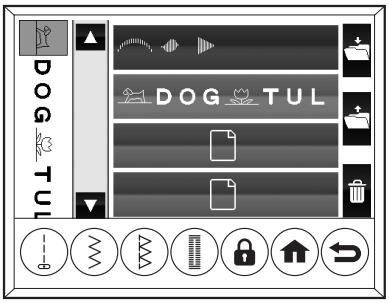
選択したファイルボタンはハイライト表示されます。



❸ 読み出しボタンをタッチします。

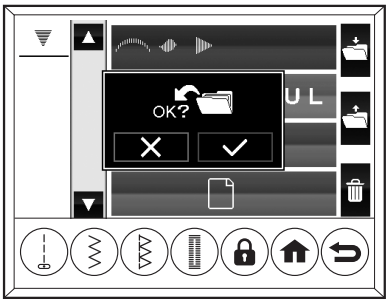
読み出された飾り模様・文字が画面左側に表示されます。
読み出した飾り模様・文字は、ぬったり、追加・削除したり、ふり幅／長さや反転／伸長を編集したりできます。





●置き換えの確認

他の飾り模様・文字を選んだ状態で読み出しボタンをタッチすると、表示の置き換えの確認画面が表示されます。読み出す飾り模様・文字に置き換える場合は「✓」、とりやめる場合は「✕」をタッチします。

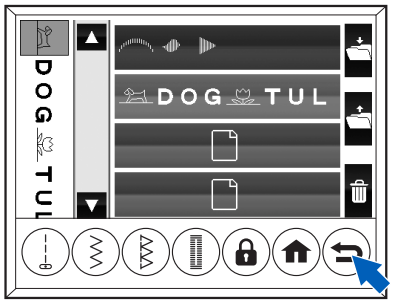


◆メモリーに保存した飾り模様・文字を編集する

読み出した飾り模様・文字に対して、ふり幅／長さ、反転／伸長の設定、糸調子の調節、単独ぬい／繰り返しぬいのモード切り替え、止めぬい／糸切りの切り替え、飾り模様・文字の挿入・削除などができます。

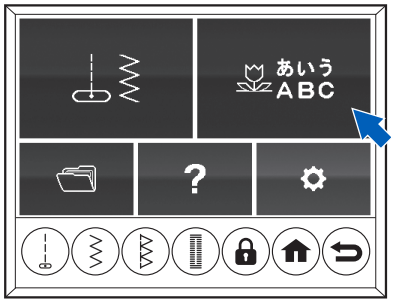
❶ 編集したい飾り模様・文字を読み出したら、戻るボタンをタッチします。

読み出しの手順は、78 ページの「メモリーに保存した飾り模様・文字を読み出す」を参照してください。



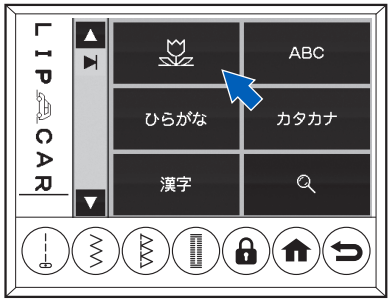
❷ 飾り模様・文字ボタンをタッチします。

グループ選択画面が表示されます。

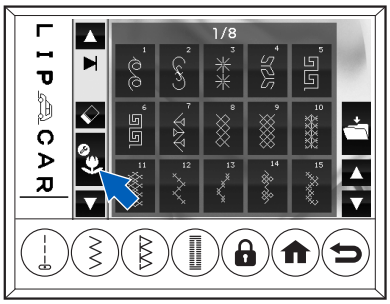


❸ グループ選択画面で、いずれかのグループのボタンをタッチします。

ぬい上がり確認ボタンは除きます。
ここでは、飾り模様を選びます。



❹ 編集ボタンをタッチします。



❺ 読み出した飾り模様・文字を編集します。

詳細は、71 ページの「飾り模様・文字の編集」を参照してください。

❻ 編集した内容を保存する場合は、メモリー保存ボタンをタッチして保存します。

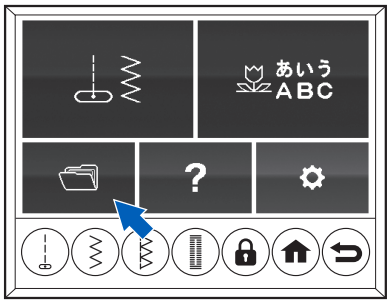
詳細は、77 ページの「選んだ飾り模様・文字をメモリーに保存する」を参照してください。

◆メモリーに保存した飾り模様・文字をぬう

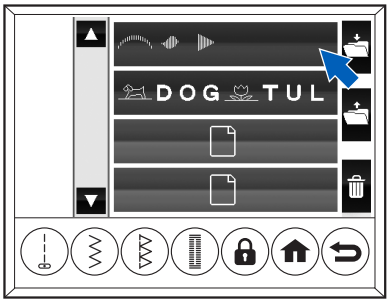
読み出した飾り模様･文字は、読み出した画面（79 ページの「メモリーに保存した飾り模様・文字を編集する」手順 1）からでもぬいをスタートすることができます。詳細は、81 ページの「飾り模様・文字のぬい方」の手順 2 ～ 6 を参照してください。

◆メモリーに保存した飾り模様・文字を消去する

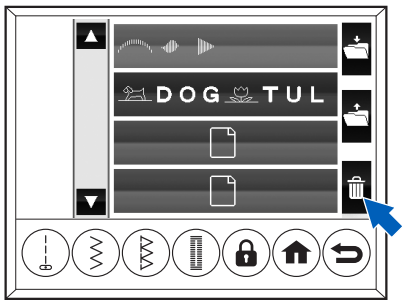
❶ **ホーム画面でメモリー読み出しボタンをタッチします。**
メモリー画面が表示されます。



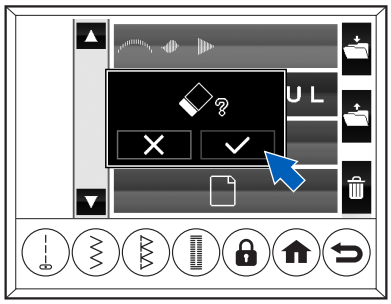
❷ **消去したいファイルをタッチします。**



❸ **消去ボタンをタッチします。**



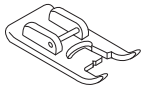
❹ **消去の確認画面が表示されたら、「✓」をタッチします。**
- 消去をとりやめる場合は、「✕」をタッチします。
- 消去が完了するとメッセージが表示されます。（102 ページ参照）
- 消去が完了すると、ファイルボタンはグレーで表示されます。

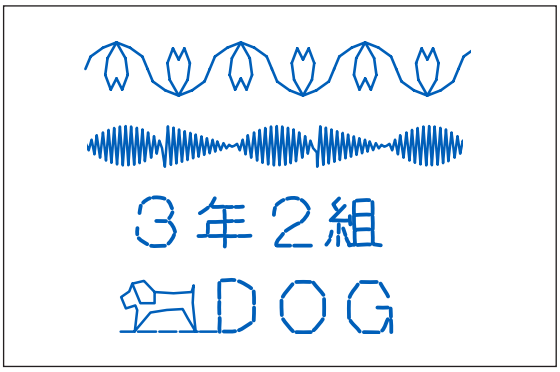


飾り模様・文字のぬい方

飾り模様・文字のぬい方を説明します。
ミシンの準備のしかたは、18 ページからの「第 2 章 ミシンの準備」を参照してください。

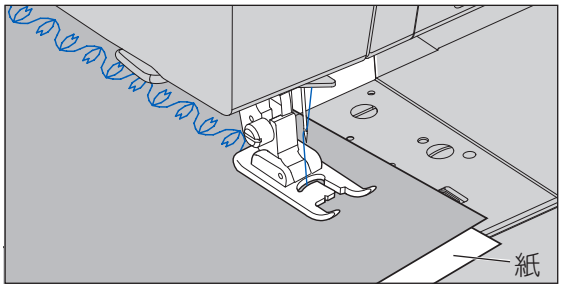
◆基本的なぬい方

飾り模様・文字	押え
すべての飾り模様・文字	 サテン押え（B）



お知らせ

- 文字をぬうときの針は、11 番の針が適しています。
- 糸は、28 ページの「糸と針の選び方」を参照して選んでください。布地に適した糸と針のうち、細い番手のものを使うとよりきれいに仕上がる場合があります。
- 布地の裏側の渡り糸は切らないでください。ぬった糸がほつれる場合があります。
- 薄い布、伸縮性のある布には、下に紙をしいてぬってください。



❶ 飾り模様・文字を選びます。
飾り模様･文字の選び方については､69 ページの「飾り模様・文字の選び方」を参照してください。

❷ サテン押えを取り付けます。
押えの交換方法については、26 ページの「押えの取りかえ方」を参照してください。

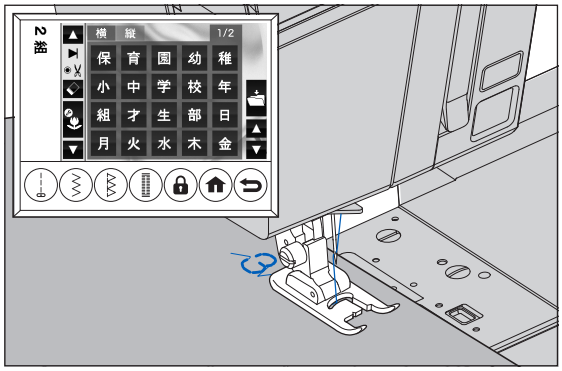
❸ 必要に応じて、選んだ飾り模様・文字の設定をします。
詳しい設定方法は、71 ページの「飾り模様・文字の編集」を参照してください。
また、単独ぬい／繰り返しぬい、止めぬい／糸切りについては、82 ページの「ぬい終わりのモード切り替え（単独ぬい、単独止めぬい／単独糸切りぬい、繰り返しぬい）」を参照してください。

- ふり幅／長さ
- 反転／伸長
- 糸調子
- 単独ぬい／繰り返しぬい
- 止めぬい／糸切り

❹ ぬい始めの飾り模様・文字を選択します。

- グレー表示されている飾り模様・文字からぬい始めます。任意の飾り模様・文字からぬい始めたい場合は、前ボタン（▲）／次ボタン（▼）で移動してください。
- カーソル（—）が表示されている場合は、先頭の飾り模様・文字からぬい始めます。

❺ 実用ぬいと同じ要領でぬい始めます。
詳しくは 36 ページ「基本的なぬい方とコツ」の手順 2 ～ 4 を参照してください。
ぬい終わった飾り模様・文字は、画面から消えていきます。



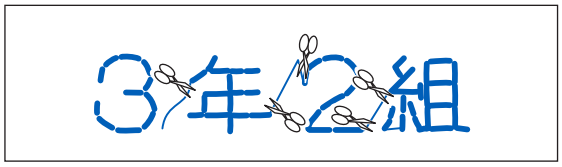
❻ ぬい終わったら押えを上げ、布を引き出します。

お願い

手順 3 で単独ぬい、単独止めぬいまたは繰り返しぬいを設定した場合は、糸を切ってから布を引き出してください。

お知らせ

- 単独止めぬいと単独糸切りぬいが設定されている場合は、ぬい始めとぬい終わりに止めぬいされます。
- 文字ぬいの場合、ぬい終わったら文字と文字の間の余分な糸を切り取って仕上げます。



- 電源を切ると記憶された飾り模様・文字はすべて削除されます。メモリーに保存すると、電源を切っても組み合わせた飾り模様・文字を保存しておくことができます。詳しくは、77 ページの「メモリー保存と読み出し」を参照してください。

◆ぬい終わりのモード切り替え（単独ぬい、単独止めぬい／単独糸切りぬい、繰り返しぬい）

飾り模様･文字をぬうときのぬい終わりには、単独ぬい、単独止めぬい／単独糸切りぬい、繰り返しぬいの 3 つのモードがあります。
飾り模様・文字の選び方によって、単独ぬいか繰り返しぬいが自動的に設定されます。
モード切替ボタン、止めぬい／糸切りボタンをタッチするごとにモードが切り替わり、手動で設定を変更することもできます。

飾り模様・文字の選び方	ぬい終わりのモード		
	単独ぬい／繰り返しぬい（自動設定）	止めぬい／糸切り	
		止めぬいを設定 ◉	止めぬい・糸切りを設定 ◉ ✂
飾り模様のみ 1 つ	Ⓒ繰り返しぬい ⟲	Ⓑ単独止めぬい ▶| ◉	Ⓑ単独糸切りぬい ▶| ◉ ✂
飾り模様のみ 2 つ以上 文字のみ 飾り模様と文字	Ⓐ単独ぬい ▶|		

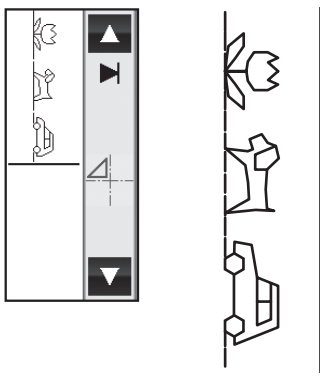
お知らせ

- 止めぬい／糸切りを設定すると、ぬい終わりのモードは必ず単独ぬいになります。
- 単独ぬい／繰り返しぬいの設定は手動で変更できます。手動で変更した場合でも、止めぬい／糸切りの設定をすると、常に単独ぬいに設定されます。

●モード切り替えのしくみ

Ⓐ単独ぬい

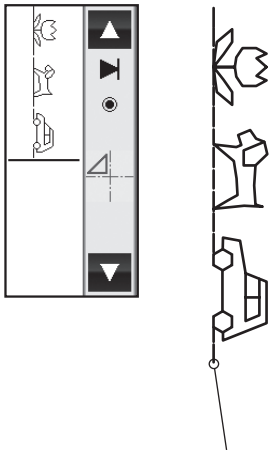
文字のみを選んだとき、2 つ以上の飾り模様を選んだとき、文字と飾り模様を選んだときに自動的に設定されます。
単独ぬいが設定されているときは、案内窓に▶|が表示されます。
ミシンは、選んだ飾り模様・文字を 1 回ぬったあと自動的に停止します。



Ⓑ単独止めぬい／単独糸切りぬい

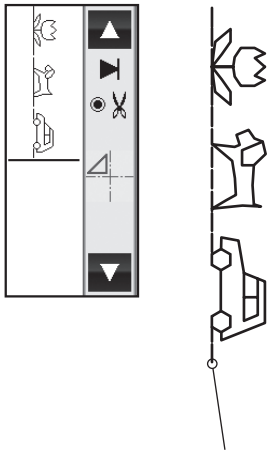
・単独止めぬい

止めぬい／糸切りボタンを 1 回タッチすると、選んだ飾り模様・文字のぬい始めとぬい終わりに止めぬいをして自動的に停止します。案内窓には、▶|と◉が表示されます。



・単独糸切りぬい

止めぬい／糸切りボタンを 2 回タッチすると、止めぬいをしたあと自動的に糸を切り停止します。案内窓には、▶|と◉ ✂が表示されます。



お知らせ

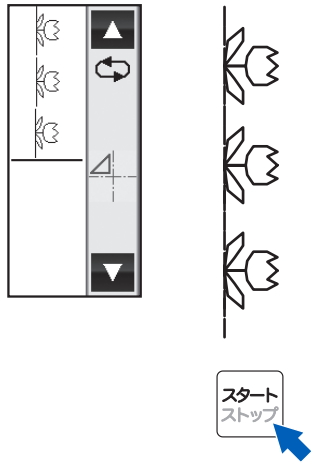
- 単独止めぬい／単独糸切りぬいの場合、先頭の飾り模様・文字のぬい始めと、最後の飾り模様・文字のぬい終わりに止めぬいをします。
- 繰り返しぬいが設定されているときに、止めぬい／糸切りボタンをタッチすると、自動的に単独ぬいに切り替わります。詳細は、82 ページの「ぬい終わりのモード切り替え（単独ぬい、単独止めぬい／単独糸切りぬい、繰り返しぬい）」を参照してください。

Ⓒ繰り返しぬい

飾り模様を 1 つだけ選んだときに自動的に設定されます。

繰り返しぬいが設定されているときは、案内窓に🔁が表示されます。

ミシンは、スタート／ストップボタンを押してストップさせるまで、選んだ 1 つまたは複数の飾り模様・文字を繰り返しぬいます。



お知らせ

- 飾り模様 2 つ以上、文字のみ、飾り模様と文字を選んだ場合でも、手動で繰り返しぬいに変更できます。
- 止めぬい／糸切りが設定されているときは、繰り返しぬいはできません。解除してから繰り返しぬいを選択してください。
- ぬいかけの状態でモードを変更するには、一度ぬいをストップします。モード切替ボタンでモードを変更し、再スタートします。

●単独ぬい、繰り返しぬいでの止めぬい

単独ぬい、繰り返しぬいを選択しているときのぬい始めとぬい終わりの止めぬいのしかたを説明します。

Ⓐぬい始めに止めぬいをする

❶ 返しぬいボタン（返しぬい）を押します。

> お知らせ
> 設定した止めぬいを解除したい場合は、手順２に進む前にもう一度返しぬいボタンを押してください。止めぬいの設定が解除されます。

❷ スタート・ストップボタンを押して止めぬいをします。

止めぬいが終わると自動的に停止します。

❸ もう一度スタート・ストップボタンを押してぬいをスタートします。



Ⓑぬい終わりに止めぬいをする

❶ ぬいの途中で返しぬいボタン（返しぬい）を押します。

返しぬいボタンを押した時点のぬいかけの模様が最後までぬわれます。

> お知らせ
> 設定した止めぬいを解除したい場合は、模様をぬい終わる前にもう一度返しぬいボタンを押してください。止めぬいの設定が解除されます。



❷ 模様をぬい終わると、止めぬいをして自動的に停止します。



◆いろいろな飾り模様・文字ぬい

飾り模様、文字模様を使ったぬい方の例です。

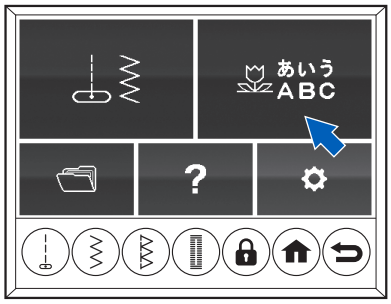
● 単独飾り模様ぬい

同じ飾り模様を続けてぬいます。

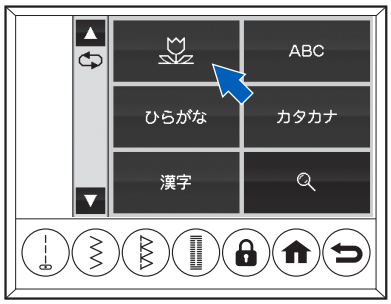
例



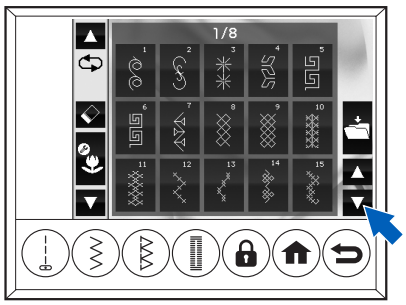
❶ 飾り模様・文字ボタンをタッチします。



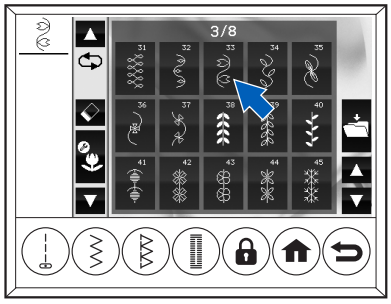
❷ 飾り模様ボタンをタッチします。



❸ 次ボタンを 2 回タッチします。



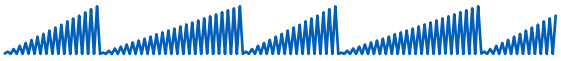
❹ 飾り模様（33）を選びます。



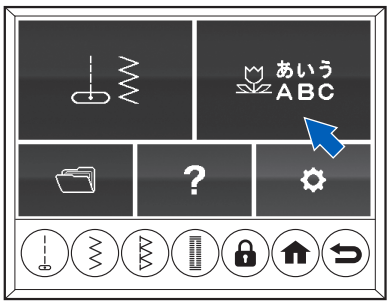
● 長さの違う模様を繰り返しぬう（2 倍ぬい）

長さの違う模様を組み合わせて、繰り返しぬいます。

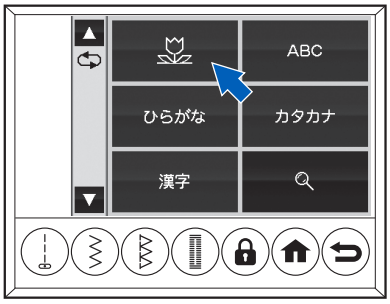
例



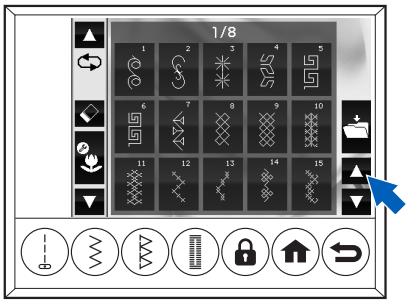
❶ 飾り模様・文字ボタンをタッチします。



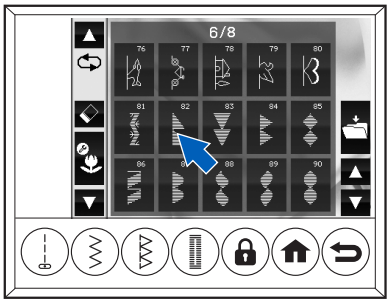
❷ 飾り模様ボタンをタッチします。



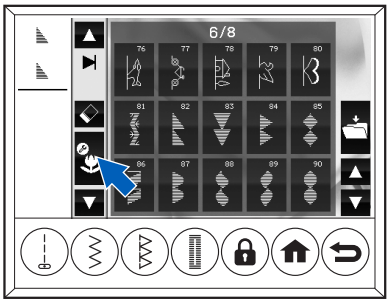
❸ 前ボタンを 3 回タッチします。



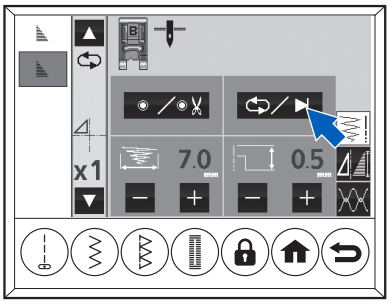
❹ 飾り模様（82）を 2 回選びます。



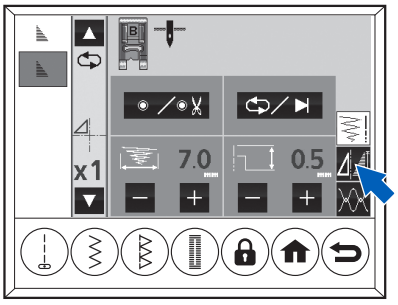
❺ 編集ボタンをタッチします。



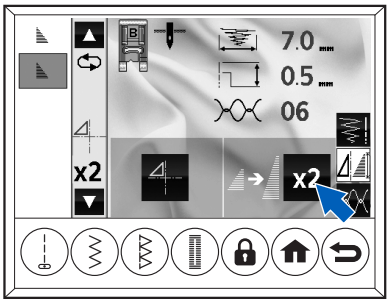
❻ モード切替ボタンをタッチして、繰り返しぬいを設定します。



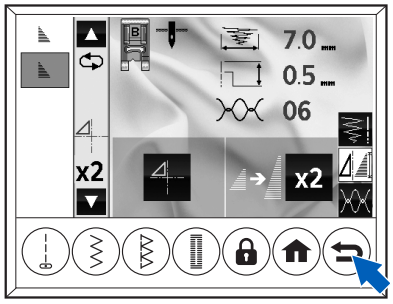
❼ 反転／伸長ボタンをタッチします。



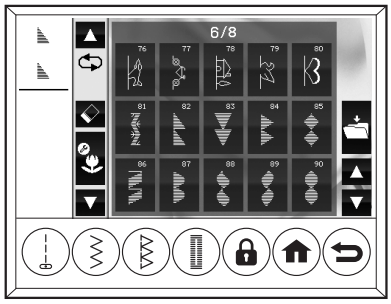
❽ 伸長ボタンをタッチして 2 倍ぬいを設定します。



❾ 戻るボタンをタッチします。



飾り模様選択画面に戻り、グレー表示がカーソル（—）に変わります。
ぬいをスタートすると、先頭からぬい始めます。



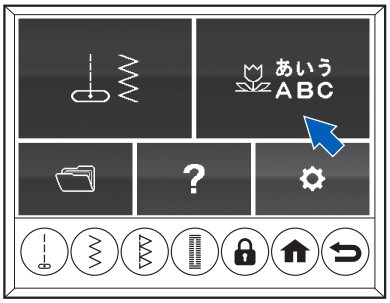
● 飾り模様の組み合わせぬい

組み合わせた飾り模様を 1 回ぬって止まります。

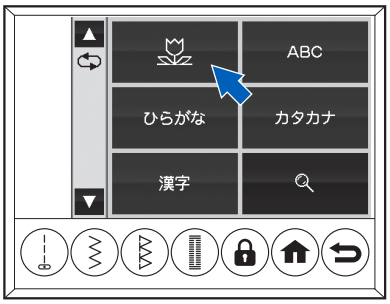
例



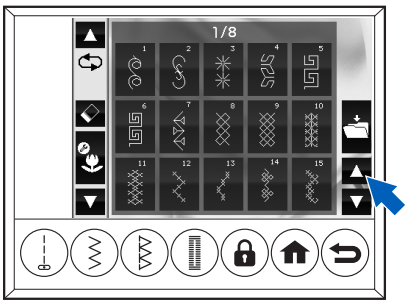
❶ 飾り模様・文字ボタンをタッチします。



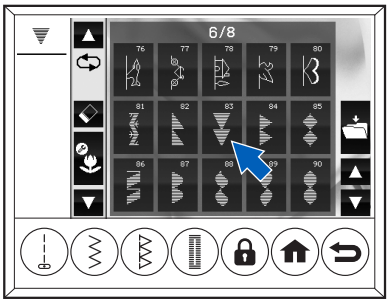
❷ 飾り模様ボタンをタッチします。



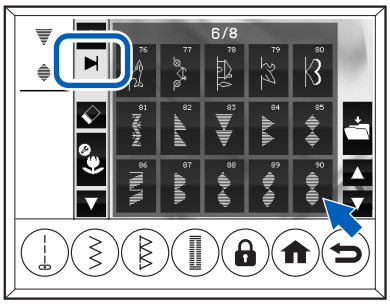
❸ 前ボタンを 3 回タッチします。



❹ 飾り模様（83）を選びます。



❺ 飾り模様（90）を選びます。



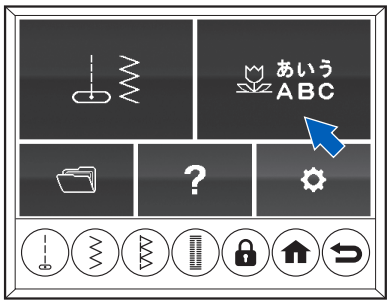
2 つ目の飾り模様を選ぶと、モード切り替えの画面表示が変わります。

● ワンポイントぬい

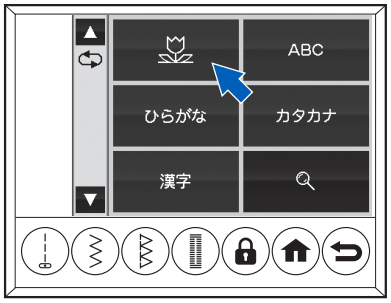
飾り模様を 1 回ぬって止まります。

例 

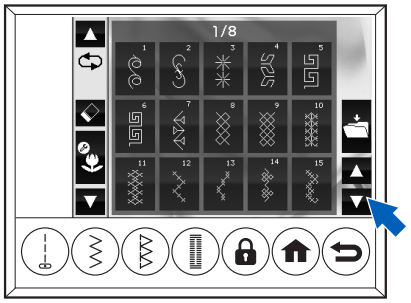
❶ 飾り模様・文字ボタンをタッチします。



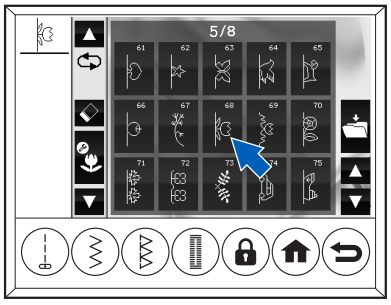
❷ 飾り模様ボタンをタッチします。



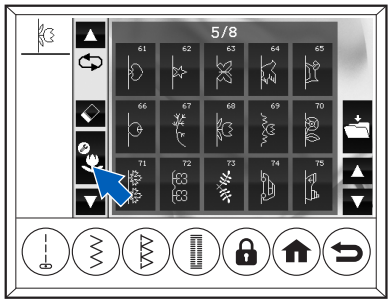
❸ 次ボタンを 4 回タッチします。



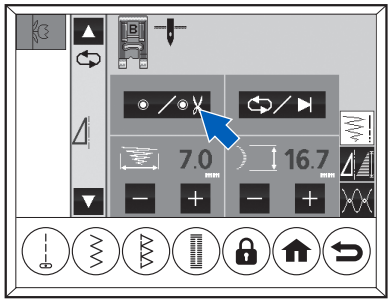
❹ 飾り模様（68）を選びます。



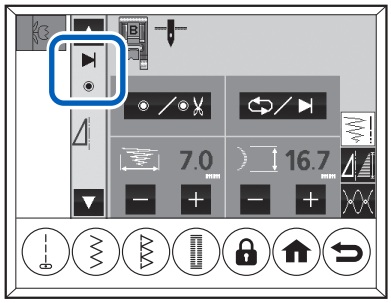
❺ 編集ボタンをタッチします。



❻ 止めぬい／糸切りボタンを 1 回タッチします。



モード切り替えの画面表示が変わります。



メモ

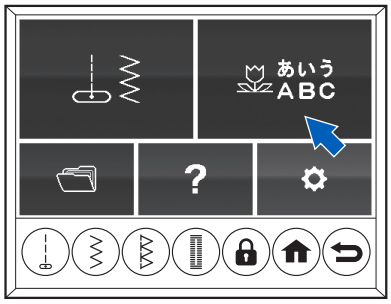
モード切替ボタンでも単独ぬいに設定できますが、止めぬいはぬわれません。

● 文字ぬい（縦書き）

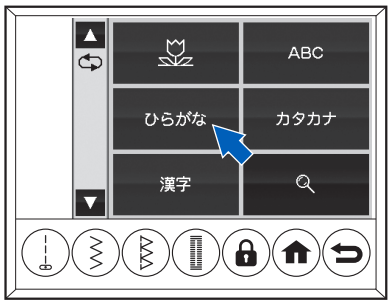
組み合わせた文字を１回ぬって止まります。

例 

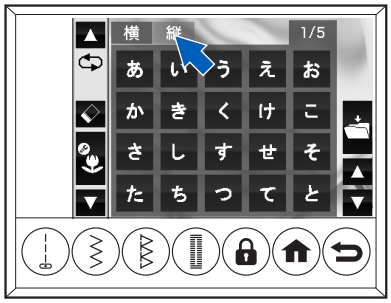
❶ 飾り模様・文字ボタンをタッチします。



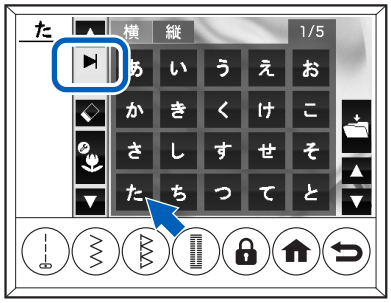
❷ ひらがなボタンをタッチします。



❸ 縦タブをタッチします。

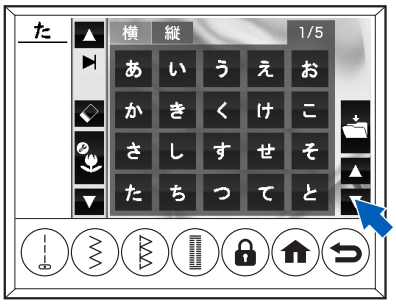


❹「た」を選びます。

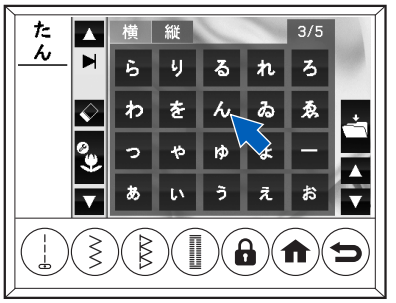


文字を選択すると、モード切り替えの画面表示が変わります。

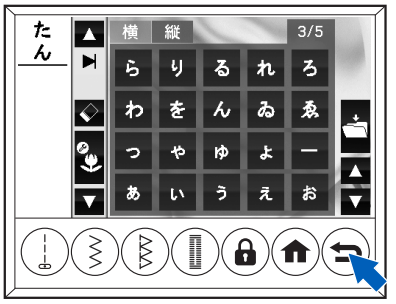
❺ 次ボタンを２回タッチします。



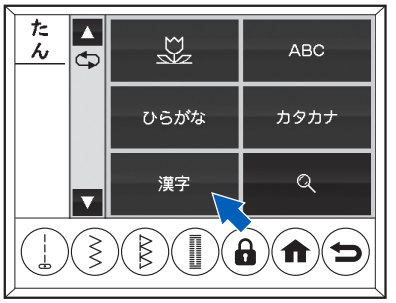
❻「ん」を選びます。



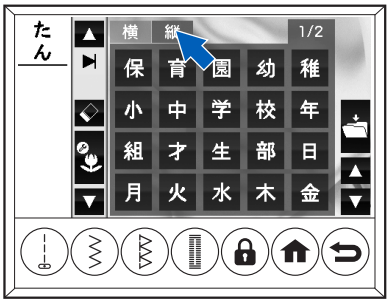
❼ 戻るボタンを１回タッチします。



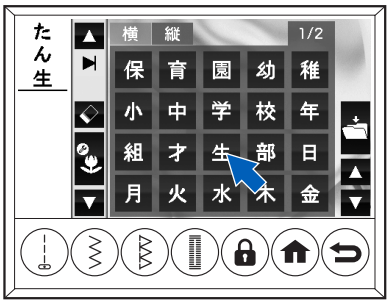
❽ 漢字ボタンをタッチします。



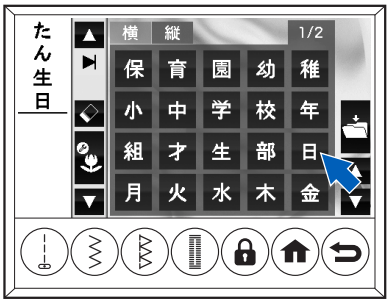
⑨ 縦タブをタッチします。



⑩「生」を選びます。



⑪「日」を選びます。

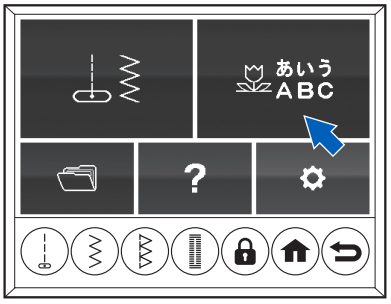


●飾り模様と文字の組み合わせぬい

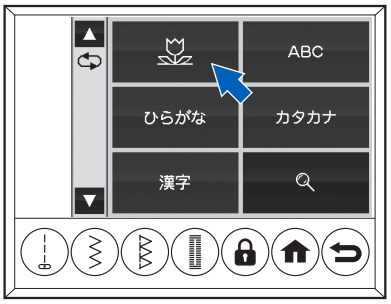
組み合わせた飾り模様と文字を 1 回ぬって、糸切りをして止まります。

例 

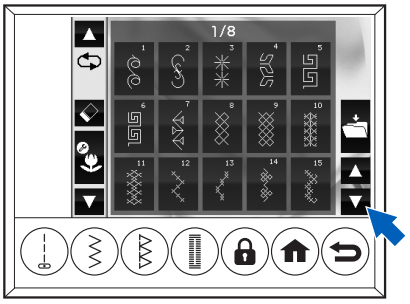
❶ 飾り模様・文字ボタンをタッチします。



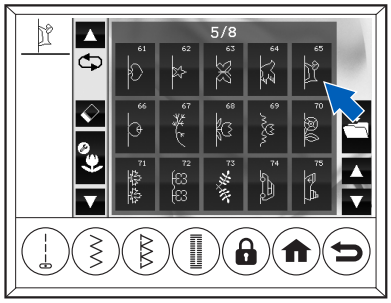
❷ 飾り模様ボタンをタッチします。



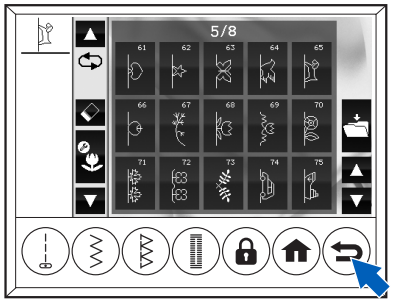
❸ 次ボタンを 4 回タッチします。



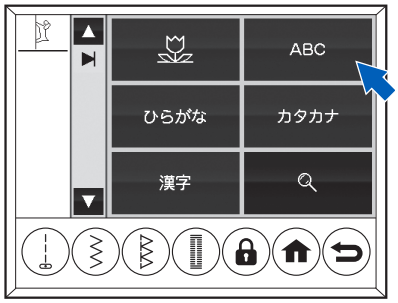
❹ 飾り模様（65）を選びます。



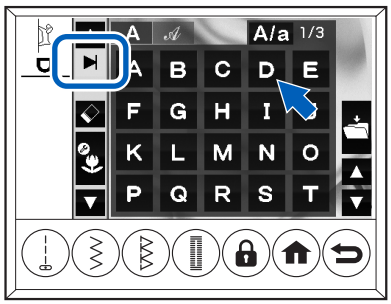
❺ 戻るボタンをタッチします。



❻ アルファベットボタンをタッチします。

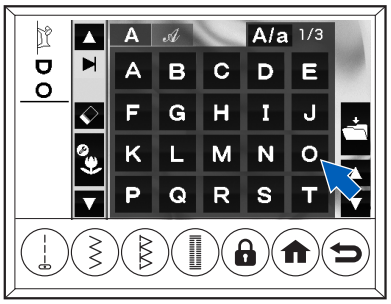


❼「D」を選びます。

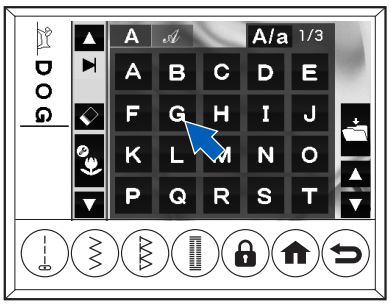


文字を選択すると、モード切り替えの画面表示が変わります。

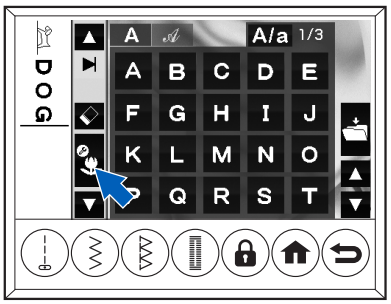
❽「O」を選びます。



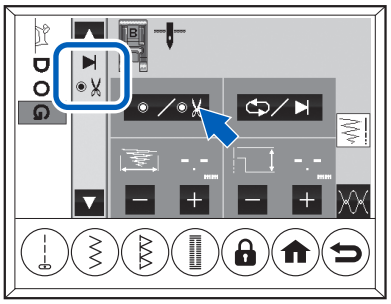
❾「G」を選びます。



❿ 編集ボタンをタッチします。



⓫ 止めぬい／糸切りボタンを２回タッチします。



モード切り替えの画面表示が変わります。

⓬ 戻るボタンをタッチします。

飾り模様選択画面に戻り、グレー表示がカーソル（—）に変わります。
ぬいをスタートすると、先頭からぬい始めます。

◆ぬい目の形の調整

飾り模様・文字ぬいをしているとき、布地の種類や厚さなど、ぬうときの条件によってはぬい目の形がくずれてしまう場合があります。その場合は、バランス調整ネジを使ってぬい目の形のくずれを改善します。

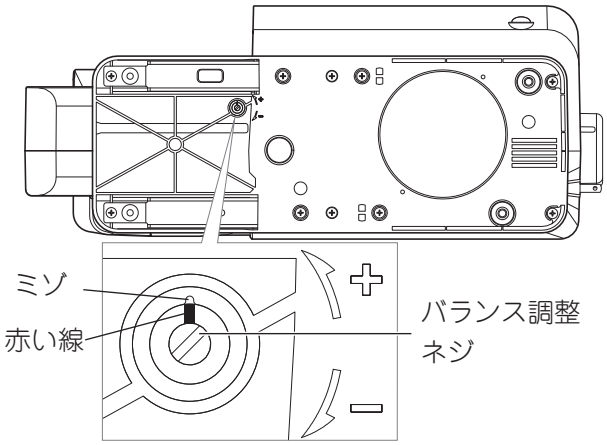
● 調整のしかた

❶ 補助テーブルを取り外します。

詳細は、9 ページの「補助テーブルの取り外し方」を参照してください。

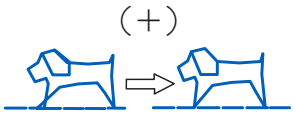
❷ ミシン底部にあるバランス調整ネジを付属のドライバーで回します。

赤い線と外側のミゾを目安に、少しずつ回して調整してください。

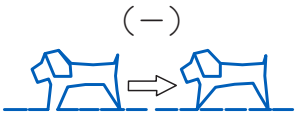


●飾り模様ぬい

右の図のようなときは、バランス調整ネジを（＋）の方向に回します。

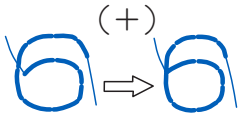


右の図のようなときは、バランス調整ネジを（－）の方向に回します。

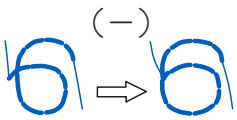


●文字ぬい

右の図のようなときは、バランス調整ネジを（＋）の方向に回します。



右の図のようなときは、バランス調整ネジを（－）の方向に回します。



❸ 試しぬいをして、ぬい目の形の崩れが改善されたか確認します。

改善されるまで調整と確認を繰り返してください。

第 5 章　便利な機能のご紹介

別売り品を使った便利な機能をご紹介します。別売り品を使うと、ソーイングの幅が広がります。お求めは、ミシンお買い上げの販売店にご相談ください。

ルーペのご案内（別売り品）

別売りのルーペを使えば、針穴に糸を通すときなど、針もとを拡大でき見やすくなります。

メモ

お求めは、ミシンお買い上げの販売店にご相談ください。

警告：ケガ防止のために；
ルーペで太陽を見ないでください。失明の危険があります。

注意：火災を防ぐために；
ルーペを太陽光の直接当たる場所に放置しないでください。火災の原因になります。

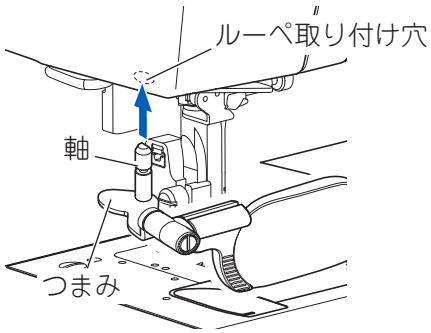
お知らせ

ルーペが取り付けられているときは、糸通し（25 ページ参照）は使用できません。

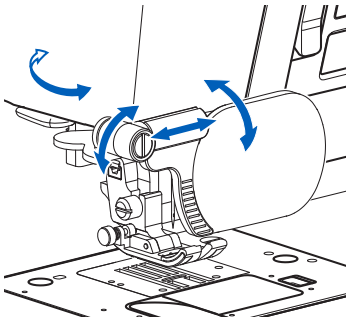
◆取り付け方

❶ ルーペのつまみを持って、軸を面板左下のルーペ取り付け穴に差し込みます。

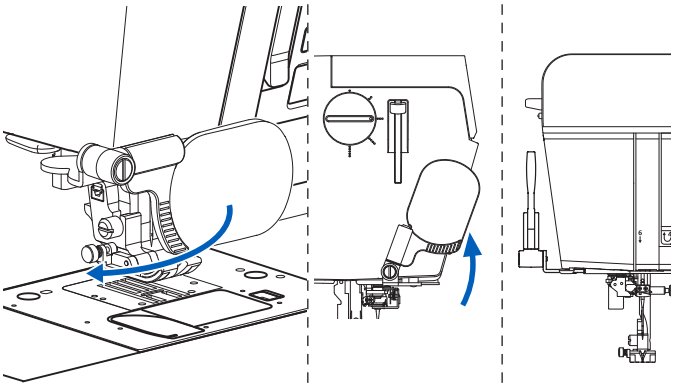
軸がつきあたるまでしっかり差し込んでください。



❷ ルーペを動かして、針もとが見やすい位置に調節します。



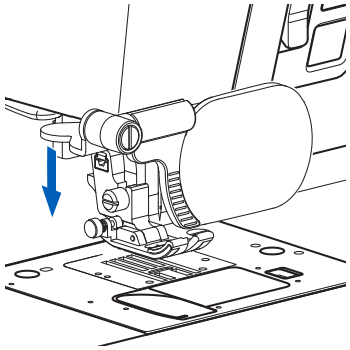
❸ ぬうときは邪魔にならないよう、ルーペを面板横に移動しておきます。



注意：ケガ防止のために；
ルーペを見ながらのぬい作業は危険です。
必ずミシンが停止した状態でお使いください。

◆取り外し方

つまみを持って下に引き抜きます。



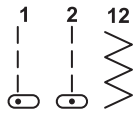
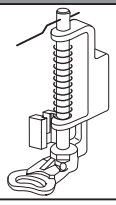
お願い

ミシンカバーをかぶせるときは、必ずルーペを取り外してください。外さないとカバーの中でぶつかります。

キルティング押えのご案内（別売り品）

キルティング押えを使うと曲線ぬいができます。布を手で動かしてぬう方向を自由に変えられます。
キルティング押えを使うときには、ドロップフィードレバーを左にして、送り歯を下げます。

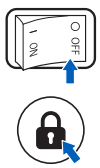
メモ
お求めは、ミシンお買い上げの販売店にご相談ください。

実用ぬい模様	押え
	 キルティング押え

お知らせ
実用ぬい模様 1、2 を使用する場合に、直線用交換針板を使うと、布が針板の穴に沈み込みにくく、よりきれいに仕上げることができます。直線用交換針板の使い方については、43 ページの「薄い布や伸縮性のある布に直線ぬいをする（直線用交換針板の使い方）」を参照してください。

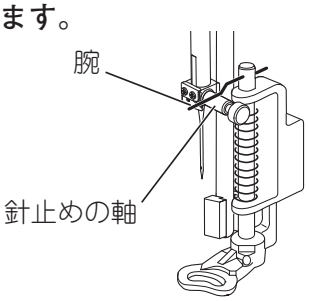
◆取り付け方

注意：ケガ防止のために；
必ず電源スイッチを切るか、ロックボタンでミシンをロックしてから行ってください。

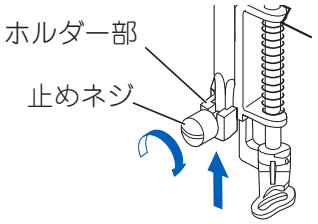


❶ 押えホルダーを取り外します。
27 ページの「押えホルダーの取り外し・取り付け」を参照してください。

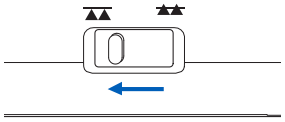
❷ 押えの腕が、針止めの軸の上にくるように取り付けます。



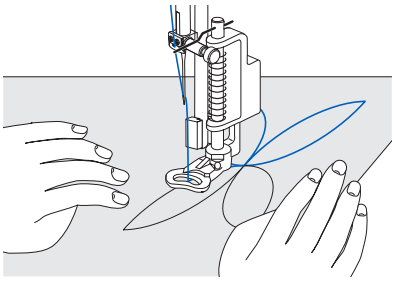
❸ 押えのホルダー部を上に持ち上げながら、押えホルダー止めネジをしっかりとしめます。



❹ ドロップフィードレバーを左にして、送り歯を下げます。



◆ぬい方



❶ 布に模様を下書きします。
薄い紙に書いて、布にのせる方法もあります。その場合は、ぬい終わってから紙を取り除きます。

❷ 布を押えの下に入れ、押えを下げます。
押えは始めは浮いていますが、ぬい始めると針と一緒に上下に動き出します。

❸ スピードをゆっくりにします。

❹ 下絵にそって布を動かしてぬいます。

注意：ケガ防止のために；
手が針に触れないよう、十分注意してください。

メモ
ぬい終わったら、ドロップフィードレバーを右に戻して送り歯を上げておいてください。

上送り押えのご案内（別売り品）

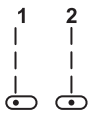
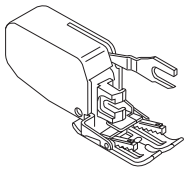
くっつきやすい布地や伸びる布地、すべりやすい布地をぬうときに使います。上送り押えを使うと、重ねた布地がずれることなく送られ、きれいで均一なぬい目でぬうことができます。

次のような布地にお使いください。

- 格子じまやしま地
- ビニール、レザーや、つやのある布地
- パイル地、けば立った布地
- ベルベットやとくにすべりやすい化繊地
- 長いぬい合わせに…

メモ

お求めは、ミシンお買い上げの販売店にご相談ください。

実用ぬい模様	押え
	 上送り押え

注意：ケガ防止のために；

上送り押えは、必ず実用ぬい模様 1、2（）だけにお使いください。

お知らせ

直線用交換針板を使うと、布が針板の穴に沈み込みにくく、よりきれいに仕上げることができます。直線用交換針板の使い方については、43 ページの「薄い布や伸縮性のある布に直線ぬいをする（直線用交換針板の使い方）」を参照してください。

◆取り付け方

注意：ケガ防止のために；

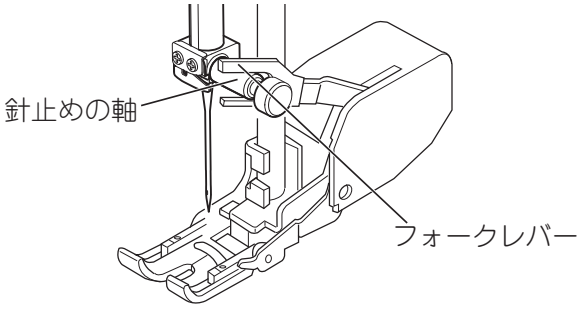
必ず電源スイッチを切るか、ロックボタンでミシンをロックしてから行ってください。



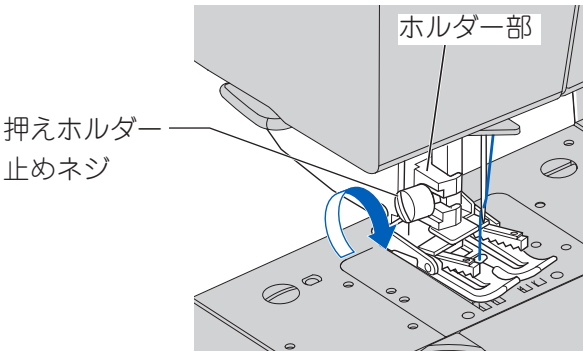
❶ 押えホルダーを取り外します。

27 ページの「押えホルダーの取り外し･取り付け」を参照してください。

❷ 上送り押えのフォークレバーを針止めの軸にかけます。

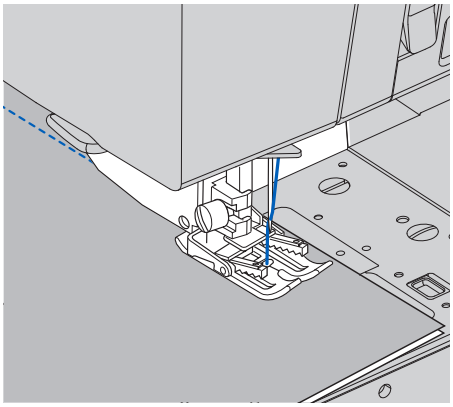


❸ 押えのホルダー部を押え棒に後ろから取り付け、押えホルダー止めネジをしっかりとしめます。



◆ぬい方

スピードをゆっくりにしてぬってください。

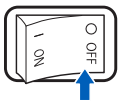


刺しゅう機のご案内（別売り品）

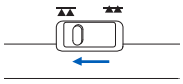
このミシンは、別売りの刺しゅう機を取り付けることによって、美しい刺しゅうぬいを簡単に楽しむことができます。
刺しゅう機には、作品のアクセントになるさまざまな刺しゅうや、名前によく使われる漢字などの文字刺しゅうをたくさん内蔵しています。（内蔵している模様や文字は、機種により異なります）
また、USB メモリ対応機種では、対応している刺しゅうデータを USB メモリに保存し、刺しゅう機に読み込んで刺しゅうすることもできます。
詳しくは、ミシンお買い上げの販売店、またはお客様相談係にお問い合わせください。

◆取り付けの準備

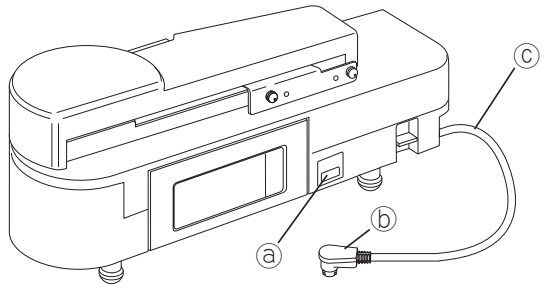
- ミシンの電源スイッチを切ってください。



- ミシンのドロップフィードレバーを左にして、送り歯を下げてください。



◆刺しゅうモードの概要

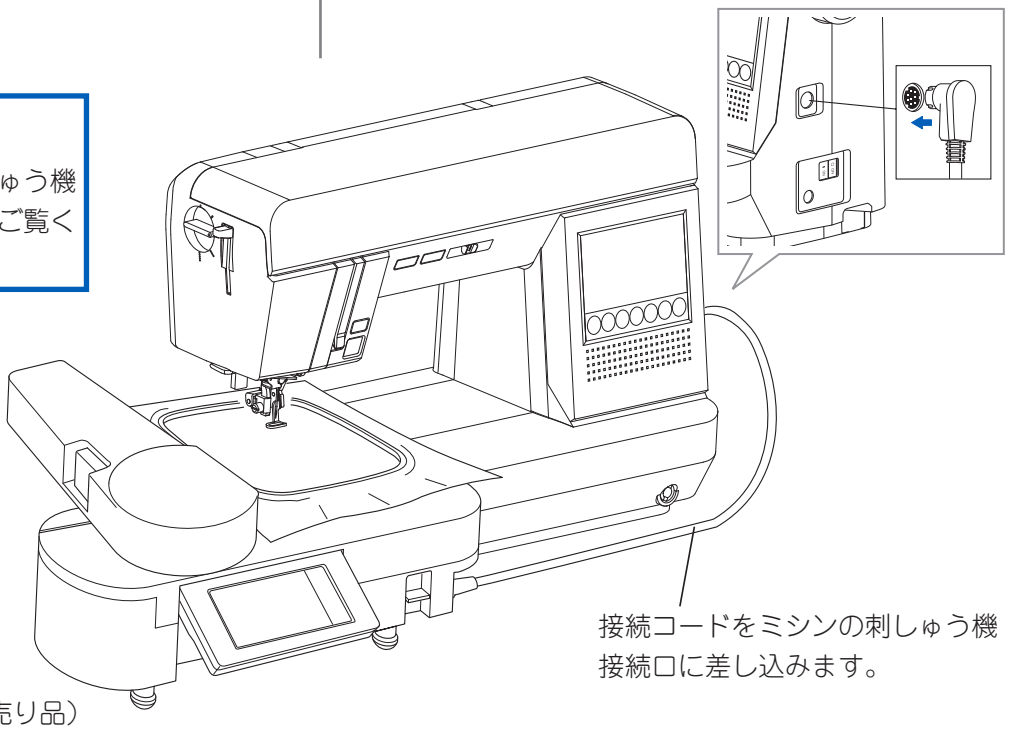


ⓐ USB メモリ差し込み口
ⓑ 接続プラグ
ⓒ 接続コード

お願い

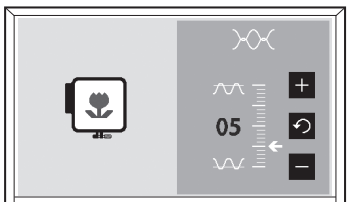
詳しい取り付け方法は、刺しゅう機に付属の「使用の手びき」をご覧ください。

注意：ケガ防止のために；
刺しゅう機の取り付けは、必ず電源スイッチを切ってから行ってください。



接続コードをミシンの刺しゅう機接続口に差し込みます。

刺しゅう機を取り付けた後ミシンの電源を入れると、以下のようにミシンが刺しゅうモードに切り替わります。



- ミシンの案内窓の表示が、刺しゅうモードの表示に切り替わります。糸調子が表示され、その調節は機能ボタンでできるようになります。
- ミシンの操作は、糸調子の調節の他にスタートストップ、糸切り、針上下／クイックスロー、スピード調節、下糸巻き、ロックの設定／解除ができます。
- 針停止位置は上に、針位置は左になります。
- 直線用交換針板を使うと、よりきれいに仕上がる場合があります。

お願い

詳しい使い方は、刺しゅう機に付属の「使用の手びき」をご覧ください。

◆取り外しの注意点

刺しゅうぬいが終わったら、ドロップフィードレバーを右に戻して、送り歯を上げてください。

お願い

詳しい取り外し方法は、刺しゅう機に付属の「使用の手びき」をご覧ください。

第 6 章　お手入れ方法／困ったときには

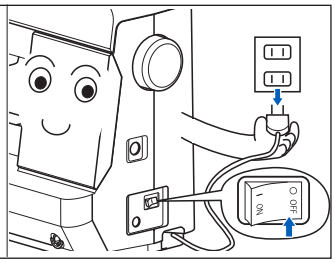
ミシンを快適に使っていただくための日頃のお手入れ方法や、困ったことが起きたときの対処方法を説明します。

お手入れ方法

糸くずやほこりがたまると、ぬい上がりを悪くしたり、故障の原因にもなります。いつも清潔にしておいてください。

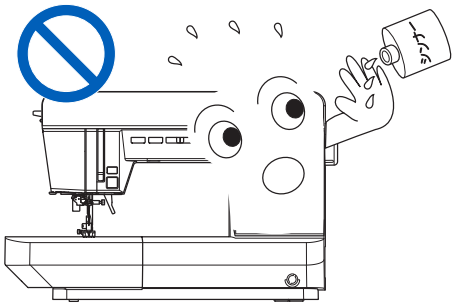
> **お知らせ**
> このミシンのライトには、長寿命の LED ライトを使用しています。もし、ライトが切れた場合には、ミシンお買い上げの販売店にご相談ください。

> **警告；感電、ケガ防止のために；**
> お手入れの際は、必ず電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。



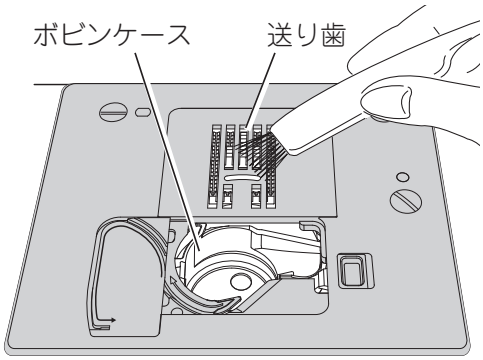
◆ミシン表面、ミシンカバーの掃除

ミシンが汚れた場合は、やわらかい布に中性洗剤を少量含ませて、よくふき取ってください。
シンナーやベンジンなどでふかないでください。



◆ボビンケースの掃除

ボビンカバーとボビンを取り外し、ブラシなどで掃除してください。



> **お願い**
> 外がまやボビンケースには、油をささないでください。

◆外がまと送り歯の掃除（針板の取り外し・取り付け）

定期的に針板を外して、中の外がまや送り歯を掃除してください。作業しやすいように、はじめに針と押えを上げておきます。

> **注意：ケガ防止のために**
> 針板を外すと、送り歯の左下に糸切り装置があります。この内部には糸を切るための鋭利な部品が使われています。安全のため、糸切り装置には、直接指で触らないでください。

❶ 補助テーブルと針、押えホルダーを取り外します。

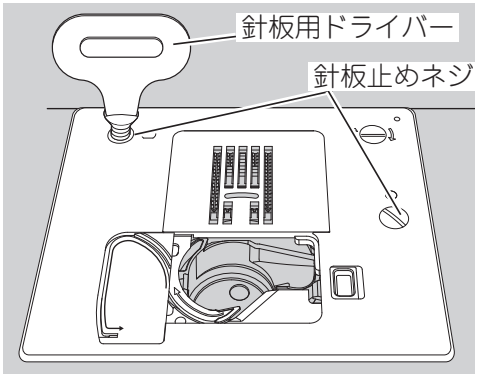
取り外し方はそれぞれ以下のページを参照してください。

- 補助テーブル
  9 ページの「補助テーブルの取り外し方」
- 針
  29 ページの「針の取りかえ方」
- 押えホルダー
  27 ページの「押えホルダーの取り外し・取り付け」

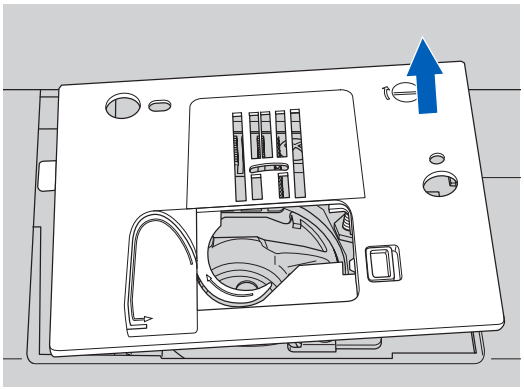
❷ ボビンカバーとボビンを取り外します。

20 ページの「ボビンの取り出し方」を参照してください。

❸ **針板止めネジ２本を外します。**

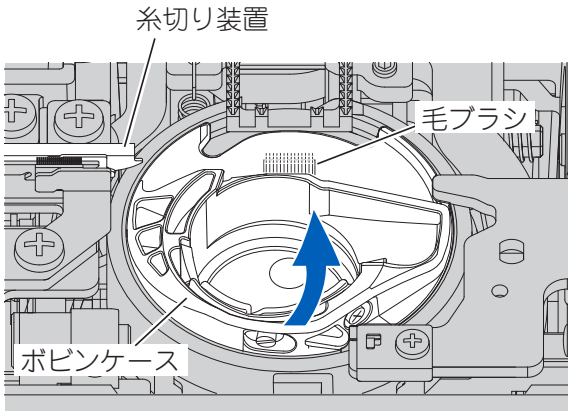


❹ **針板の右側を持ち上げて、針板を取り外します。**



❺ **ボビンケースの手前を上に持ち上げて取り出します。**

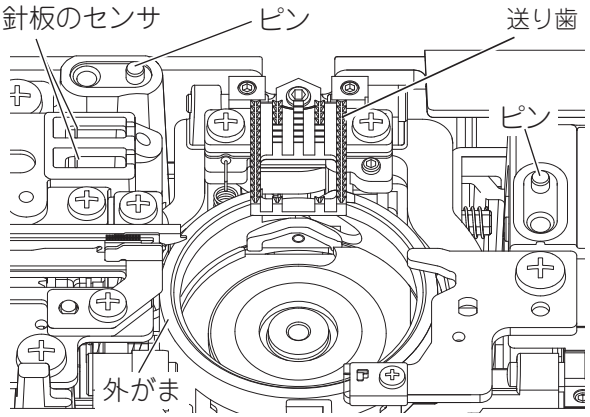
> ⚠ **注意：ケガ、故障を防ぐために；**
> - 糸切り装置に触らないでください。ケガをする恐れがあります。
> - 毛ブラシは取らないでください。



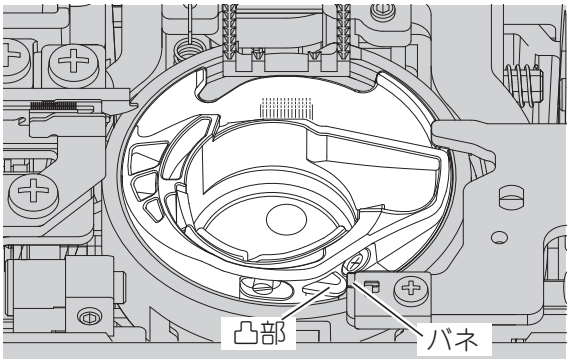
❻ **外がまと送り歯のまわりを掃除します。**

メモ
- 掃除機を使うときれいになります。
- ボビンケースの汚れはかわいた布で軽くふき取ります。

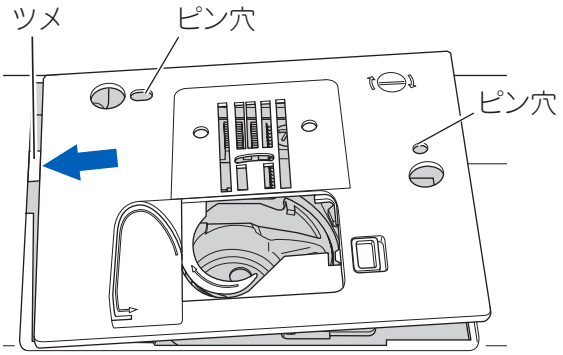
> ⚠ **注意：ケガ、故障を防ぐために；**
> 針板のセンサに触らないでください。センサが破損する恐れがあります。



❼ **ボビンケースを外がまの中に手前からすべり込ませます。**
ボビンケースの凸部が回転止めのバネに当たるようにします。



❽ **針板左側のツメをミシン本体に差し込み、針板のピン穴をミシンのピン（手順６の図参照）に合わせて取り付けます。**



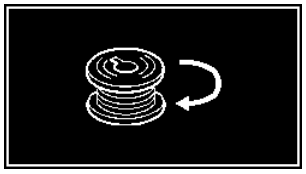
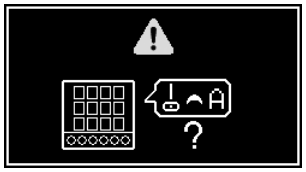
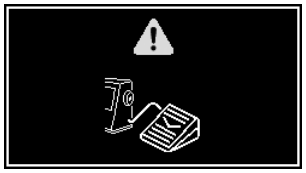
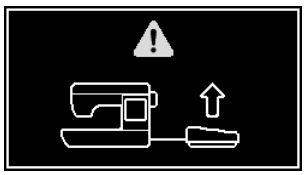
❾ **針板止めネジを取り付けます。**

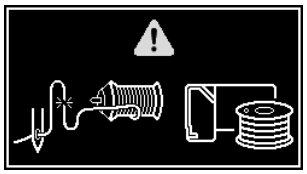
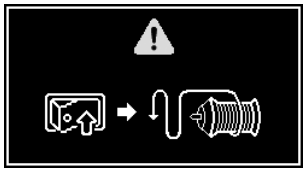
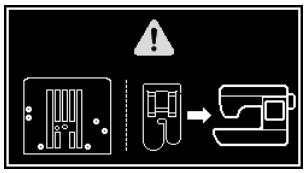
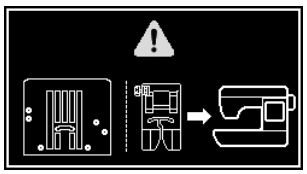
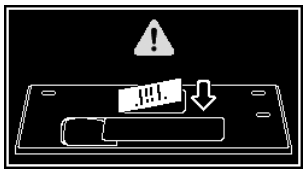
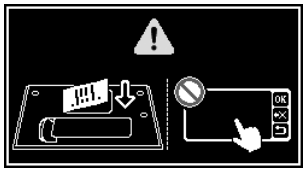
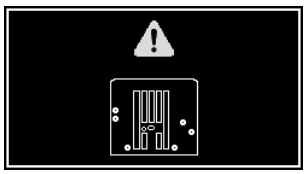
困ったときには

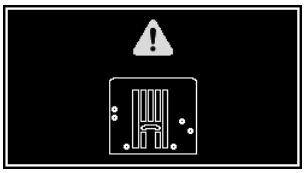
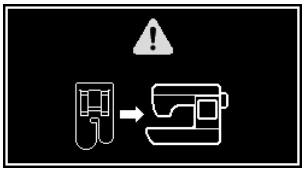
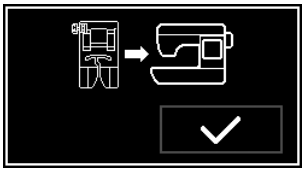
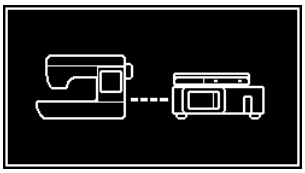
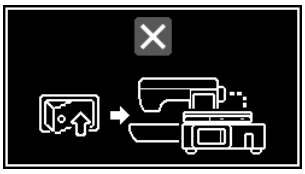
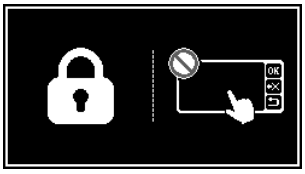
ミシンを使っていて困ったことが起きたときの対処方法です。

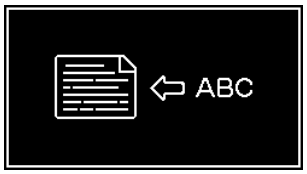
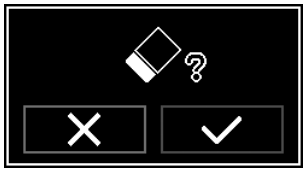
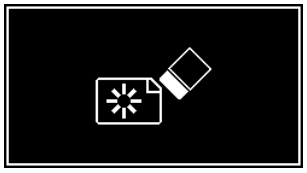
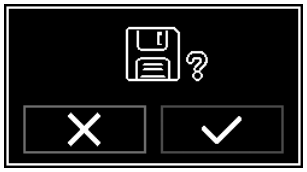
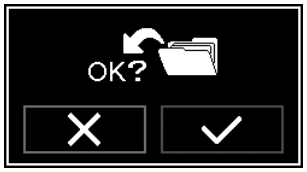
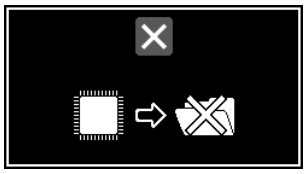
◆お知らせメッセージ

ミシンが正しくない状態でスタートしようとしたときや、間違った操作をしたときには、ピピピッと警告音が鳴って案内窓にメッセージが表示されます。必要な処置を行ってください。（操作音が鳴らないように設定した場合は鳴りません。詳しくは 14 ページの「設定ボタン」を参照してください）

	メッセージ	原因	処置	参照ページ
1		下糸巻き中。または、糸巻き軸が右に押されている	糸巻き軸を左に戻します。下糸巻き中の場合は、下糸巻き完了後に左に戻します	22
2		模様を選ばないでスタートしようとしている	模様を選んでください	30, 69
3		押えを上げたままスタートさせようとしている	布地を入れ、押えを下げてぬってください	12, 36
4		ボタンホール、かん止め、つくろいぬいをぬい終わったのに、もう一度スタートさせようとしている	押えを上げ、ボタンホール押えをぬい始めの位置に正しくセットしてから押えを下げます	56, 58, 62
5		ボタンホールレバーを下げないでボタンホールやかん止め、つくろいぬいをスタートしている	ボタンホールレバーを下げてください	55, 58, 61
6		フットコントローラーが接続されているのに、スタート・ストップボタンを押した	コントローラーで操作するか、コントローラーを外してください	18
7		フットコントローラーのペダルを踏んだまま電源スイッチを入れたか、止めぬい、ボタンホールぬいをぬい終わったのにペダルを踏んでいる	ペダルを放してください	18
8		スタート・ストップボタンを押したまま電源スイッチを入れた	スタート・ストップボタンを放してください	12
9		返しぬいボタンを押したまま電源スイッチを入れた	返しぬいボタンを放してください	12

	メッセージ	原因	処置	参照ページ
10		針上下／クイックスローボタンを押したまま電源スイッチを入れた	針上下／クイックスローボタンを放してください	12
11		糸切りボタンを押したまま電源スイッチを入れた	糸切りボタンを放してください	12
12		飾り模様・文字を 60 個を超えて選ぼうとしている	飾り模様・文字は 60 個以内で選んでください	70
13		上糸や下糸が切れたか、無くなった。または、糸のかけ方がおかしい	上糸または下糸を正しくかけ直してください	22, 23
14		糸切り動作のエラー	電源スイッチを切り、上糸と下糸をかけ直してください	18, 22, 23
15		直線用交換針板が取り付けられた	・直線用交換針板を使用できる模様は、実用ぬい模様 1 ～ 4、7 ～ 11 です。模様に合った押えが取り付けられているか、確認してください。 ・ふちかがり押え、ボタンホール押えは使用できません	41, 43, 45, 46, 63, 67, 68, 94, 95
16		標準交換針板が取り付けられた	模様に合った適切な押えが取り付けられているか確認してください	41 ～
17		標準交換針板または直線用交換針板が外されている	どちらか適切なほうの交換針板を取り付けてください。カチッという音がするまで、きちんとはめ込んでください	43 ～
18		刺しゅうモードの状態で、標準交換針板または直線用交換針板が外されている ※刺しゅう機（別売り品）接続時のみ表示	どちらか適切なほうの交換針板を取り付けてください。カチッという音がするまで、きちんとはめ込んでください	43, 96
19		直線用交換針板が取り付けられた状態で、基本ぬいボタンのジグザグぬい、ボタンホールぬい、または飾り模様・文字ボタン、メモリー読み出しボタンがタッチされた	直線用交換針板を使用しているときは、ジグザグぬい、ボタンホールぬい、飾り模様・文字ぬいはできません。標準交換針板に交換してください	43

メッセージ		原因	処置	参照ページ
20		刺しゅうモードの状態で、標準交換針板が取り付けられた ※刺しゅう機（別売り品）接続時のみ表示	直線用交換針板から標準交換針板に交換されたことをお知らせします	43, 96
21		直線用交換針板が取り付けられた状態で、左基線の直線ぬいから中基線の直線ぬいに模様を変更した	直線押えが取り付けられているか確認してください	43
22		直線用交換針板が取り付けられた状態で、中基線の直線ぬいから左基線の直線ぬいに模様を変更した	ジグザグ押えが取り付けられているか確認し、「✓」をタッチしてください	43
23		ミシンと刺しゅう機の接続を確認している ※刺しゅう機（別売り品）接続時のみ表示	ミシンに刺しゅう機を取り付けると、接続の確認が行われます。数秒後に自動的にメッセージが消えます	96
24		ミシンと刺しゅう機の接続に問題が発生した ※刺しゅう機（別売り品）接続時のみ表示	ミシンの電源を切り、刺しゅう機を接続し直してください	96
25		ロックが作動中	• ロックボタンをタッチしたため、ロックが作動しています。ロックボタン以外の操作はできません • ロック作動中はメッセージが表示され続けます • ロックを解除する場合は、安全を確認し、再度ロックボタンをタッチしてください	16
26		刺しゅうモードの状態で、ロックが作動中 ※刺しゅう機（別売り品）接続時のみ表示	• ロックボタンをタッチしたため、ロックが作動しています。ロックボタン以外の操作はできません • ロック作動中はメッセージが表示され続けます • ロックを解除する場合は、安全を確認し、再度ロックボタンをタッチしてください	16, 96
27		ロックが作動中にロックボタンをタッチしたため、ロック解除の確認メッセージが表示された	ロックを解除する場合は「✓」を、解除をとりやめる場合は「✕」をタッチしてください	16

	メッセージ	原因	処置	参照ページ
28		メモリーへの飾り模様・文字の保存を完了した	保存が正常に完了したことをお知らせします	77
29		メモリーに保存した飾り模様・文字を消去しようとしたため、消去するかどうかの確認メッセージが表示された	消去する合は「✓」を、消去しない場合は「✕」をタッチしてください	80
30		メモリーに保存した飾り模様・文字の消去を完了した	消去が正常に完了したことをお知らせします	80
31		メモリーに飾り模様・文字を保存するときに、すでにデータが保存されているファイルを選択したため、上書きするかどうかの確認メッセージが表示された	上書きする合は「✓」を、上書きしない場合は「✕」をタッチしてください	77
32		飾り模様・文字を選択した状態で、メモリーに保存したデータを読み出そうとしたため、置き換えるかどうかの確認メッセージが表示された	読み出した飾り模様・文字に置き換える場合は「✓」を、置き換えない場合は「✕」をタッチしてください	78
33		コンピュータのエラー	電源スイッチを入れ直してください。それでも同じメッセージが表示される場合は、修理・サービスをお申しつけください	18, 125
34		コンピュータのエラー	ミシン内部の糸巻きスイッチが故障しています。修理・サービスをお申しつけください	125
35		コンピュータのエラー	電源スイッチを入れ直してください。それでも同じメッセージが表示される場合は、修理・サービスをお申しつけください	18, 125

◆トラブルシューティング

ミシンの調子が悪い場合は、次のことを確かめてみてください。
それでも改善されない場合や、ここに記載されている以外の不調、部品の交換、電気系統の故障の修理サービスについては、ご購入店または「お客様相談係」（125 ページ参照）におたずねください。

不調の状態	原因	処置	参照ページ
1 **上糸が切れる**	糸のかけ方が間違っている ボビンケースに糸がからまっている 針の取り付け方が間違っている 糸調子が強すぎる 布地に対して糸が弱すぎる	正しくかけ直します からんだ糸を取りのぞき掃除します 正しく付け直します 適切な糸調子に調節してください 布地と糸、針の関係を合わせます	23 97 29 34, 74 28
2 **下糸が切れる**	ボビンのセットが間違っている ボビンケースに糸がからまっている 外がまにゴミがたまっている	正しくセットし直します からんだ糸を取りのぞき掃除します 掃除します	22 97 97
3 **ぬい目がとぶ**	針の取り付け方が間違っている 針が曲がっているか、先がつぶれている 布地に対して糸と針が合っていない	正しく付け直します 針を取りかえます 布地と糸、針の関係を合わせます（伸縮性の布地には、ニット針を使用してください）	29 29 28
4 **ぬい目にしわがよる**	糸のかけ方が間違っている ボビンのセットが間違っている 針の先がつぶれている 糸調子が強すぎる	正しくかけ直します 正しくセットし直します 針を取りかえます 適切な糸調子に調節してください	23 22 29 34, 74
5 **ぬい目に輪ができる**	ボビンのセットが間違っている 糸のかけ方が間違っている 糸調子が正しく調節されていない	正しくセットし直します 正しくかけ直します 適切な糸調子に調節してください	22 23 34, 74
6 **模様がくずれる**	模様に対して押えが合っていない 上糸と下糸の糸調子のバランスが崩れている 正送りと逆送りのバランスが崩れている	模様に合った押えを取り付けます 上糸の糸調子を調節してください 正送りと逆送りのバランスを調整してください	41 ～ 34, 74 92
7 **模様を選べない**	直線用交換針板が取り付けられている	直線用交換針板を使用できる模様（実用ぬい模様 1 ～ 4、7 ～ 11）を選ぶか、標準交換針板に交換してください	43, 105
8 **糸通しができない**	針が上に上がっていない 針の取り付け方が間違っている 針が曲がっている	針上下ボタンまたはハズミ車で針を上に上げます 正しく付け直します 針を取りかえます	12, 13 29 29
9 **布地を送らない**	ぬい目長さが布地に合っていない 送り歯が下がっている 送り歯にほこりがかたまっている	ぬい目長さを調整します ドロップフィードレバーを右にして、送り歯を上げます 掃除します	28, 32 13 97

不調の状態	原因	処置	参照ページ
10 **針が折れる**	布地を無理に引っ張っている 模様に対して押えが合っていない（針が押えにあたっている） 針の取り付け方が間違っているか、しめ方がゆるい 布に対して針が細すぎる	手は布地にそえるだけにします 模様に合った押えを取り付けます 正しく付け直します 布地と糸、針の関係を合わせます	36 41 ～ 29 28
11 **回転が重く音が高い**	外がまや送り歯にゴミがたまっている	針板を外して掃除します	97
12 **ミシンが動かない**	電源プラグの差し込みが不十分である 電源スイッチが入っていない 上糸または下糸が切れたか、なくなった フットコントローラーが取り付けてある	しっかり差し込みます スイッチを入れます 上糸または下糸をかけ直します フットコントローラーで操作するか、フットコントローラーを外します	18 18 22, 23 18
●お知らせランプ **…緑に点灯** **…赤く点灯**	糸巻き軸が右へ押されている ・模様を選んでいない ・押えが上がっている ・ロックが作動したままになっている ボタンホールぬい、玉ぶちボタンホールぬい、かん止めぬい、つくろいぬいで： ・ボタンホールレバーがきちんと下がっていない ・ボタンホール押えが取り付けられていない	左へ戻します ・模様を選びます ・押えを下げます ・安全を確認し、ロックを解除します ・きちんと下げます ・ボタンホール押えを取り付けます	22 30, 69 12 16 55, 58, 61 54, 58, 60

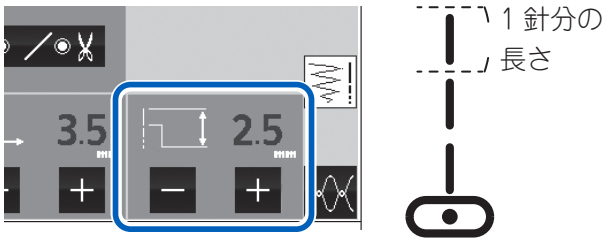
模様一覧

このミシンでぬえる模様の一覧です。

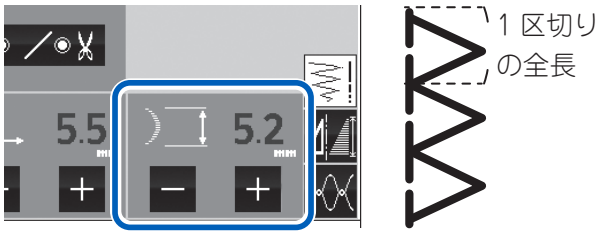
◆ぬい目長さについて

- ぬい目長さは、模様によって、模様の 1 針分の長さを指す場合と模様の全長を指す場合とがあり、調整の意味合いが異なります。また、画面に表示されるぬい目長さのマークも異なります。詳しくは 32 ページを参照してください。
- 模様一覧で模様が青色で表示された部分は、ぬい目長さが模様の全長を指す場合の模様の区切りを意味します。

1 針分の長さの場合



模様（1 区切り）の全長の場合



◆実用ぬい

実用ぬいの模様の選び方は、30 ページの「実用ぬいの模様の選び方」を参照してください。
ふり幅とぬい目長さの単位は「mm」です。
模様の青色で表示された部分は、ぬい目長さが模様の全長を指す場合の模様の区切りです。
自動設定値は、画面上では緑色の数字で表示されます。
ふり幅とぬい目長さは、手動で調節することもできます。
直線ぬい（実用ぬい模様 1, 2, 3, 6, 7）は、ふり幅のかわりに、ぬうときの針の位置を左右に変えることができます。
詳しくは、31 ページの「ぬい目のふり幅／長さ」を参照してください。

> お知らせ
> - 白抜きの番号の模様は、基本ぬいの模様です。基本ぬいについては、30 ページの「基本ぬいの模様の選び方」を参照してください。
> - かっこ（）内の数値は変更できません。
> - ボタンホール（実用ぬい模様 50 - 60）、かん止め（実用ぬい模様 61）、つくろいぬい（実用ぬい模様 62）以外の模様は、レザー押えを使用できます。
> - 改良のため、設定値は変わることがあります。

*1 直線用交換針板を使用できます。詳細は、43 ページの「薄い布や伸縮性のある布に直線ぬいをする（直線用交換針板の使い方）」を参照してください。
*2 直線押え、ファスナー押えを使用するときは、ふり幅を自動設定値にしてください。詳細は、43 ページの「薄い布や伸縮性のある布に直線ぬいをする（直線用交換針板の使い方）」、63 ページの「ファスナーを付ける（つき合わせ・脇あき）」を参照してください。
*3 ふちかがりぬい／たち目かがりぬいでふちかがり押えを使用するときは、ふり幅を自動設定値以上にしてください。詳細は、48 ページの「布地のたち目をかがる（ふちかがりぬい／たち目かがりぬい）」を参照してください。
*4 ふり幅の設定値によって押えを使い分けてください。詳細は、48 ページの「布地のたち目をかがる（ふちかがりぬい／たち目かがりぬい）」を参照してください。
*5 反転／伸長の設定によって、適切な押えが変わります。案内窓に表示される押えを使用してください。

模様	主な用途	押え	ふり幅（針位置）自動設定値 最小値 - 最大値	ぬい目長さ 自動設定値 最小値 - 最大値		返しぬい・止めぬいの内蔵	反転 左右 / 上下 / 上下左右	伸長（2 倍）	参照ページ
1 *1	直線ぬい（左基線）ピンタック	ジグザグ押え（H）	0.0 0.0 - 7.0	1 針	2.5 0.8 - 5.0	-	-	-	41, 43, 67
2 *1	直線ぬい（中基線）ピンタック ファスナー付け	ジグザグ押え（H）	3.5 0.0 - 7.0	1 針	2.5 0.8 - 5.0	-	-	-	41, 43, 63, 67
		直線押え	3.5 *2						
		ファスナー押え（E）							
3 *1	自動返しぬい付直線ぬい（左基線）	ジグザグ押え（H）	0.0 0.0 - 7.0	1 針	2.5 0.8 - 5.0	返しぬい	-	-	41, 42, 43
4 *1	自動返しぬい付直線ぬい（中基線）	ジグザグ押え（H）	3.5 0.0 - 7.0	1 針	2.5 0.8 - 5.0	返しぬい	-	-	41, 42, 43
		直線押え	3.5 *2						
5	伸縮ぬい	ジグザグ押え（H）	(0.0) -.-	1 針	2.5 1.2 - 5.0	-	-	-	45
6	伸縮ぬい	ジグザグ押え（H）	(3.5) -.-	1 針	2.5 1.2 - 5.0	-	-	-	45
7 *1	伸縮強化ぬい	ジグザグ押え（H）	0.0 0.0 - 7.0	1 針	2.5 1.2 - 5.0	-	-	-	43, 45
8 *1	伸縮強化ぬい	ジグザグ押え（H）	3.5 0.0 - 7.0	1 針	2.5 1.2 - 5.0	-	-	-	43, 45
		直線押え	3.5 *2						
9 *1	手ぬい風キルトステッチ	ジグザグ押え（H）	0.0 0.0 - 7.0	1 針	3.0 2.0 - 4.0	-	-	-	43, 46
10 *1	手ぬい風キルトステッチ	ジグザグ押え（H）	3.5 0.0 - 7.0	1 針	3.0 2.0 - 4.0	-	-	-	43, 46
		直線押え	3.5 *2						
11 *1	手ぬい風キルトステッチ	ジグザグ押え（H）	3.5 0.0 - 7.0	1 針	5.0 1.2 - 5.0	-	-	-	43, 46
		直線押え	3.5 *2						
12	ジグザグぬい アップリケ	ジグザグ押え（H）	5.0 2.0 - 6.0	1 針	2.0 0.0 - 2.5	-	-	-	46, 48, 49
	ふちかがりぬい／たち目かがりぬい	ふちかがり押え（C）	5.0 - 6.0 *3						

模様	主な用途	押え	ふり幅（針位置）自動設定値 最小値 - 最大値	ぬい目長さ 自動設定値 最小値 - 最大値		返しぬい・止めぬいの内蔵	反転 左右 / 上下 / 上下左右	伸長（2倍）	参照ページ
13	ジグザグぬい（密着ぬい）	サテン押え（B）	2.5 2.0 - 6.0	1針	0.4 0.3 - 1.0	-	-	-	46
14	点線ジグザグぬい ふちかがりぬい／たち目かがりぬい	ジグザグ押え（H）	5.0 2.5 - 7.0	1針	1.0 0.4 - 2.0	-	-	-	47, 49
15	伸縮強化ぬい	ジグザグ押え（H）	5.0 2.0 - 6.0	1針	2.6 1.3 - 2.6	-	-	-	45
16	飾りぬい（実用）	ジグザグ押え（H）	5.0 2.0 - 6.0	1針	3.4 1.7 - 3.4	-	-	-	62
17	ふちかがりぬい／たち目かがりぬい *4	サテン押え（B）*5	5.5 4.0 - 7.0	全長	5.2 2.6 - 5.2	-	左右	-	48
		ふちかがり押え（C）	5.5 - 7.0 *3				-		
		ジグザグ押え（H）	4.0 - 7.0						
18	ふちかがりぬい／たち目かがりぬい *4	サテン押え（B）*5	5.5 4.0 - 7.0	全長	5.2 2.6 - 5.2	-	-	2倍	48
		ふちかがり押え（C）	5.5 - 7.0 *3					-	
		ジグザグ押え（H）	4.0 - 7.0						
19	ふちかがりぬい／たち目かがりぬい *4	サテン押え（B）*5	5.5 4.0 - 7.0	全長	2.6 1.3 - 2.6	-	左右	-	48
		ふちかがり押え（C）	5.5 - 7.0 *3				-		
		ジグザグ押え（H）	4.0 - 7.0						
20	ふちかがりぬい／たち目かがりぬい *4	サテン押え（B）*5	4.5 4.0 - 7.0	全長	4.8 3.6 - 7.2	-	左右	-	48
		ふちかがり押え（C）	4.5 - 7.0 *3				-		
		ジグザグ押え（H）	4.0 - 7.0						
21	ふちかがりぬい／たち目かがりぬい *4	サテン押え（B）*5	5.0 4.0 - 7.0	1針	2.6 0.8 - 2.6	-	上下左右	2倍	48
		ふちかがり押え（C）	5.0 - 7.0 *3				-	-	
		ジグザグ押え（H）	4.0 - 7.0						
22	ふちかがりぬい／たち目かがりぬい	ジグザグ押え（H）	7.0 4.0 - 7.0	全長	3.8 2.6 - 5.2	-	-	-	49
23	飾りぬい（実用）	サテン押え（B）	5.5 4.0 - 7.0	全長	5.2 2.6 - 5.2	-	左右	-	62

模様	主な用途	押え	ふり幅（針位置）自動設定値 最小値 - 最大値	ぬい目長さ 自動設定値 最小値 - 最大値		返しぬい・止めぬいの内蔵	反転 左右 / 上下 / 上下左右	伸長（2 倍）	参照ページ
24	まつりぬい／ブラインドステッチ	サテン押え（B）*5	3.0 1.0 - 7.0	1 針	1.8 0.8 - 2.5	-	左右	-	50
		まつりぬい（ブラインド）押え（D）					-		
25	まつりぬい／ブラインドステッチ	サテン押え（B）*5	3.0 2.0 - 6.0	1 針	1.8 0.8 - 2.5	-	左右	-	50
		まつりぬい（ブラインド）押え（D）					-		
26	パッチワーク	ジグザグ押え（H）	6.0 4.0 - 7.0	全長	7.4 3.7 - 7.4	-	上下	2 倍	66
27	飾りぬい（実用）	サテン押え（B）	7.0 4.0 - 7.0	全長	9.6 4.8 - 9.6	-	上下	-	62
28	飾りぬい（実用） パッチワーク	ジグザグ押え（H）	7.0 4.0 - 7.0	全長	10.0 5.0 - 10.0	-	-	-	62, 66
29	飾りぬい（実用）	ジグザグ押え（H）	5.5 4.0 - 7.0	全長	5.2 2.6 - 5.2	-	上下	2 倍	62
30	アップリケ	ジグザグ押え（H）	5.0 1.0 - 7.0	全長	5.2 2.6 - 5.2	-	左右	2 倍	48
31	スカラップステッチ	ジグザグ押え（H）	7.0 4.0 - 7.0	1 針	1.6 0.4 - 2.0	-	左右	2 倍	65
32	スカラップステッチ	ジグザグ押え（H）	7.0 4.0 - 7.0	全長	18.0 9.0 - 18.0	-	左右	-	65
33	飾りぬい（実用）	サテン押え（B）	6.0 4.0 - 7.0	全長	5.0 2.5 - 5.0	-	-	2 倍	62
34	飾りぬい（実用）	サテン押え（B）	4.0 2.0 - 6.0	全長	5.2 2.6 - 5.2	-	-	2 倍	62
35	飾りぬい（実用）	サテン押え（B）	(5.0) -.-	1 針	(2.6) -.-	-	-	-	62
36	飾りぬい（実用）	サテン押え（B）	5.0 1.0 - 7.0	1 針	2.6 0.8 - 2.6	-	左右	-	62

模様	主な用途	押え	ふり幅（針位置）自動設定値 最小値 - 最大値	ぬい目長さ 自動設定値 最小値 - 最大値		返しぬい・止めぬいの内蔵	反転 左右 / 上下 / 上下左右	伸長（2 倍）	参照ページ
37	飾りぬい（実用）	サテン押え（B）	5.0 1.0 - 7.0	1 針	2.6 0.8 - 2.6	-	上下 左右	2 倍	62
38	飾りぬい（実用）	ジグザグ押え（H）	5.0 1.0 - 7.0	全長	7.8 2.4 - 7.8	-	上下	2 倍	62
39	飾りぬい（実用）	サテン押え（B）	5.0 1.0 - 7.0	全長	5.2 2.6 - 5.2	-	左右	-	62
40	飾りぬい（実用）	サテン押え（B）	5.0 4.0 - 7.0	全長	2.6 1.3 - 2.6	-	-	2 倍	62
41	飾りぬい（実用）	サテン押え（B）	7.0 4.0 - 7.0	全長	3.8 1.9 - 3.8	-	-	-	62
42	飾りぬい（実用）	サテン押え（B）	7.0 4.0 - 7.0	全長	7.4 3.7 - 7.4	-	左右	-	62
43	飾りぬい（実用）	サテン押え（B）	7.0 4.0 - 7.0	全長	12.0 6.1 - 12.0	-	-	-	62
44	飾りぬい（実用）	ジグザグ押え（H）	4.0 2.0 - 6.0	全長	6.0 4.8 - 15.0	-	-	-	62
45	飾りぬい（実用）	ジグザグ押え（H）	5.0 4.0 - 7.0	全長	12.0 9.6 - 60.0	-	-	-	62
46	飾りぬい（実用）	サテン押え（B）	7.0 4.0 - 7.0	全長	11.0 5.4 - 11.0	-	-	-	62
47	飾りぬい（実用）	サテン押え（B）	7.0 4.0 - 7.0	全長	26.6 13.3 - 26.6	-	-	-	62
48	アイレット（はと目穴）	サテン押え（B）	7.0 5.0 - 7.0	1 針	-.- -.-	止めぬい	-	-	67
49	ボタン付け	ボタン付け押え（別売り品）	3.0 2.0 - 6.0	1 針	-.- -.-	-	-	-	52

模様	主な用途	押え	ふり幅（針位置）自動設定値 最小値 - 最大	ぬい目長さ 自動設定値 最小値 - 最大値		返しぬい・止めぬいの内蔵	ボタン穴の幅 自動設定値 最小値 - 最大値	参照ページ
50	ボタンホール（薄地～普通地）	ボタンホール押え(F)	5.0 3.0 - 6.5	1針	0.5 0.2 - 1.0	止めぬい	0.9 0.3 - 1.5	54
51	ボタンホール（普通地～厚地）	ボタンホール押え(F)	5.0 3.5 - 6.5	1針	0.5 0.3 - 1.0	止めぬい	0.9 0.3 - 1.5	54
52	ボタンホール（普通地～厚地）	ボタンホール押え(F)	5.0 3.5 - 5.0	1針	0.5 0.3 - 1.0	止めぬい	0.9 0.3 - 1.5	54
53	ボタンホール（普通地～厚地）	ボタンホール押え(F)	5.0 3.5 - 5.0	1針	0.5 0.3 - 1.0	止めぬい	0.9 0.3 - 1.5	54
54	ボタンホール（薄地～厚地）	ボタンホール押え(F)	5.0 3.5 - 6.5	1針	0.5 0.2 - 1.0	止めぬい	0.9 0.3 - 1.5	54
55	ボタンホール（薄地～厚地）	ボタンホール押え(F)	5.0 3.5 - 6.5	1針	0.5 0.2 - 1.0	止めぬい	0.9 0.3 - 1.5	54
56	ボタンホール（薄地～厚地）	ボタンホール押え(F)	5.0 3.5 - 6.5	1針	0.5 0.2 - 1.0	止めぬい	0.9 0.3 - 1.5	54
57	飾りボタンホール	ボタンホール押え(F)	5.0 4.0 - 6.5	全長	2.0 1.2 - 2.4	止めぬい	1.5 0.9 - 1.5	54
58	飾りボタンホール	ボタンホール押え(F)	5.0 4.0 - 6.5	全長	2.4 1.6 - 2.8	止めぬい	0.9 0.3 - 1.5	54
59	飾りボタンホール	ボタンホール押え(F)	5.0 4.0 - 6.5	全長	1.2 0.8 - 1.4	止めぬい	0.9 0.3 - 1.5	54
60	玉ぶちボタンホール	ボタンホール押え(F)	6.0 3.0 - 6.0	1針	1.6 1.0 - 2.5	止めぬい	1.6 1.0 - 2.5	58
61	かん止め	ボタンホール押え(F)	2.0 1.0 - 3.0	1針	0.4 0.3 - 1.0	止めぬい	0.4 0.3 - 1.0	60
62	つくろいぬい	ボタンホール押え(F)	(1.8) -.-	1針	(7.0) -.-	止めぬい	(7.0) -.-	60

◆飾り模様・文字ぬい

飾り模様・文字ぬいの選び方は 69 ページの「飾り模様・文字の選び方」を参照してください。
飾り模様の青色で表示された部分は、模様を選んだときに記憶される 1 単位です。また、ぬい目長さが模様の全長を指す場合の模様の区切りです。
飾り模様・文字は 60 個まで記憶することができます。
ひらがな、漢字、アルファベットのグループの[ ]（全角スペース）、[ ]（半角スペース）は、1 文字分空けるときに使います。（1 針ぬい進みます）
ふり幅とぬい目長さの単位は「mm」です。
自動設定値は、画面上では緑色の数字で表示されます。
ふり幅とぬい目長さは、手動で調節することもできます。詳しくは、73 ページの「ぬい目のふり幅／長さ」を参照してください。
ぬい上がりの文字の形状は、模様一覧と少し異なる場合があります。
使用する押えはサテン押えです。

> お知らせ
> - かっこ（）内の数値は変更できません。
> - 改良のため、設定値は変わることがあります。

●飾り模様

模様	ふり幅（針位置） 自動設定値 最小値 - 最大値	ぬい目長さ 自動設定値 最小値 - 最大値		反転 左右／上下／上下左右	伸長 2 倍：2 倍まで可能 5 倍：5 倍まで可能
1	7.0 4.0 - 7.0	全長	12.5 5.9 - 12.5	上下左右	-
2	7.0 4.0 - 7.0	全長	29.8 14.3 - 29.8	-	-
3	5.0 4.0 - 7.0	全長	5.2 2.6 - 5.2	-	-
4	6.5 4.0 - 7.0	全長	10.4 5.2 - 10.4	-	2 倍
5	7.0 4.0 - 7.0	全長	10.4 5.2 - 10.4	-	2 倍
6	7.0 4.0 - 7.0	全長	13.0 6.5 - 13.0	-	2 倍
7	7.0 4.0 - 7.0	全長	11.7 5.6 - 11.7	-	-
8	7.0 4.0 - 7.0	全長	5.2 2.6 - 5.2	-	2 倍
9	7.0 4.0 - 7.0	全長	3.8 1.9 - 3.8	-	2 倍

模様	ふり幅（針位置） 自動設定値 最小値 - 最大値	ぬい目長さ 自動設定値 最小値 - 最大値		反転 左右／上下／上下左右	伸長 2 倍：2 倍まで可能 5 倍：5 倍まで可能
10 	7.0 4.0 - 7.0	 全長	4.4 2.2 - 4.4	-	-
11 	7.0 4.0 - 7.0	 全長	7.0 3.5 - 7.0	-	-
12 	7.0 4.0 - 7.0	 全長	9.6 4.8 - 9.6	-	-
13 	7.0 4.0 - 7.0	 全長	20.0 10.0 - 20.0	-	-
14 	6.0 4.0 - 7.0	 全長	15.2 10.4 -20.8	左右	-
15 	7.0 4.0 - 7.0	 全長	16.4 8.2 - 16.4	-	-
16 	7.0 4.0 - 7.0	 全長	5.2 2.6 - 5.2	-	-
17 	7.0 4.0 - 7.0	 全長	4.8 2.4 - 4.8	-	2 倍
18 	7.0 4.0 - 7.0	 全長	4.0 2.0 - 4.0	-	2 倍
19 	7.0 4.0 - 7.0	 全長	5.2 2.6 - 5.2	-	2 倍
20 	7.0 4.0 - 7.0	 全長	5.0 2.4 - 5.0	-	-
21 	7.0 4.0 - 7.0	 全長	8.2 4.1 - 8.2	-	-
22 	7.0 4.0 - 7.0	 全長	5.6 2.8 - 5.6	左右	-
23 	7.0 4.0 - 7.0	 1 針	0.5 0.3 - 1.0	左右	-
24 	7.0 4.0 - 7.0	 全長	20.0 10.0 - 20.0	-	-

模様	ふり幅（針位置） 自動設定値 最小値 - 最大値	ぬい目長さ 自動設定値 最小値 - 最大値		反転 左右／上下／上下左右	伸長 2 倍：2 倍まで可能 5 倍：5 倍まで可能
25 	7.0 4.0 - 7.0	 全長	8.0 4.0 - 8.0	-	-
26 	7.0 4.0 - 7.0	 全長	17.6 8.7 - 17.6	左右	-
27 	7.0 4.0 - 7.0	 全長	7.0 3.5 - 7.0	-	-
28 	7.0 4.0 - 7.0	 全長	8.8 4.4 - 8.8	上下	-
29 	7.0 4.0 - 7.0	 全長	15.6 7.8 - 15.6	上下	-
30 	7.0 4.0 - 7.0	 全長	6.8 3.4 - 6.8	上下	-
31 	7.0 4.0 - 7.0	 全長	5.2 2.6 - 5.2	-	-
32 	7.0 4.0 - 7.0	 全長	18.2 9.1 - 18.2	-	-
33 	7.0 4.0 - 7.0	 全長	18.2 9.1 - 18.2	-	-
34 	7.0 4.0 - 7.0	 全長	13.8 6.7 - 13.8	上下	-
35 	7.0 4.0 - 7.0	 全長	20.8 10.4 - 20.8	左右	-
36 	7.0 4.0 - 7.0	 全長	18.0 9.0 - 18.0	左右	-
37 	7.0 4.0 - 7.0	 全長	14.7 6.9 - 14.7	-	-
38 	7.0 4.0 - 7.0	 全長	7.4 3.8 - 7.4	上下	-
39 	7.0 4.0 - 7.0	 全長	10.0 5.0 - 10.0	上下	-
40 	7.0 4.0 - 7.0	 全長	6.0 3.0 - 6.0	-	-

模様	ふり幅（針位置） 自動設定値 最小値 - 最大値	ぬい目長さ 自動設定値 最小値 - 最大値		反転 左右／上下／上下左右	伸長 2倍：2倍まで可能 5倍：5倍まで可能
41	7.0 4.0 - 7.0	全長	7.2 3.6 - 7.2	上下	-
42	7.0 4.0 - 7.0	全長	9.3 4.7 - 9.3	-	-
43	7.0 4.0 - 7.0	全長	10.6 5.3 - 10.6	-	-
44	7.0 4.0 - 7.0	全長	8.8 4.4 - 8.8	-	-
45	7.0 4.0 - 7.0	全長	9.6 4.8 - 9.6	-	-
46	7.0 4.0 - 7.0	全長	11.0 5.5 - 11.0	-	-
47	7.0 4.0 - 7.0	全長	10.0 5.2 - 10.0	-	-
48	7.0 4.0 - 7.0	全長	10.0 5.0 - 10.0	-	-
49	7.0 4.0 - 7.0	全長	16.0 8.0 - 16.0	-	-
50	7.0 4.0 - 7.0	全長	22.0 11.0 - 22.0	-	-
51	7.0 4.0 - 7.0	全長	19.8 9.2 - 19.8	-	-
52	7.0 4.0 - 7.0	全長	23.6 13.7 - 27.2	-	-
53	7.0 4.0 - 7.0	全長	18.2 18.2 - 36.4	上下左右	-
54	7.0 4.0 - 7.0	全長	7.9 5.4 - 7.9	左右	-
55	7.0 4.0 - 7.0	全長	12.8 6.4 - 12.8	-	-
56	7.0 4.0 - 7.0	全長	7.0 3.5 - 7.0	上下	-

模様	ふり幅（針位置） 自動設定値 最小値 - 最大値	ぬい目長さ 自動設定値 最小値 - 最大値		反転 左右／上下／上下左右	伸長 2 倍：2 倍まで可能 5 倍：5 倍まで可能
57	7.0 4.0 - 7.0	全長	7.2 3.5 - 7.2	-	-
58	7.0 4.0 - 7.0	全長	12.0 6.0 - 12.0	左右	-
59	7.0 4.0 - 7.0	全長	12.0 6.0 - 12.0	左右	-
60	7.0 4.0 - 7.0	全長	12.0 6.0 - 12.0	左右	-
61	7.0 4.0 - 7.0	全長	12.0 6.0 - 12.0	左右	-
62	7.0 4.0 - 7.0	全長	12.0 6.0 - 12.0	左右	-
63	7.0 4.0 - 7.0	全長	16.8 8.4 - 16.8	左右	-
64	7.0 4.0 - 7.0	全長	18.0 9.0 - 18.0	上下左右	-
65	7.0 4.0 - 7.0	全長	13.8 6.7 - 13.8	上下左右	-
66	7.0 4.0 - 7.0	全長	10.8 5.4 - 10.8	左右	-
67	7.0 4.0 - 7.0	全長	18.0 9.0 - 18.0	上下左右	-
68	7.0 4.0 - 7.0	全長	16.7 8.0 - 16.7	左右	-
69	7.0 4.0 - 7.0	全長	16.4 8.2 - 16.4	左右	-
70	7.0 4.0 - 7.0	全長	18.0 9.0 - 18.0	上下左右	-
71	7.0 4.0 - 7.0	全長	13.0 6.5 - 13.0	左右	-
72	7.0 4.0 - 7.0	全長	10.2 5.1 - 10.2	左右	-

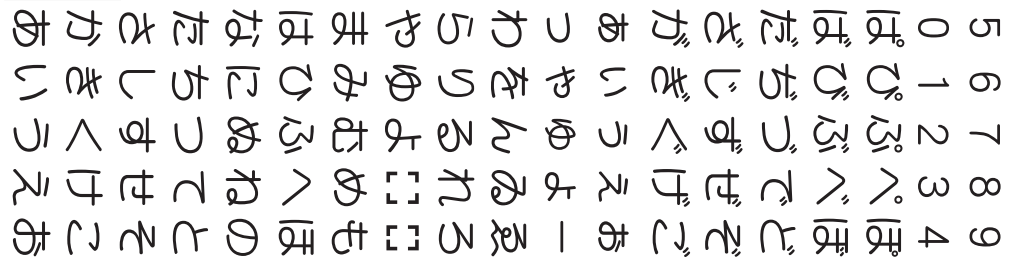
模様	ふり幅（針位置） 自動設定値 最小値 - 最大値	ぬい目長さ 自動設定値 最小値 - 最大値		反転 左右／上下／上下左右	伸長 2 倍：2 倍まで可能 5 倍：5 倍まで可能
73 	(7.0) -.-	 1 針	(2.6) -.-	左右	-
74 	7.0 4.0 - 7.0	 全長	17.4 8.5 - 17.4	上下左右	-
75 	7.0 4.0 - 7.0	 全長	18.6 9.3 - 18.6	上下左右	-
76 	7.0 4.0 - 7.0	 全長	26.0 13.0 - 26.0	上下左右	-
77 	7.0 4.0 - 7.0	 全長	15.0 7.5 - 15.0	上下左右	-
78 	7.0 4.0 - 7.0	 全長	18.4 9.1 - 18.4	上下左右	-
79 	7.0 4.0 - 7.0	 全長	16.2 8.1 - 16.2	上下左右	-
80 	7.0 4.0 - 7.0	 全長	12.0 5.8 - 12.0	-	-
81 	7.0 4.0 - 7.0	 全長	12.2 5.4 - 12.2	-	-
82 	7.0 4.0 - 7.0	 1 針	0.5 0.3 - 1.0	上下左右	5 倍
83 	7.0 4.0 - 7.0	 1 針	0.5 0.3 - 1.0	上下	5 倍
84 	7.0 4.0 - 7.0	 1 針	0.5 0.3 - 1.0	左右	5 倍
85 	7.0 4.0 - 7.0	 1 針	0.5 0.3 - 1.0	-	5 倍
86 	7.0 4.0 - 7.0	 1 針	0.5 0.3 - 1.0	左右	5 倍
87 	7.0 4.0 - 7.0	 1 針	0.5 0.3 - 1.0	左右	5 倍

模様	ふり幅（針位置） 自動設定値 最小値 - 最大値	ぬい目長さ 自動設定値 最小値 - 最大値		反転 左右／上下／上下左右	伸長 2 倍：2 倍まで可能 5 倍：5 倍まで可能
88 	7.0 4.0 - 7.0	 1 針	0.5 0.3 - 1.0	上下左右	5 倍
89 	7.0 4.0 - 7.0	 1 針	0.5 0.4 - 1.0	左右	5 倍
90 	7.0 4.0 - 7.0	 1 針	0.5 0.3 - 1.0	-	5 倍
91 	7.0 4.0 - 7.0	 全長	11.0 9.0 - 19.6	-	-
92 	7.0 4.0 - 7.0	 1 針	0.5 0.3 - 1.0	左右	5 倍
93 	7.0 4.0 - 7.0	 1 針	0.5 0.3 - 1.0	-	-
94 	7.0 4.0 - 7.0	 1 針	0.5 0.3 - 1.0	-	-
95 	7.0 4.0 - 7.0	 1 針	0.5 0.3 - 1.0	-	-
96 	7.0 4.0 - 7.0	 1 針	0.5 0.3 - 1.0	左右	-
97 	6.0 4.0 - 7.0	 1 針	0.5 0.3 - 1.0	-	5 倍
98 	6.0 4.0 - 7.0	 1 針	0.5 0.3 - 1.0	-	5 倍
99 	7.0 4.0 - 7.0	 全長	23.0 18.4 - 41.4	左右	-
100 	7.0 4.0 - 7.0	 全長	17.0 13.9 - 30.3	左右	-
101 	7.0 4.0 - 7.0	 1 針	0.5 0.3 - 1.0	-	-
102 	7.0 4.0 - 7.0	 全長	20.0 15.0 - 50.0	-	-

模様	ふり幅（針位置） 自動設定値 最小値 - 最大値	ぬい目長さ 自動設定値 最小値 - 最大値		反転 左右／上下／上下左右	伸長 2倍：2倍まで可能 5倍：5倍まで可能
103 	7.0 4.0 - 7.0	全長	16.8 8.4 - 16.8	-	-
104 	4.0 4.0 - 7.0	全長	3.1 2.1 - 4.2	上下	-
105 	7.0 4.0 - 7.0	全長	7.8 3.8 - 7.8	-	-
106 	7.0 4.0 - 7.0	全長	12.2 6.1 - 12.2	-	-
107 	5.0 2.0 - 6.0	全長	6.0 3.0 - 6.0	左右	-
108 	7.0 4.0 - 7.0	全長	5.2 2.6 - 5.2	-	-

●文字　ひらがな（横書き）

ひらがな 横



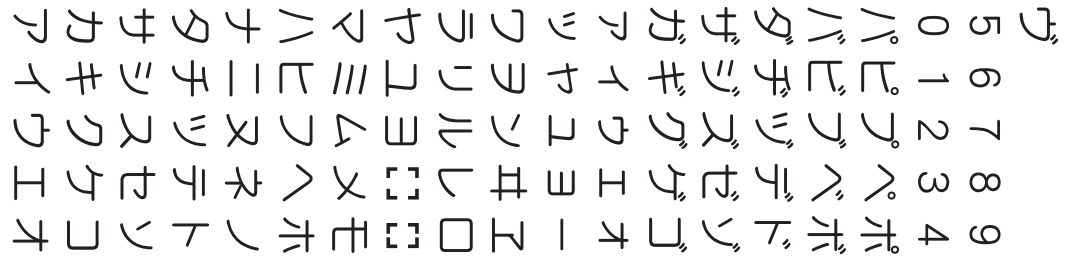
●文字　ひらがな（縦書き）

ひらがな 縦

あ か さ た な は ま や ら わ っ ぁ が ざ だ ば ぱ 0 5
い き し ち に ひ み ゆ り を ゃ ぃ ぎ じ ぢ び ぴ 1 6
う く す つ ぬ ふ む よ る ん ゅ ぅ ぐ ず づ ぶ ぷ 2 7
え け せ て ね へ め □ れ ゐ ょ ぇ げ ぜ で べ ぺ 3 8
お こ そ と の ほ も □ ろ ゑ ー ぉ ご ぞ ど ぼ ぽ 4 9

●文字　カタカナ（横書き）

カタカナ 横



● 文字　カタカナ（縦書き）

カタカナ 縦

ア カ サ タ ナ ハ マ ヤ ラ ワ ッ ァ ガ ザ ダ バ パ 0 5 ヴ
イ キ シ チ ニ ヒ ミ ユ リ ヲ ャ ィ ギ ジ ヂ ビ ピ 1 6
ウ ク ス ツ ヌ フ ム ヨ ル ン ュ ゥ グ ズ ヅ ブ プ 2 7
エ ケ セ テ ネ ヘ メ □ レ ヰ ョ ェ ゲ ゼ デ ベ ペ 3 8
オ コ ソ ト ノ ホ モ □ ロ ヱ ー ォ ゴ ゾ ド ボ ポ 4 9

● 文字　漢字（横書き）

漢字 横

来 ら 器 田 十 四 九 ・ー
青 母 も 矢 〇 出 十 、
園 学 生 水 一 六 （ 。
幼 校 部 木 二 七 ） □
稚 年 日 金 三 八 ？ □

● 文字　漢字（縦書き）

漢字 縦

保 小 組 月 土 四 九 ！
育 中 才 火 〇 五 十 、
園 学 生 水 一 六 （ 。
幼 校 部 木 二 七 ） □
稚 年 日 金 三 八 ？ □

● 文字　アルファベット（ブロック体）

大文字

ABC A
Aa

A B C D E　1 2 3 4 5
F G H I J　6 7 8 9 ー
K L M N O　＋ ＝ ？ ！ @
P Q R S T　& ( ) / .
U V W X Y　, ’ ; :
Z □ □ _ 0

小文字

ABC A
Aa

a b c d e　1 2 3 4 5
f g h i j　6 7 8 9 ー
k l m n o　＋ ＝ ？ ！ @
p q r s t　& ( ) / .
u v w x y　, ’ ; :
z □ □ _ 0

● 文字　アルファベット（筆記体）

大文字

ABC 𝒜
Aa

A B C D E　1 2 3 4 5
F G H I J　6 7 8 9 —
K L M N O　+ = ? ! @
P Q R S T　( ) / .
U V W X Y　, ’ ; :
Z □ □ _ 0

小文字

ABC 𝒜
Aa

a b c d e　1 2 3 4 5
f g h i j　6 7 8 9 —
k l m n o　+ = ? ! @
p q r s t　( ) / .
u v w x y　, ’ ; :
z □ □ _ 0

さくいん

L

LED ライト ..... 18，97
　ON/OFF の切り替え 15

あ

アイレット 67
厚地
　厚地のぬい始め 39
アップリケ 48
案内窓 14

い

糸 28
糸かけ ..... 21，24
糸切りボタン ..... 12，37
糸立て棒 ..... 20，23
糸調子
　糸調子調節装置（内部） ..... 7，23
糸通し 25
　糸通しのガイド 25
　糸通しレバー 25
糸巻き糸切り 22
糸巻き押え ..... 20，23
糸巻き押え（小） ..... 21，24
糸巻き軸 20
糸巻きストッパー ..... 21，22

う

上糸
　上糸の準備（上糸のかけ方） 23
上送り押え 95

お

大型テーブル 11
大文字／小文字 69
送り歯 13
　外がまと送り歯の掃除 97
　ドロップフィードレバー 13
押え ..... 10，26
　押え上げレバー 12
　押え圧ダイヤル 13
　押えの取りかえ方 26
押えホルダー 27
お知らせメッセージ 99
お知らせランプ 12
お手入れ方法 97
　外がまと送り歯の掃除 97
　ボビンケースの掃除 97
　ミシン表面、ミシンカバーの掃除 97

か

ガイド 15
　ガイドボタン 15
返しぬい 37
　返しぬいボタン ..... 12，37
各部のなまえ 6
各部のはたらき 12
飾りぬい 62
飾り模様・文字ぬい 69
　アルファベット 69
　飾り模様 69
　飾り模様・文字ボタン ..... 69，79
　カタカナ 69
　漢字 69
　ひらがな 69
かん止め 60

き

基本的なぬい方 36
基本ぬい 30
基本ぬいボタン 30
キルティング押え 94
　曲線ぬい 94
キルトぬい 46

く

繰り返しぬい 83
グループ 69

こ

交換針板ストッパーレバー 44
困ったときには
　お知らせメッセージ 99
　トラブルシューティング 103
ゴムひも付け（点線ジグザグぬい） 47

さ

削除ボタン 75
サテン押え 10

し

シームリッパー 10
ジグザグ押え 10
ジグザグぬい 46
刺しゅう機 96
刺しゅう機接続口 8
下糸
　下糸の準備 20
　下糸の巻き方 20
　下糸巻き案内 21
　下糸を引き上げる 40
実用ぬい 30
実用ぬいボタン 30
自動糸切り 38
自動糸調子 34
自動返しぬい付直線ぬい 42
自動止めぬい 38
伸縮強化ぬい 45
伸縮ぬい 45
伸長
　飾り模様 74
　実用ぬい 33

す

スカラップステッチ 65
スタート・ストップボタン 12
　お知らせランプ 12
スピード調節つまみ 12

せ

設定画面変更ボタン 32
設定ボタン 14

そ

操作パネル 6
掃除 → お手入れ方法 を参照

た

たち目かがりぬい 48
玉ぶちボタンホール 58
単独糸切りぬい 83
単独ぬい 82
段ぬい 40

ち

直線押え ..... 10，43
直線ぬい 41
　自動返しぬい付直線ぬい 42
直線用交換針板 ..... 10，43

つ

つき合わせ（ファスナー付け） 63
つくろいぬい 60
つくろいぬい（点線ジグザグぬい） 47

て

電源スイッチ ..... 8，18
電源の入れ方 18
電源プラグ・コード 8
点線ジグザグぬい 47
天びん（内部） ..... 7，24

と

トップカバー 6
止めぬい（単独ぬい、繰り返しぬい） 84
止めぬい／糸切りボタン
　飾り模様・文字ぬい 72
　実用ぬい 38
ドライバー 10
　針板用ドライバー 10
トラブルシューティング 103
ドロップフィードレバー 13

ぬ

ぬい方向の変え方 39
ぬい目の長さ
　飾り模様ぬい 73
　実用ぬい 32
布地の種類 28

ね

根巻き付きボタン付け 53

は

ハズミ車 13
パッチワーク 66
針 28
　針ケース 10
　針の取りかえ方 29
針位置 31
針上下／クイックスローボタン 12
針停止位置 15
針止めネジ 29
針板 ..... 7，97
　針板用ドライバー 10
針棒糸かけ ..... 24，25
反転
　飾り模様ぬい 73
　実用ぬい 33
ハンドル 8

ひ

膝上げレバー ..... 11，19
膝上げレバー差し込み口 ..... 6，19
ビニール 68
標準交換針板 ..... 7，43
ピンタック 67

ふ

ファスナー押え 10
ファスナー付け 63
フェルト ..... 20，24
ブザー音（操作音、警告音） 14
付属品 10
ふちかがり押え 10
ふちかがりぬい（たち目かがりぬい） 48
フットコントローラー 11
　フットコントローラー接続口 ..... 8，19
　フットコントローラーの使い方 18
ブラインドステッチ 50
ブラシ 10
フリーアームでぬう 9
ふり幅
　飾り模様ぬい 73
　実用ぬい 31
　針位置 31
プレビュー画像
　飾り模様・文字ぬい 70
　実用ぬい 31

へ

編集ボタン 71

ほ

ホーム画面 14
ホームボタン 14
補助テーブル
　補助テーブルの開け方 9
　補助テーブルの取り外し方 9
ボタン付け 52
　根巻き付きボタン付け 53
ボタンホール 54
　玉ぶちボタンホール 58
ボタンホール押え 10
ボタンホールレバー ..... 6，55，58，61
ボビン
　ボビンのセット 22
　ボビンの取り出し方 20
ボビン受け 21
ボビンカバー 20
ボビンカバー解放レバー 20
ボビンケースの掃除 97

ま

まつりぬい（ブラインド）押え 10
まつりぬい（ブラインドステッチ） 50

み

ミシンカバー 9

め

メッセージ → お知らせメッセージ を参照
メモリー読み出しボタン 78
面板 6
面板糸切り 40

も

モード切り替え 82
　繰り返しぬい 83
　単独糸切りぬい 83
　単独止めぬい 83
　単独ぬい 82
モード切替ボタン 82
戻るボタン 14
模様一覧 105
　飾り模様・文字ぬい 111
　実用ぬい 105
模様の選び方／模様の調整（基本ぬい・実用ぬい） 30, 31

よ

横書き／縦書き 69

ら

ライト → LED ライト を参照
ランプ → お知らせランプ を参照

る

ルーペ 93
　ルーペ取り付け穴 93

れ

レザー 68

ろ

ロックボタン 16

わ

脇あき（ファスナー付け） 64

仕様

定格電圧	100 V
消費電力	45 W
周波数	50Hz/60Hz
ライト	白色 LED
寸法	幅：475 mm × 高さ：300 mm × 奥行き：186 mm
重量	8.8 kg
最高ぬい速度	毎分 900 針

修理サービス要領

● 修理サービスのご相談

1 このミシンのご購入者には、ご購入店から３年間の「無料修理保証書」が発行されます。内容をお確かめの上、大切に保存してください。
2 修理サービスは無料保証期間内および期間経過後も原則としてご購入店が承りますので、ご相談ください。

● 修理用部品の保存と供給

動力伝達機能部品および縫製機能部品のうち、交換修理に必要な部品は、製造打ち切り後、通常８年間は必要に応じて当社よりご購入店に供給できる体制を整えております。

● 無料修理保証期間後の修理サービス

1 取扱説明書に基づいて正しい使用とお手入れがされていれば、無料修理保証期間を経過しても修理用部品の供給可能期間中は、ご購入店を通じて有料で修理サービスをいたします。
ただし、次に該当する場合は、有料でも修理できない場合がありますので、ご購入店にご相談ください。
イ　保存上の不備または、誤使用により不調、故障または損傷したとき。
ロ　浸水、冠水、火災等、天災地変、異常電圧により不調、故障または損傷したとき。
ハ　ご購入後の移動または輸送によって不調、故障または損傷したとき。
ニ　ご購入店または当社の指定する販売店あるいはサービス店以外で修理、分解または改造したために不調、故障または損傷したとき。
ホ　職業用として無理なご使用により不調、故障または損傷したとき。
2 長期間にわたってご使用されたミシンの精度の劣化は修理によっても元どおりに修復できないことがあります。
3 有料修理サービスの場合の費用は、別に定める必要部品代金、交通費および技術料金の合計額となります。

お問い合わせまたはご相談先（純正部品の購入方法）

ハッピージャパンミシンについてのお問い合わせ、ご相談はご購入店のほか、下記の弊社「お客様相談係」でも承っておりますのでご遠慮なくお申し越しください。

株式会社ハッピージャパン

「お客様相談係」

〒 110-0016　東京都台東区台東２丁目９番５号
TEL: 03-3837-1862　FAX: 03-3837-0072
受付時間：平日 9:00 ～ 12:00、13:00 ～ 17:00
（土・日・祝日および株式会社ハッピージャパンの休日を除く）

＊ 住所および電話番号は都合により変更することがありますのでご了承ください。
＊ ハッピージャパン純正部品の購入についてのお問い合わせは、ご購入店のほか、上記の弊社「お客様相談係」におたずねください。